

アジア地域における
健康起因事故防止に関する国際比較研究
報告書

研究プロジェクトメンバーの構成

プロジェクトリーダー

高橋 正也 （（独）労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター センター長）

プロジェクトメンバー

<IATSS 会員>

浅野 水辺 （愛媛大学 医学部法医学教室 教授）
大口 敬 （東京大学 生産技術研究所 教授）
太田 和博 （専修大学 商学部 教授）
岡村 和子 （科学警察研究所 交通科学部 交通科学第二研究室 室長）
谷川 武 （順天堂大学大学院 医学研究科公衆衛生学講座 教授）
土井 健司 （大阪大学大学院 工学研究科 教授）

<特別研究員>

植田 結人 （順天堂大学 医学部衛生学・公衆衛生学講座 助教）
奥山 祐輔 （黒井産業（株）黒井交通教育センター マネージャー）
国松 志保 （医療法人社団済安堂 西葛西・井上眼科病院 副院長）
黄 家琦 （順天堂大学大学院 医学研究科公衆衛生学講座 修士課程）
佐藤 准子 （順天堂大学 医学部公衆衛生学講座 助教）
謝敷 裕美 （順天堂大学大学院 医学研究科公衆衛生学講座 修士課程）
朱 沁曄 （順天堂大学大学院 医学研究科公衆衛生学講座 博士課程）
庄 岩 （順天堂大学大学院 医学研究科公衆衛生学講座 博士課程）
白濱 龍太郎 （順天堂大学 医学部衛生学・公衆衛生学講座 非常勤講師）
金 会庆 （安徽三联事故予防研究所 所長）
友岡 清秀 （順天堂大学 医学部衛生学・公衆衛生学講座 助教）
Naricha Chirakalwasan （Chulalongkorn University）
福島 史人 （埼玉県済生会加須病院 救急医学科 副科長）
Myo Nyein Aung （順天堂大学 国際教養学部 特任教授）
和田 裕雄 （順天堂大学大学院 医学研究科公衆衛生学講座 教授）

<研究協力者>

大貫 慧介 （順天堂大学大学院 医学研究科公衆衛生学講座 博士課程）
崎山 紀子 （順天堂大学 医学部衛生学・公衆衛生学講座 非常勤講師）
田島 朋知 （順天堂大学大学院 医学研究科公衆衛生学講座 博士課程）

<オブザーバー>

堀井 達也	(警察庁 交通局交通企画課 課長補佐)
小林 照秀	(警察庁 交通局交通企画課法令係 係長)
角 和晃	(警察庁 交通局運転免許課 講習係長)
安原 幸生	(国土交通省 自動車局安全政策課 安全管理室)
上田 享	(国土交通省 自動車局安全政策課 専門官)
河本 直紀	(警察庁 交通局交通企画課法令係 係長)
田中 陽	(警察庁 交通局運転免許課 課長補佐)
汐見 友宏	(警察庁 交通局運転免許課 係長)
井上 大輔	(警察庁 交通局交通企画課法令係 係長)
松山 隆	(警察庁 交通局運転免許課講習係 係長)

<事務局>

幕田 実	(公益財団法人 国際交通安全学会 事業部長)
廣谷 はるみ	(公益財団法人 国際交通安全学会事業部 チーフ)
富島 佐紀	(公益財団法人 国際交通安全学会事業部 チーフ)

※所属・役職はプロジェクト参加当時

目次

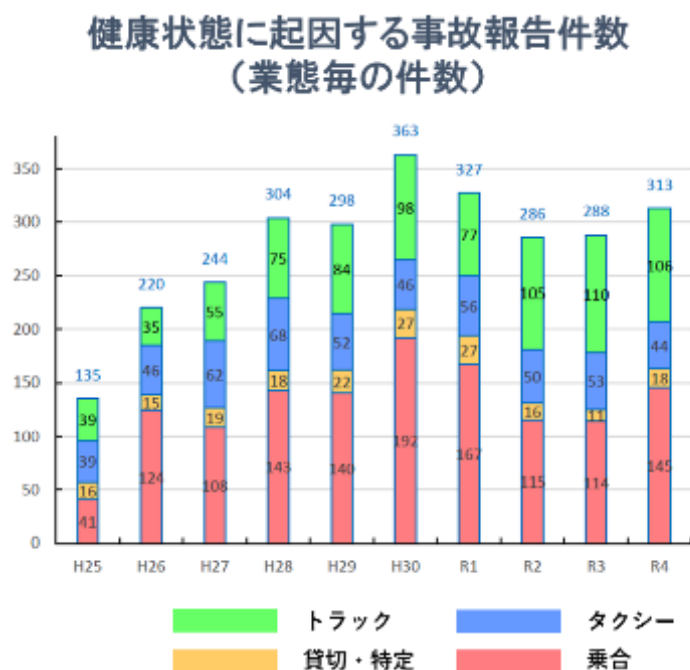
I. 研究プロジェクトの背景.....	1
1. 本研究プロジェクトの背景と目的.....	1
2. 普及啓発動画.....	3
3. プロジェクトのアウトライン.....	4
II. 2021 年度調査.....	5
1. 背景と目的.....	5
2. 方法.....	5
2-1. 対象.....	5
2-2. 質問紙.....	5
3. 結果.....	5
3-1. アンケートの回答者数.....	5
3-2. 「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」と「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」の結果.....	5
3-3. 「緑内障運転絵巻」と「緑内障と交通事故」の結果.....	14
4. 外国語版の作成.....	23
5. まとめ.....	23
III. 2022 年度調査.....	25
1. 背景と目的.....	25
2. 方法.....	25
2-1. 対象.....	25
2-2. 質問紙.....	25
3. 結果.....	26
3-1. アンケートの回答者数.....	26
3-2. 「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」と「緑内障運転絵巻」の結果.....	26
4. タイの運輸業における健康管理に関するヒアリング調査.....	38
5. まとめ.....	39
IV. 2023 年度調査.....	40
1. 背景と目的.....	40
2. 方法.....	40
2-1. 対象.....	40
2-2. 質問紙.....	40
3. 結果.....	40

3-1. アンケートの回答者数.....	40
3-2. 「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」の結果.....	41
3-3. 「緑内障運転絵巻」の結果	54
4. まとめ.....	66
 V. 国内での紹介事例.....	67
 VI. 本プロジェクトの総括	69
 VII. 参考文献	71
 VIII. 参考資料	72

Ⅰ. 研究プロジェクトの背景

1. 本研究プロジェクトの背景と目的

国土交通省の自動車事故報告規則第 2 条において、健康起因事故は「運転者の疾病により事業用自動車の運転を継続できなくなったもの」と定義されている¹⁾。近年、我が国では交通事故の発生件数、負傷者、死者数は減少傾向にあるが、一方で、健康起因事故の報告件数は増加傾向にあり、2018 年以降は高止まりの状況にある（図 1-1）²⁾。この要因として、健康起因事故に対する事業者の意識の高まりなどを反映して報告件数が増加しているということも考えられるが、日本社会全体の高齢化が進む中、職業運転者の高齢化も進んでおり、健康起因事故のリスクとなる生活習慣病などを有する者の割合が高くなっているということも考えられる。



国土交通省 「健康起因事故発生状況と健康起因事故防止のための取組」より
https://www1.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03safety/resource/data/seminar2024_2-2.pdf

図 1-1 2018 年以降健康状態に起因する事故報告件数

国土交通省の発表では、2013 年から 2022 年までで健康起因事故を起こした運転者のうち、心臓疾患が 15%、脳血管疾患が 13%を占めている。このうち、死亡した運転者の疾病別内訳は、心臓疾患が 54%、大動脈瘤及び解離が 13%、脳疾患が 11%と報告されている²⁾。

しかしながら、脳血管疾患や心臓疾患の他にも、消化器系疾患、呼吸器疾患、薬の副作用などの様々な疾患などが健康起因事故の原因となることが報告されている²⁾。さらに、

これまでの健康起因事故の原因に関する報告には、運転者が自身の疾患に気づかずに起こした健康起因事故は含まれていない。すなわち、脳血管疾患や心臓疾患は健康起因事故の原因の氷山の一角であり（図 1-2）、職業運転者の高齢化が進む中、様々な生活習慣病が健康起因事故の原因となりうる可能性が考えられ、無自覚な疾患も含めた健康起因事故への網羅的な対策が必要であると考えられる。

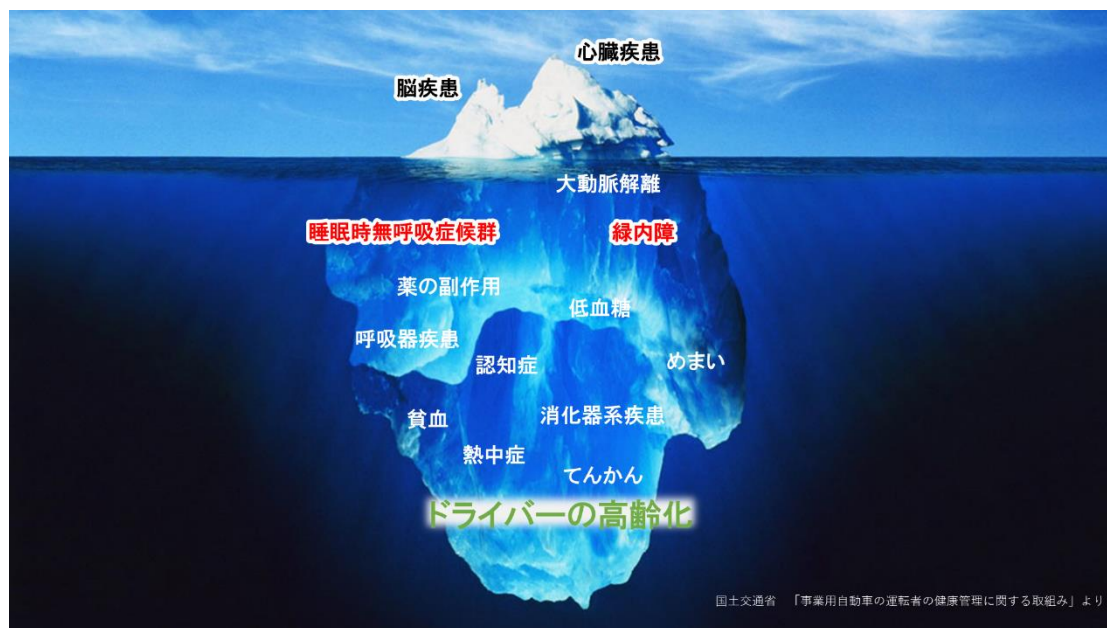


図 1-2 健康起因事故の原因

このような状況の中、国土交通省は事業用自動車運転者の健康管理に関するマニュアルの策定を進めている。まず、2010 年には、「健康管理マニュアル」を策定し、健康状態の把握、就業上の措置の決定などについて具体的方策を整理し、睡眠時無呼吸症候群、脳血管疾患ならびに心臓疾患に関するスクリーニング検査を推奨した。そして、2003 年に「睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策マニュアル」を、2018 年には「脳血管疾患対策ガイドライン」を、2019 年には「心臓疾患・大血管疾患対策ガイドライン」を、2022 年には「自動車運送事業者における視野障害対策マニュアル」が策定されている。特に、「自動車運送事業者における視野障害対策マニュアル」については、2017 年度から 2019 年度に我々が実施した「健康起因事故防止のための実証的研究と防止対策の普及啓発に関する研究」がその策定の大きな契機となった。また、「自動車運送事業者への脳健診普及に向けたモデル事業」（2018 年度から）や「眼科検診普及に向けたモデル事業」（2021 年度から）などのスクリーニングモデル事業を実施している。

このように、我が国の職業運転者を対象として、睡眠時無呼吸症候群、脳血管疾患、心臓疾患、視野障害のスクリーニング検査が推奨されているが、バス、タクシー、トラックなどの主な自動車運送業者において、これらのスクリーニング検査は未だ十分に実施されて

いない。この原因について、「スクリーニング検査や精密検査にかかる費用が高額」であることや「人員配置上、受診させる余裕がない」などの理由が報告されている³⁾。また、我々のこれまでの研究においても、睡眠時無呼吸症候群のスクリーニングの普及を阻害する要因として、運転者個人が健康起因事故防止の重要性について十分に認識していないということが考えられた。

また、2020年に我々が実施した社会貢献プロジェクト「アジア地域における健康起因事故防止のための普及啓発活動の展開」の中で、中国、タイの専門家を招聘し、国際シンポジウムを実施した結果、アジア地域では健康起因事故対策は十分に行われておらず、健康起因事故に対する人々の認識もまた未だ十分に涵養されていない状況が明らかになった。中国やタイは、アジア地域において比較的交通事故による死亡率が高い国であり⁴⁾、また、近年は生活習慣病の蔓延が大きな社会的課題となっていることから、今後はこれらの国においても健康起因事故対策が重要であると考えられた。

そこで本プロジェクトでは、アジア地域における健康起因事故に関する意識の実態を明らかにするとともに、健康起因事故防止の意識を醸成するための普及啓発事業を行うことを目的とした。

2. 普及啓発動画

本プロジェクトでは、2020年度の社会貢献プロジェクトで作成した睡眠時無呼吸や緑内障に関する健康起因事故の啓発動画を用いた。2020年度の社会貢献プロジェクトにおいて、睡眠時無呼吸症候群や緑内障に起因する健康起因事故防止の普及・啓発を目的として、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」(<https://www.youtube.com/watch?v=6nl8N1J--FY>) (図1-3)と「緑内障運転絵巻」(<https://www.youtube.com/watch?v=m6XqwWya1Yg>) (図1-4)、そして「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」(<https://www.youtube.com/watch?v=QZ8hc53nhN8>) (図1-5)と「緑内障と交通事故」(<https://www.youtube.com/watch?v=-nB6LVKcV3k>) (図1-6)の4本のアニメーション動画を制作した。「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」と「緑内障運転絵巻」は約3分の短い動画で、隙間時間や移動時間などに視聴できるコンテンツとして作成した。また、各疾患のターゲット層となる中高年だけではなく、その家族（子供や孫など）なども視聴しやすいように、わかりやすく、楽しく健康起因事故について学べるコンテンツを作成した。一方、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」と「緑内障と交通事故」は、主に自動車運送事業者における研修や一般のドライバーを対象とした安全運転講習などのコンテンツと使用できるコンテンツとして作成した。動画の長さは15分程度であり、各疾患と交通事故との関連についてより詳しく説明する内容となっている。



図 1-3 睡眠時無呼吸症候群運転絵巻



図 1-4 緑内障運転絵巻



図 1-5 睡眠時無呼吸症候群と交通事故



図 1-6 緑内障と交通事故

3. プロジェクトのアウトライン

本研究プロジェクトは 2021 年度から 2023 年度までの 3 カ年プロジェクトとして実施した。各年度の研究概要を下記に示す。

2021 年度

- ・国内における啓発動画の視聴後アンケートの実施と啓発動画の外国語版の作成

2022 年度

- ・タイにおけるパイロット調査の実施

2023 年度

- ・日本、中国、タイにおける啓発動画の視聴後アンケートの実施による健康起因事故に関する意識の国際比較

各年度の実施内容の詳細については、第Ⅱ～Ⅴ章にて記述する。

II. 2021 年度調査

1. 背景と目的

2021 年度は、2020 年度の社会貢献プロジェクトで作成した、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「緑内障運転絵巻」、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」、「緑内障と交通事故」の 4 本の啓発動画について、視聴後のアンケートを実施し、動画の普及啓発効果を検証することを目的とした。また、各動画の英語版、中国語版、タイ語版を作成することを目的とした。

2. 方法

2-1. 対象

アンケートは 2021 年 11 月から 2022 年 2 月に実施した。回答方法は、Google フォームまたは自記式アンケート用紙を用いた。Google フォームは IATSS のホームページや YouTube の説明欄などに掲載した他、QR コードを作成し、各動画の最後にアンケートへの案内として表示した。

アンケートは、国際自動車株式会社、黒井産業株式会社、損保ジャパン株式会社、SOPMO リスクマネジメント株式会社、ホンダ開発株式会社、一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)、東京海上日動火災保険株式会社、一般社団法人全国レンタカー協会などの企業・団体の協力を得て配布した。

2-2. 質問紙

各動画について、年齢、性別、居住地、運転頻度、睡眠時無呼吸症候群や緑内障と交通事故との関連の認知度、動画を視聴したことにより理解が深まったか、動画の印象、動画の長さ、動画のわかりやすさとその理由、印象に残った点、動画の有用性とその理由、動画を視聴したことによる受診行動の変化とその理由、動画を視聴した理由、健康起因事故の防止に必要なこと、本取り組みに関する意見や感想、の計 18 項目について調査した（資料 1～4）。

3. 結果

3-1. アンケートの回答者数

各動画について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」は 3,193 名、「緑内障運転絵巻」は 3,061 名、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」は 313 名、「緑内障と交通事故」は 277 名から回答を得た。

3-2. 「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」と「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」の結果

1) 年齢（図 2-1）

年齢について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、10代が66名（2%）、20代が541名（17%）、30代が560名（18%）、40代が784名（25%）、50代が911名（28%）、60代が167名（5%）、70代が130名（4%）、80代以上が2名（0.1%）、無回答が2名（0.1%）であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、10代が0名（0%）、20代が12名（4%）、30代が29名（9%）、40代が28名（9%）、50代が20名（6%）、60代が25名（8%）、70代が135名（43%）、80代以上が64名（21%）、無回答が0名（0%）であった。

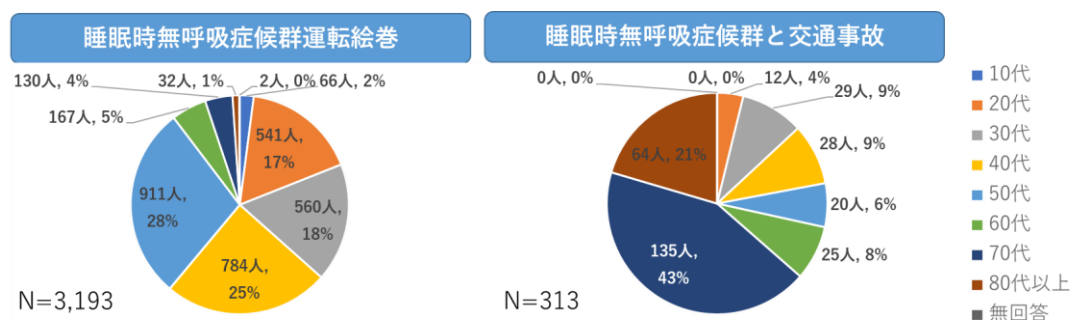


図 2-1 年齢

2) 性別 (図 2-2)

性別について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、男性が2,612名（82%）、女性が566名（18%）、その他が6名（0.2%）、無回答が9名（0.3%）であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、男性が214名（68%）、女性が85名（27%）、その他が0名（0%）、無回答が14名（5%）であった。

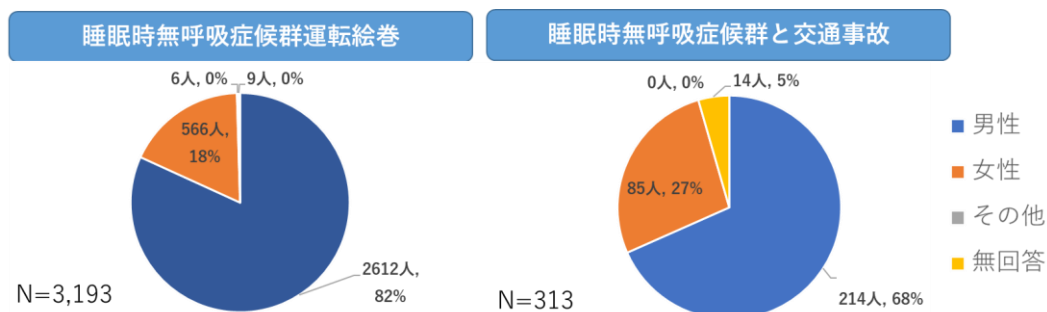


図 2-2 性別

3) 現在の居住地（都道府県）

現在の居住地（都道府県）について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、東京都

が 328 名と最も多く、次いで、大阪府が 227 名、北海道が 226 名の順で多かった（図 2-3）。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、福島県が 168 名と最も多く、次いで、北海道が 91 名、宮城県が 18 名の順で多かった（図 2-4）。

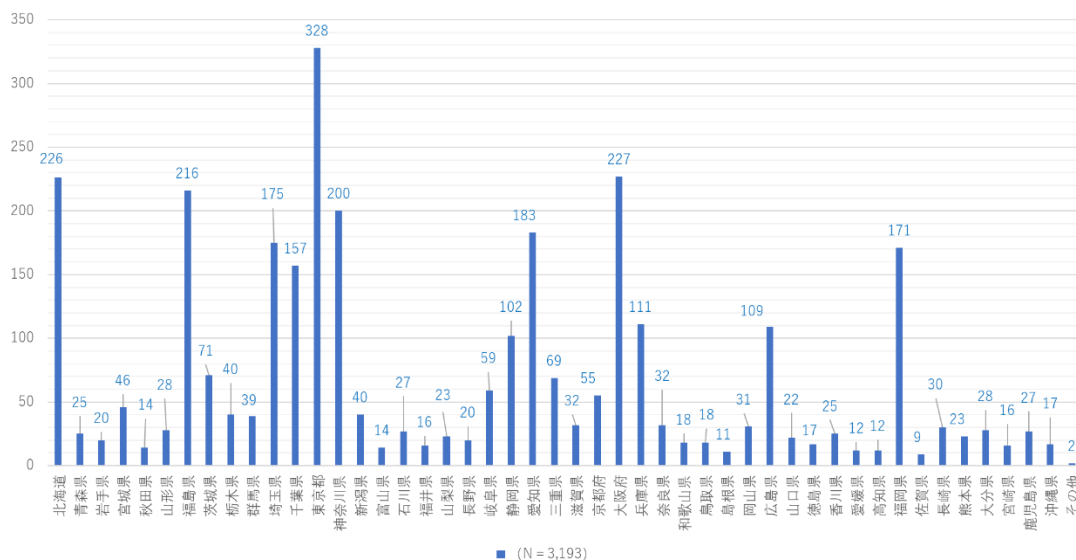


図 2-3 現在の居住地（都道府県） 睡眠時無呼吸症候群運転絵巻

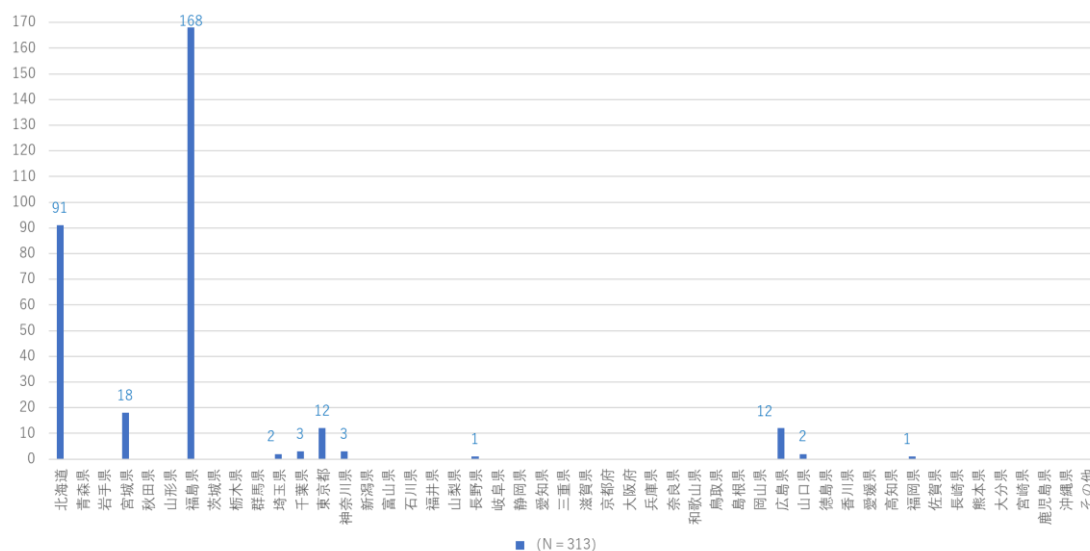


図 2-4 現在の居住地（都道府県） 睡眠時無呼吸症候群と交通事故

4) 運転頻度について該当するものに○をつけてください（図 2-5）

「運転頻度について該当するものに○をつけてください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「ほぼ毎日」が 2,087 名（65%）、「週に 1 回程度以上」が 631 名（20%）、「月に 1 回程度以上」が 174 名（6%）、「年に 1 回程度以上」が 78

名（2%）、「年に1回未満」が40名（1%）、「自分では車を運転しない」が174名（6%）、無回答が9名（0.3%）であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「ほぼ毎日」が218名（69%）、「週に1回程度以上」が65名（21%）、「月に1回程度以上」が9名（3%）、「年に1回程度以上」が3名（1%）、「年に1回未満」が3名（1%）、「自分では車を運転しない」が12名（4%）、無回答が3名（1%）であった。

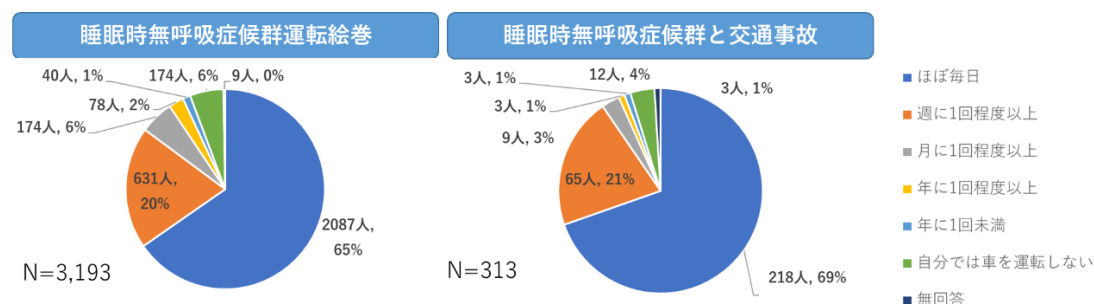


図 2-5 運転頻度

5) 動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？（図 2-6）

「動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「知っていた」が2,257名（71%）、「少し知っていた」が429名（13%）、「あまり知らなかった」が290名（9%）、「知らなかった」が210名（7%）、無回答が7名（0.2%）であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「知っていた」が139名（44%）、「少し知っていた」が84名（27%）、「あまり知らなかった」が50名（16%）、「知らなかった」が39名（13%）、無回答が1名（0.3%）であった。

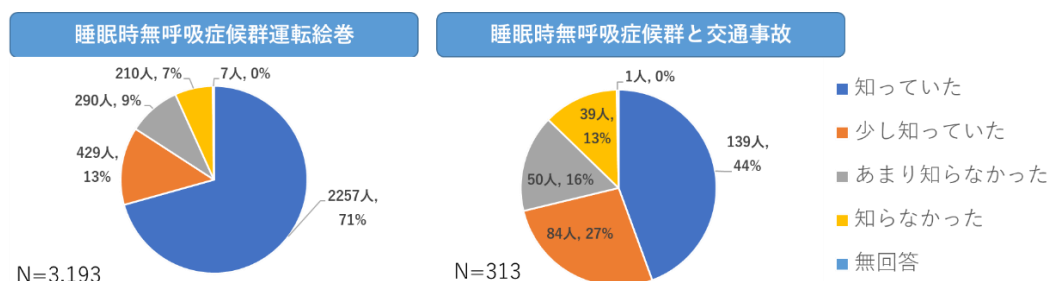


図 2-6 動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？

6) 動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？
(図 2-7)

「動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「深まった」が 2,520 名 (79%)、「やや深まった」が 573 名 (18%)、「あまり深まらなかった」が 72 名 (2%)、「深まらなかった」が 24 名 (1%)、無回答が 4 名 (0.1%) であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「深まった」が 225 名 (72%)、「やや深まった」が 76 名 (24%)、「あまり深まらなかった」が 4 名 (1%)、「深まらなかった」が 1 名 (1%)、無回答が 7 名 (2%) であった。

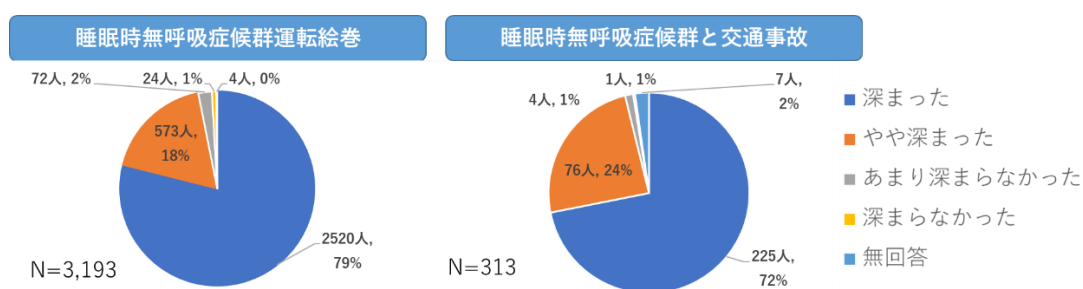


図 2-7 動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？

7) 本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください (図 2-8)

「本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、10 点が 1,071 名と最も多く、次いで、8 点が 869 名、7 点が 422 名の順で多かった。また、平均点は 8.2 点であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、10 点が 132 名と最も多く、次いで、8 点が 64 名、7 点が 31 名の順で多かった。また、平均点は 8.4 点であった。

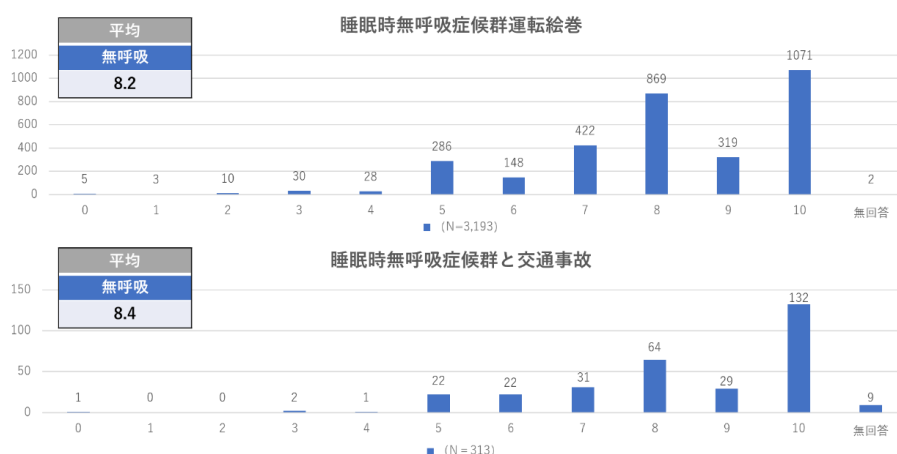


図 2-8 本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください

8) 動画の時間（長さ）は適当でしたか？（図 2-9）

「動画の時間（長さ）は適当でしたか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「長かった」が 66 名（2%）、「やや長かった」が 416 名（13%）、「適当だった」が 2,652 名（83%）、「やや短かった」が 36 名（1%）、「短かった」が 21 名（1%）、無回答は 2 名（0.1%）であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「長かった」が 29 名（9%）、「やや長かった」が 60 名（19%）、「適当だった」が 211 名（68%）、「やや短かった」が 8 名（3%）、「短かった」が 4 名（1%）、無回答は 1 名（0.3%）であった。

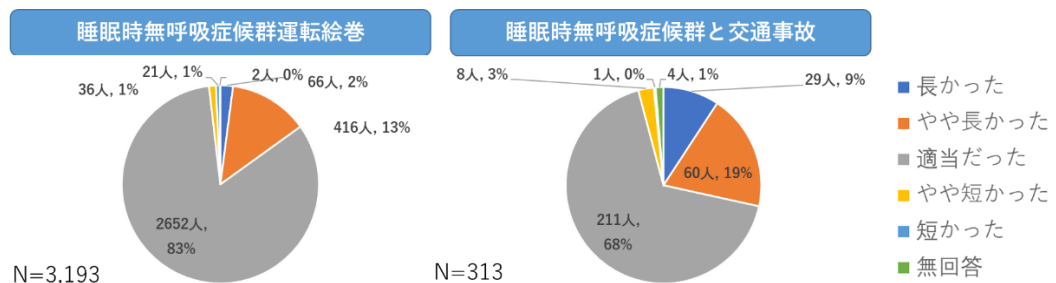


図 2-9 動画の時間（長さ）は適当でしたか？

9) 動画の内容はわかりやすかったですか？（図 2-10）

「動画の内容はわかりやすかったですか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「わかりやすかった」が 2,583 名（81%）、「ややわかりやすかった」が 543 名（17%）、「ややわかりにくかった」が 57 名（2%）、「わかりにくかった」が 9 名（0.3%）、無回答が 1 名（0%）であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「わかりやすかった」が 223 名（71%）、「ややわかりやすかった」が 75 名（24%）、「ややわかりにくかった」が 9 名（3%）、「わかりにくかった」が 3 名（1%）、無回答が 3 名（1%）であった。

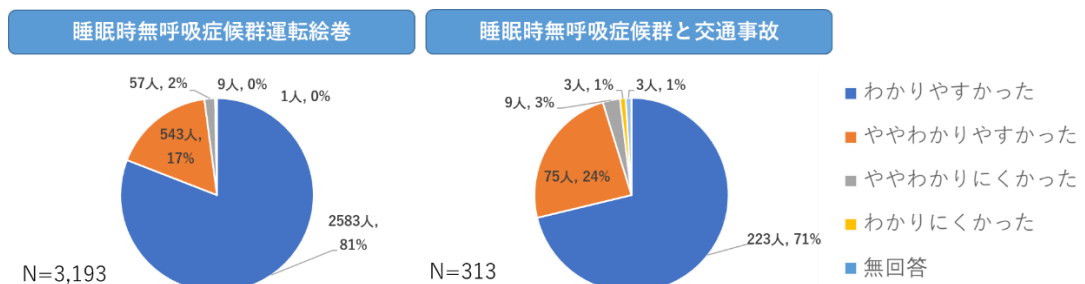


図 2-10 動画の内容はわかりやすかったですか？

10) 9) の回答理由をご記入ください

「9) の回答理由をご記入ください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「テンポが良い」、「説明が簡潔」、「対話形式」であることや、「症状の心当たりがある」、医学的な難しい言葉や言い回しが無かった」、「キャラクターが魅力的だったから」などの回答が得られた。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「マンガと解説を併用していてわかりやすかった」、「氷山の絵がわかりやすかった」、「背景知識がない人にもわかりやすい説明だった」、「睡眠時無呼吸症候群の治療法の説明がわかりやすい」などの回答が得られた。

11) 動画の中で、印象に残った点があればご記入ください

「動画の中で、印象に残った点があればご記入ください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「睡眠時無呼吸症候群は肥満の方だけでなく、日本人に多いことは印象に残っています。」、「マイクロスリープ」、「多少、生活習慣による体調の異変はあったとしても、いわゆる働き盛りは安全運転に悪影響は無いと思っていたが、そうではないことが分かった。」、「いびきの音がリアルで、現実と照らし合わせやすかった。」、「事故が 2.5 倍」、「同乗者の子供が運転者（親）に居眠り運転を指摘される事は年長者ドライバーの安全運転意識の向上させる良い事例と思われる。」などの回答が得られた。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「無呼吸症候群の検査や治療方法。」、「病院受診にあたり受診する科に迷うと思うため、具体的に挙げると良かったと思う。」、「教授にわかりやすく説明していただいた点。」、「氷山の絵。 また自覚のない眠気、という言葉。」、「治療の様子が具体的な絵でわかりやすかった。」などの回答が得られた。

12) 本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？
(図 2-11)

「本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「そう思う」が 2,096 名 (66%)、「ややそう思う」が 967 名 (30%)、「あまりそう思わない」が 111 名 (4%)、「思わない」が 9 名 (0.3%)、無回答が 10 名 (0.3%) であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「そう思う」が 210 名 (67%)、「ややそう思う」が 89 名 (28%)、「あまりそう思わない」が 6 名 (2%)、「思わない」が 0 名 (0%)、無回答が 8 名 (3%) であった。

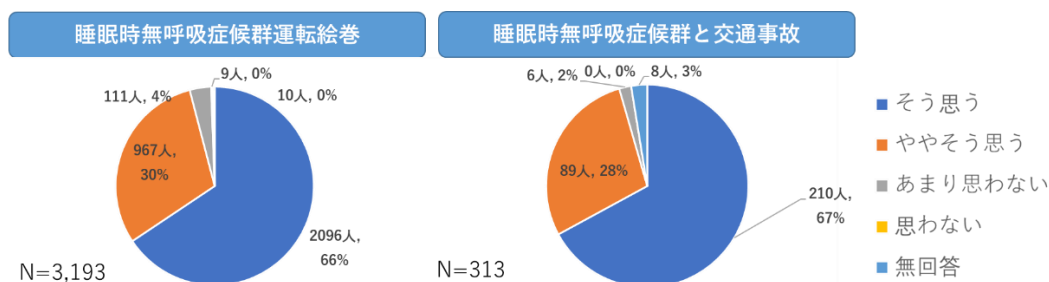


図 2-11 本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？

13) 12) の回答理由をご記入ください

「12) の回答理由をご記入ください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「分かりやすい動画により Awareness 向上につながると思う。」、「先入観を取り払える内容だったと思います。」、「運送事業者だけでなく、一般の営業車のドライバーにも周知が促せるように思います。」、「無自覚な人への啓発になると思われる。」、「動画は CM にも使えるレベルで良いと思いました。」、「無呼吸症候群が事故の可能性になることを、浮世絵動画で暗くならず、啓蒙してくれたから。」「自分には関係ない、という思いが消えたから。」などの回答が得られた。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「交通事故の原因となる病気については知らない人が多いと思うので。」、「睡眠時無呼吸症候群は病識が乏しいながら、日中の自覚、他覚症状で判断できることが説明されており、よい気づきになるため。」、「検査が必要な理由、検査がどのくらいで行えるのかがわかる。」などの回答が得られた。

14) この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が睡眠時無呼吸症候群の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたが？ (図 2-12)

「この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が睡眠時無呼吸症候群の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたが？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「そう思う」が 2,117 名 (66%)、「ややそう思う」が 894 名 (28%)、「あまりそう思わない」が 145 名 (5%)、「思わない」が 26 名 (1%)、無回答が 11 名 (0.3%) であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「そう思う」が 199 名 (64%)、「ややそう思う」が 87 名 (28%)、「あまりそう思わない」が 13 名 (4%)、「思わない」が 4 名 (1%)、無回答が 10 名 (3%) であった。

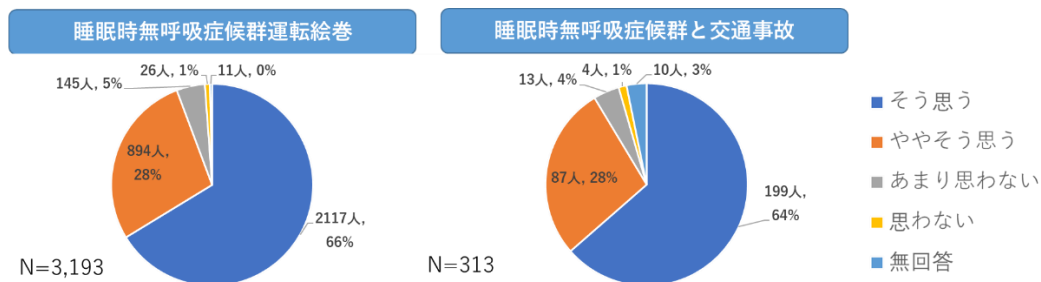


図 2-12 この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が睡眠時無呼吸症候群の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたか？

15) 14) の回答理由をご記入ください

「14) の回答理由をご記入ください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「自分自身の安全はもちろん、周りへの影響も大きく、疑いがあれば受診は必須と思います。」「本人は気づきにくい病気だからほかの人が指摘しないといけないと思う。」「交通被害も加害による事故も少しの注意や対応で防ぐことができ、健康維持もできるのなら誰にとっても損にはならないから。」「睡眠時無呼吸症候群が居眠り運転に直結すると動画から感じた。」「若いころは何も感じない、興味もない分野でしたが、自身の衰えを自覚し知ることによって新たな対策ができ、より長くカーライフを楽しめたらよいと思いました。」などの回答が得られた。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「交通事故は自分だけでなく周りの運転者が起因することもあり皆が注意をして防げるものは防ぎたいと思う。」「当てはまる点がたくさんあり、早く治療したいと思えたから。」「眠っている時のことはわからないことが多く、本人は気づいていないかも知れません。」「治療で改善できるから。」などの回答が得られた。

16) この動画を見た理由をお答えください（当てはまるもの全てに☑ をしてください）
（図 2-13）

「この動画を見た理由をお答えください（当てはまるもの全てに☑ をしてください）」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「興味があったから」が 273 名、「講習会や研修で勧められたから」が 2,029 名、「自身の運転に不安があったから」が 44 名、「家族や知人に紹介されたから」が 86 名、「職場等でチラシやポスターを見たから」が 503 名、「職場で視聴するよう指示されたため」が 392 名、「その他」が 33 名であった。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「興味があったから」が 33 名、「講習会や研修で勧められたから」が 234 名、「自身の運転に不安があったから」が 12 名、「家族や知人に紹介されたから」が 7 名、「職場等でチラシやポスターを見たから」

が5名、「職場で視聴するよう指示されたため」が0名、「その他」が0名であった。

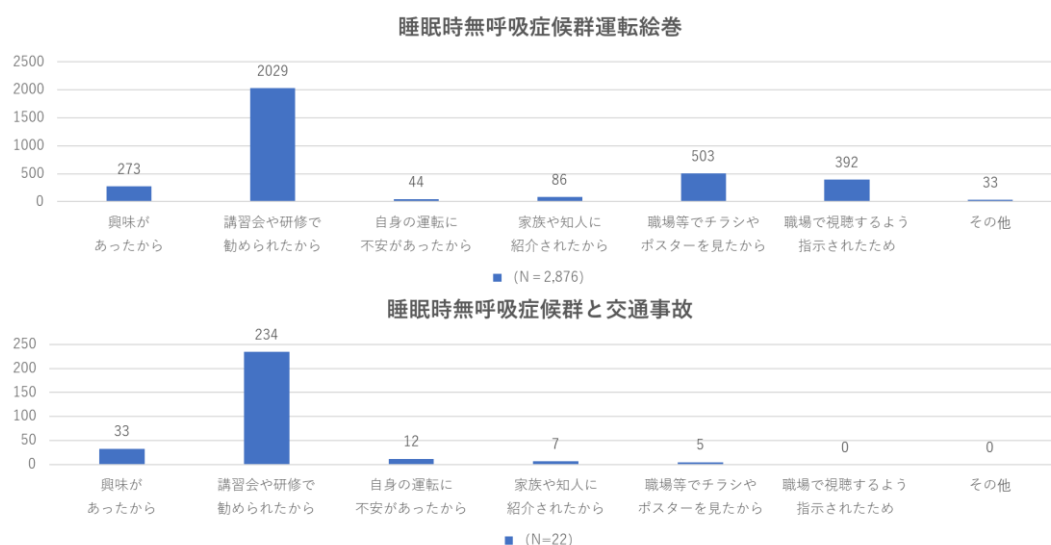


図 2-13 この動画を見た理由をお答えください

17) 病気が原因となる交通事故を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？

「病気が原因となる交通事故を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「医療機関への受診を徹底させる枠組みを構築」、「さらなる普及啓発」、「自動運転技術の発展」などの回答が得られた。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「早期発見早期治療」、「受診を勧める周囲の環境が重要」、「さらなる普及啓発」などの回答が得られた。

18) この取り組みに関するご意見やご感想を是非ともお聞かせください。

「この取り組みに関するご意見やご感想を是非ともお聞かせください。」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「素晴らしい取り組み」、「安全運転の講習等で活用したい」、「今までと違ったテイストで良かった」、「制作側の気持ちが伝わってきた」などの回答が得られた。

同様に、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」では、「自動車保険のお客様などに対する啓発動画として活用したい」、「動画を使うことは臨場感が出て 自分に置き換えて考えられ分かりやすくてとても良い」などの回答が得られた。

3-3. 「緑内障運転絵巻」と「緑内障と交通事故」の結果

1) 年齢 (図 2-14)

年齢について、「緑内障運転絵巻」では、10 代が 137 名 (4%)、20 代が 515 名

(17%)、30代が519名(17%)、40代が715名(23%)、50代が828名(27%)、60代が156名(5%)、70代が140名(5%)、80代以上が50名(2%)、無回答が1名(0.03%)であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、10代が12名(4%)、20代が15名(6%)、30代が18名(7%)、40代が20名(7%)、50代が15名(5%)、60代が22名(8%)、70代が125名(45%)、80代以上が50名(18%)、無回答が0名(0%)であった。

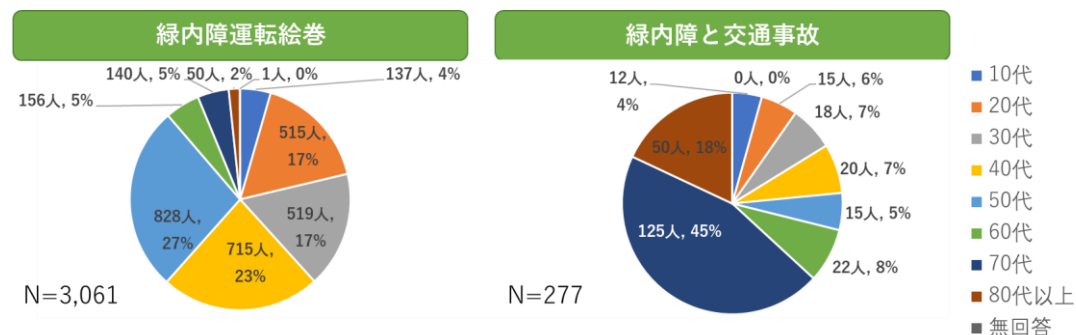


図 2-14 年齢

2) 性別 (図 2-15)

性別について、「緑内障運転絵巻」では、男性が2,488名(81%)、女性が558名(18%)、その他が2名(0.1%)、無回答が13名(1%)であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、男性が176名(64%)、女性が90名(32%)、その他が2名(1%)、無回答が9名(3%)であった。

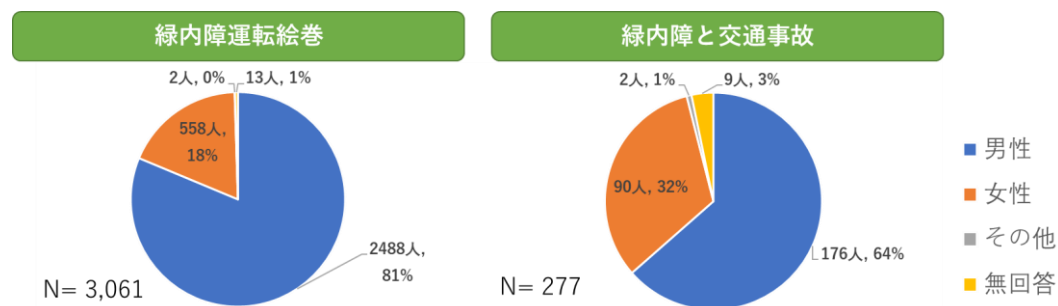


図 2-15 性別

3) 現在の居住地 (都道府県)

現在の居住地(都道府県)について、「緑内障運転絵巻」では、東京都が286名と最も多く、次いで、北海道が259名、福島県が232名の順で多かった(図 2-16)。

同様に、「緑内障と交通事故」では、福島県が156名と最も多く、次いで、北海道が87名、東京都が13名の順で多かった(図 2-17)。

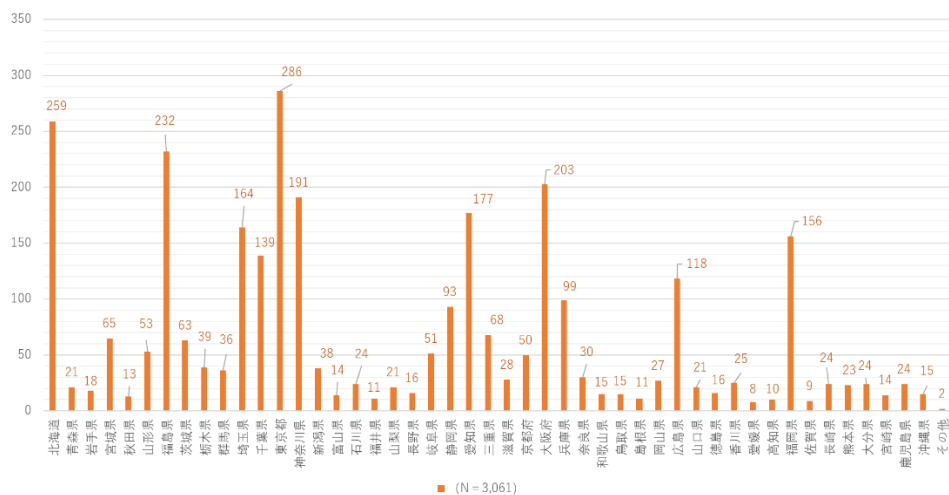


図 2-16 現在の居住地（都道府県）緑内障運転絵巻

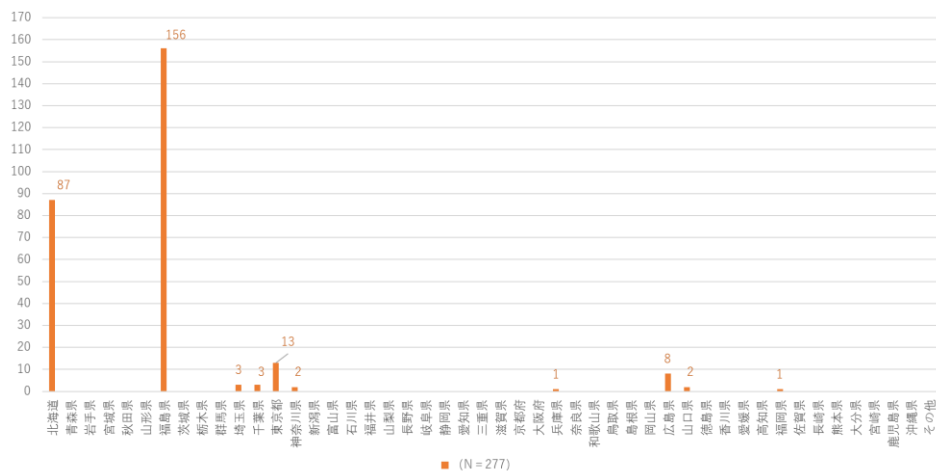


図 2-17 現在の居住地（都道府県）緑内障と交通事故

4) 運転頻度について該当するものに○をつけてください（図 2-18）

「運転頻度について該当するものに○をつけてください」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「ほぼ毎日」が 1,986 名（65%）、「週に 1 回程度以上」が 576 名（19%）、「月に 1 回程度以上」が 169 名（6%）、「年に 1 回程度以上」が 67 名（2%）、「年に 1 回未満」が 40 人（1%）、「自分では車を運転しない」が 213 名（7%）、無回答が 10 名（0.3%）であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「ほぼ毎日」が 170 名（61%）、「週に 1 回程度以上」が 65 名（24%）、「月に 1 回程度以上」が 11 名（4%）、「年に 1 回程度以上」が 3 名（1%）、「年に 1 回未満」が 3 名（1%）、「自分では車を運転しない」が 21 名（8%）、無回答が 4 名（1%）であった。

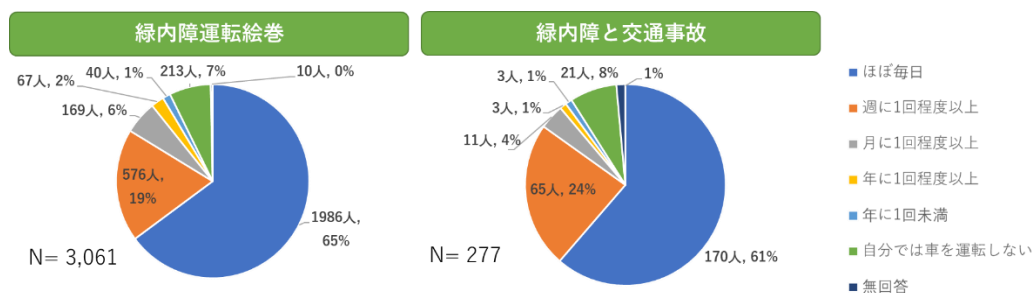


図 2-18 運転頻度

5) 動画を見る前、緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？（図 2-19）

「動画を見る前、緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「知っていた」が 1,030 名(34%)、「少し知っていた」が 752 名 (24%)、「あまり知らなかった」が 849 名(28%)、「知らなかった」が 427 名 (14%)、無回答が 3 名 (0.1%) であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「知っていた」が 93 名(34%)、「少し知っていた」が 75 名 (27%)、「あまり知らなかった」が 55 名(20%)、「知らなかった」が 51 名 (18%)、無回答が 3 名 (1%) であった。

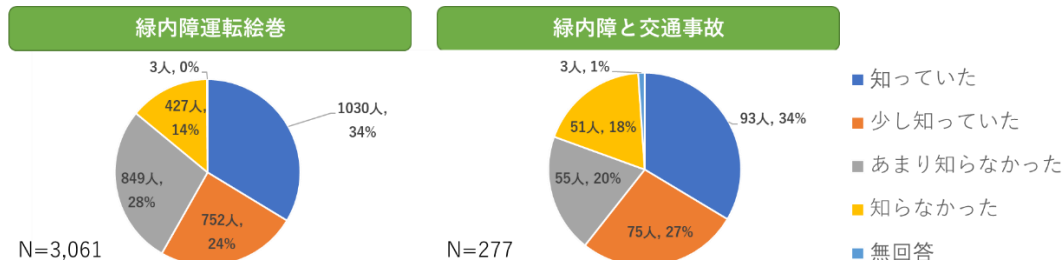


図 2-19 動画を見る前、緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？

6) 動画を見た後、緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？（図 2-20）

「動画を見た後、緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「深まった」が 2,310 名 (76%)、「やや深まった」が 691 名 (23%)、「あまり深まらなかった」が 41 名 (1%)、「深まらなかった」が 11 名 (0.4%)、無回答が 8 名 (0.3%) であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「深まった」が 193 名 (70%)、「やや深まった」が 73 名 (26%)、「あまり深まらなかった」が 1 名 (0.4%)、「深まらなかった」が 3 名 (1%)、無回答が 7 名 (3%) であった。

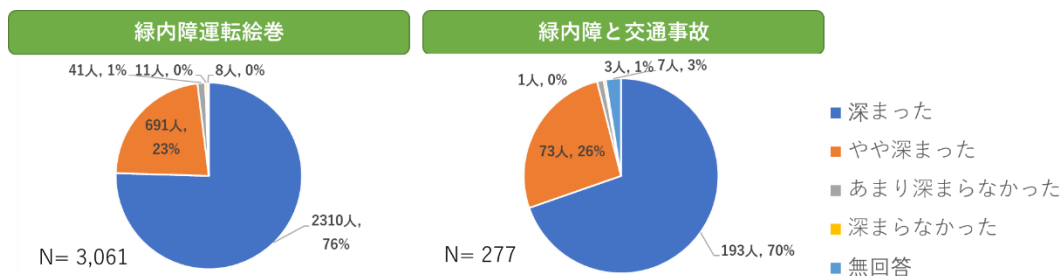


図 2-20 動画を見た後、緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？

7) 本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください (図 2-21)

「本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、10 点が 1,116 名と最も多く、次いで、8 点が 757 名、9 点が 378 名の順で多かった。また、平均点は 8.3 点であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、10 点が 135 名と最も多く、次いで、8 点が 50 名、9 点が 28 名の順で多かった。また、平均点は 8.6 点であった。

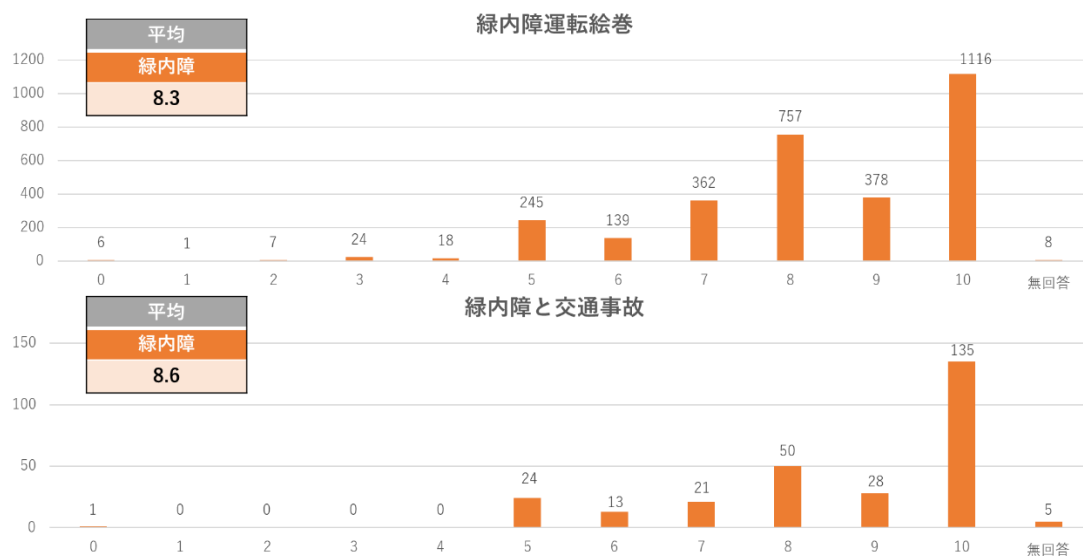


図 2-21 本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください

8) 動画の時間（長さ）は適当でしたか？ (図 2-22)

「動画の時間（長さ）は適当でしたか？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「長かった」が 66 名（2%）、「やや長かった」が 283 名（9%）、「適当だった」が 2,625 名（86%）、「やや短かった」が 62 名（2%）、「短かった」が 18 名（1%）、無回答は 7 名（0.2%）であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「長かった」が 12 名（4%）、「やや長かった」

が 51 名（18%）、「適当だった」が 196 名（71%）、「やや短かった」が 10 名（4%）、
「短かった」が 2 名（1%）、無回答は 6 名（2%）であった。

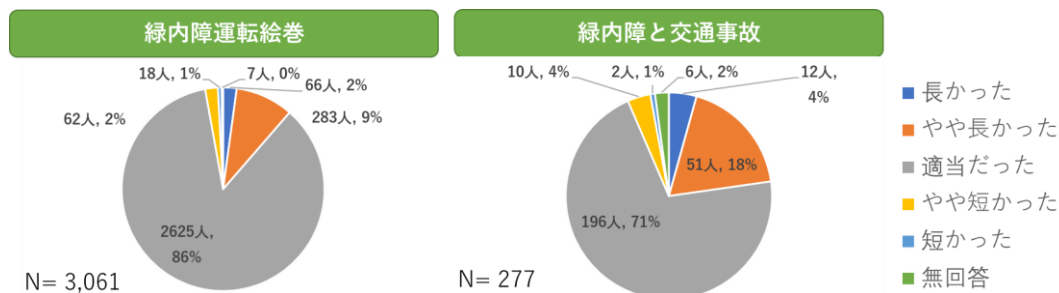


図 2-22 動画の時間（長さ）は適当でしたか？

9) 動画の内容はわかりやすかったですか？（図 2-23）

「動画の内容はわかりやすかったですか？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「わかりやすかった」が 2,466 名（81%）、「ややわかりやすかった」が 545 名（18%）、「ややわかりにくかった」が 38 名（1%）、「わかりにくかった」が 9 名（0.3%）、無回答が 3 名（0.1%）であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「わかりやすかった」が 214 名（77%）、「ややわかりやすかった」が 50 名（18%）、「ややわかりにくかった」が 10 名（4%）、「わかりにくかった」が 0 名（0%）、無回答が 3 名（1%）であった。

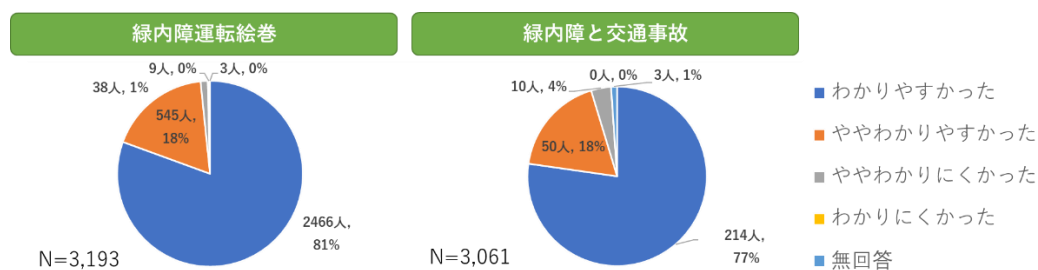


図 2-23 動画の内容はわかりやすかったですか？

10) 9) の回答理由をご記入ください

「9) の回答理由をご記入ください」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「テンポが良い」、「説明が簡潔」、「対話形式」であることや、「症状の心当たりがある」、医学的な難しい言葉や言い回しが無かった」、「キャラクターが魅力的だったから」、「緑内障の見え方のイラストが分かりやすかった」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「緑内障になった際の見え方と運転でのリスクがとても分かりやすかった。」、「病気の内容がわかりやすく解説されていた。」、「目の

検査の紹介、無自覚が多い、緑内障の本当の見え方など それぞれの説明が簡潔だがざっと理解しやすかった。」「緑内障とはどんな症状なのか、その症状により運転の注意の仕方があることなど具体的にわかりやすかったと思います。」「緑内障のことを知らない人にもわかりやすい説明でした。」などの回答が得られた。

11) 動画の中で、印象に残った点があればご記入ください

「動画の中で、印象に残った点があればご記入ください」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「緑内障を患っている人の割合が思っていたより大きい。」「一部の視野が欠損するが 本人は気付かないことがある。」「緑内障の方の見え方を説明する場面。実際にどんな風に見えるのか、わかりやすかった。」「早期発見で緑内障の進行を遅らせることができること。また点眼薬で手軽な治療方法ということ。」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「目の検査の種類、何故無自覚の人が多いかの説明。」「歩行者を轢きそうになった際、緊張感がありました。」「緑内障の際の視野がどのようになるかがわかった。」などの回答が得られた。

12) 本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？
(図 2-24)

「本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「そう思う」が 2,236 名 (73%)、「ややそう思う」が 738 名 (24%)、「あまりそう思わない」が 60 名 (2%)、「思わない」が 7 名 (0.2%)、無回答が 20 名 (1%) であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「そう思う」が 201 名 (73%)、「ややそう思う」が 62 名 (22%)、「あまりそう思わない」が 5 名 (2%)、「思わない」が 1 名 (0.4%)、無回答が 8 名 (3%) であった。

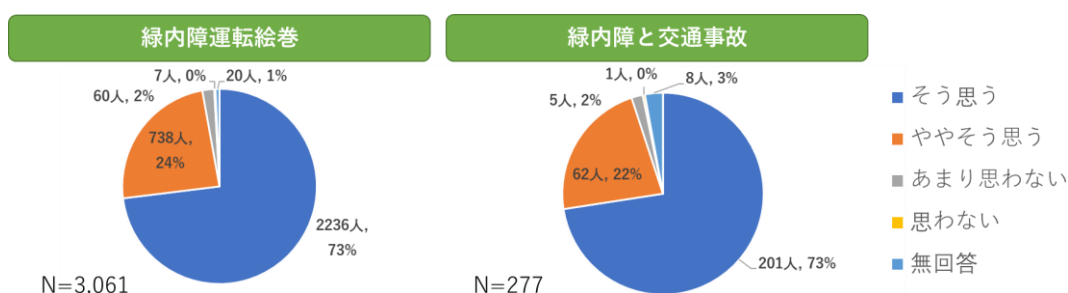


図 2-24 本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？

13) 12) の回答理由をご記入ください

「12) の回答理由をご記入ください」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「緑内障＝運転が危険、ということは社会全体で十分に認識されているとはいえず、一

方で、信号を認知できないという大きなリスクがあるため、有用な動画だと思えます。」「緑内障の見え方が想像と違うことがわかり、運転に支障が出ると実感した。」「緑内障だと気が付いていない人もいると思うので、自分の症状と比べて病院を受診するきっかけになると思う。」「私自身も含め、緑内障と事故を理解していない人は多いと思う。」「緑内障のように、自身がその症状を自覚していれば運転時も弱点を克服する対処や準備ができるので事故防止に有効だと思う」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「視野の欠落がそれぞれ人による事など、学ばなければなかなか気づきにくいのでこの動画を見ることによって自分はどうだろうかと気をつけるきっかけになると思う。」「自覚症状に気づかないで運転しているときのリスクがあるため、「運転中の見え方で、こんなことが一つでもあれば眼科診断してみましょう」のような気づきを伝えられるのは防止策につながるのではと思いました。」「緑内障を自覚している人が少ないため、その自覚を促すことと交通事故につながることを啓発することが、その防止に重要だから。」などの回答が得られた。

14) この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が緑内障の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたが？（図 2-25）

「この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が緑内障の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたが？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「そう思う」が 2,299 名（75%）、「ややそう思う」が 650 名（21%）、「あまりそう思わない」が 71 名（2%）、「思わない」が 21 名（1%）、無回答が 20 名（1%）であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「そう思う」が 193 名（70%）、「ややそう思う」が 68 名（24%）、「あまりそう思わない」が 6 名（2%）、「思わない」が 2 名（1%）、無回答が 8 名（3%）であった。

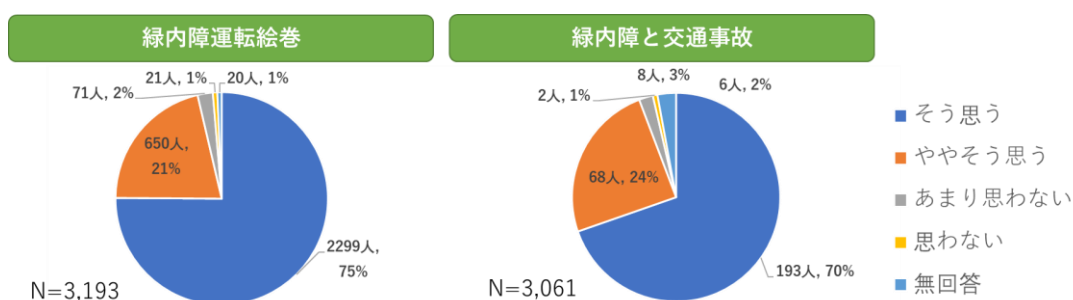


図 2-25 この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が緑内障の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたが？

15) 14) の回答理由をご記入ください

「14) の回答理由をご記入ください」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「緑内障は動画内のように信号を認知できないという大きなリスクがあるため、疑いがあれば受診は必須と思いました。」「普段の生活で支障がなくても、運転する際は、大変危険だとわかったから。」「重大事故になる前に、病気は治療しておいた方が良いと思うし、事故を回避する方法が解る。」「大切な人を傷つけないためにも早期発見に向け、受診を勧める&自身も医療機関に相談していきたいと思う。」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「緑内障を放っておくことは患者のみならず周囲の人々を多く不幸に巻き込むことになるから、正しい知識を広めて早期発見早期治療を広く勧めたい。」「重大事故へのリスクがあるため。」「緑内障で目が見えなくなることのできる限り避けてほしいし、それによる交通事故も避けてほしいため。」「緑内障と運転に関しての啓発動画は見たことがなかった。」などの回答が得られた。

16) この動画を見た理由をお答えください（当てはまるもの全てに☒ をしてください）
（図 2-26）

「この動画を見た理由をお答えください（当てはまるもの全てに☒ をしてください）」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「興味があったから」が 235 名、「講習会や研修で勧められたから」が 2,004 名、「自身の運転に不安があったから」が 35 名、「家族や知人に紹介されたから」が 68 名、「職場等でチラシやポスターを見たから」が 450 名、「職場で視聴するよう指示されたため」が 375 名、「その他」が 34 名であった。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「興味があったから」が 34 名、「講習会や研修で勧められたから」が 201 名、「自身の運転に不安があったから」が 13 名、「家族や知人に紹介されたから」が 13 名、「職場等でチラシやポスターを見たから」が 4 名、「職場で視聴するよう指示されたため」が 0 名、「その他」が 1 名であった。

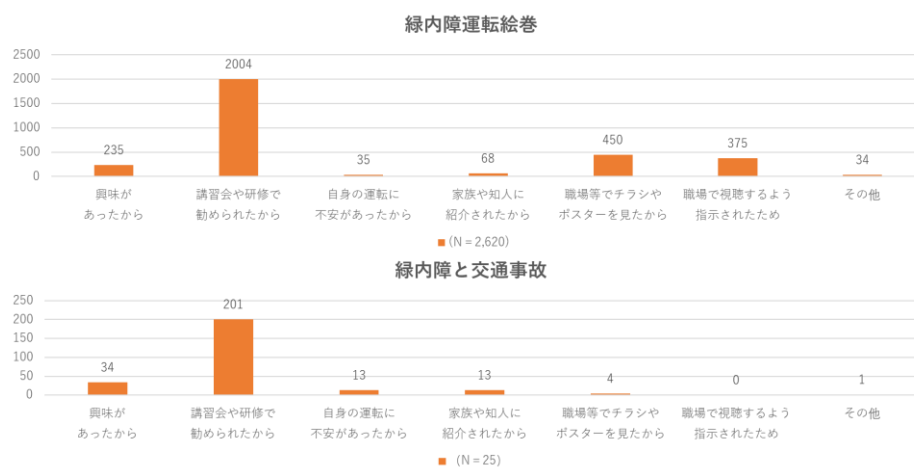


図 2-26 この動画を見た理由をお答えください

17) 病気が原因となる交通事故を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？

「病気が原因となる交通事故を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「健保や企業による助成」、「さらなる普及啓発」、「自動運転技術の発展」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「さらなる普及啓発」、「運転者が自身の体意識の向上」などの回答が得られた。

18) この取り組みに関するご意見やご感想を是非ともお聞かせください。

「この取り組みに関するご意見やご感想を是非ともお聞かせください。」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「素晴らしい取り組み」、「安全運転の講習等で活用したい」、「今までと違ったテイストで良かった」、「制作側の気持ちが伝わってきた」、「『運転寿命を延ばそう』という自己利益につながるキャッチフレーズが秀逸」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障と交通事故」では、「自動車保険のお客様などに対する啓発動画として活用したい」、「動画を使うことは臨場感が出て 自分に置き換えて考えられ 分かりやすくてとても良い」などの回答が得られた。

4. 外国語版の作成

2021 年度は、国内のみならず国外における健康起因事故防止の普及啓発を目的として、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」、「緑内障運転絵巻」、「緑内障と交通事故」の英語版、中国語版、タイ語版を作成し、YouTube で公開した。

5. まとめ

2021 年度は、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」、「緑内障運転絵巻」、「緑内障と交通事故」の 4 つの啓発動画の視聴後アンケートを実施した。その結果、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」は 3,193 名、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」は 313 名、「緑内障運転絵巻」は 3,061 名、「緑内障と交通事故」は 277 名から回答を得た。

アンケートの結果、すべての動画は平均点が 8 点以上と高い評価を得た。動画の内容についても、95%以上の方が、「わかりやすかった」、「ややわかりやすかった」と回答し、睡眠時無呼吸症候群や緑内障と交通事故との関連についても 9 割以上の者が理解が「深まった」、「やや深まった」という回答した。動画の視聴時間について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「緑内障運転絵巻」については 8 割以上の者が「適当だった」と回答し、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」、「緑内障と交通事故」についても、7 割以上の者が「適当だった」と回答した。また、「本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？」という質問については、すべての動画で 95%以上の者が「そう思う」「ややそう思う」と回答した。さらに、「この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職

場の身近な人等が睡眠時無呼吸症候群（または緑内障）の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたか？」という質問について、全ての動画で約9割以上の者が「そう思う」「ややそう思う」と回答した。以上より、すべての啓発動画の評価は高く、本動画の活用は健康起因事故防止の取組として有用である可能性が考えられた。

一方、「動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群（または緑内障）が交通事故の原因になることを知っていましたか？」という質問について、「知っていた」、「少し知っていた」と回答した者は、睡眠時無呼吸症候群では約7～8割であったのに対して、緑内障では約6割と低く、一般的に睡眠時無呼吸症候群に比べて緑内障の方が交通事故の原因となることが認識されていない傾向がある可能性が考えられた。

以上より、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」、「緑内障運転絵巻」、「緑内障と交通事故」の4つの啓発動画は、健康起因事故防止の取組として有用である可能性が考えられた。また、今後は外国語版の動画をアジア地域で普及するとともに視聴後のアンケートを実施し、各国間での健康起因事故に関する意識について比較検討する必要があると考えられた。

Ⅲ. 2022 年度調査

1. 背景と目的

2022 年度は、アジア地域での普及啓発をするため、タイでパイロット調査を行った。具体的には、チュラロンコン大学で国際シンポジウムを開催し、シンポジウムの来場者を対象に、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「緑内障運転絵巻」のタイ語版を用いて、視聴後のアンケート調査を行った。また、タイの運輸業における健康管理の実態を把握するため、運輸業者 1 社にヒアリング調査を行った。

2. 方法

2-1. 対象

本調査は、タイのチュラロンコン大学で開催した国際シンポジウム（資料 5）の参加者を対象に実施した。シンポジウムの概要は以下である。

テーマ	「Prevention of Health-related Traffic Accidents ～Obstructive Sleep Apnea and Glaucoma～」
日時	2023 年 1 月 9 日（日）10：00～12：00（THA）
場所	Chulalongkorn University Bhumisiri Mangkhalausom Building 12 Floor Room 1201
内容	< 演者（所属） > 土井健司先生（大阪大学） < 演題 > Types of assumed causes of traffic accidents in Thailand and ASEAN < 演者（所属） > Naricha Chirakalwasan 先生（チュラロンコン大学） < 演題 > Sleep apnea and road safety in Thailand: current status and issues < 演者（所属） > 谷川武先生（順天堂大学） < 演題 > Sleep apnea and glaucoma: screening in Japan
参加者数	41 名
参加者内訳	医療従事者（10 名）、チュラロンコン大学学生（8 名）、国及び地方公共団体(疾病管理部)（9 名）、フェロー/レジデント（5 名）、ATRANS 関係者（4 名）、JICA 関係者（2 名）、研究機関関係者（1 名）、大学関係者（1 名）、民間企業（1 名）

2-2. 質問紙

「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「緑内障運転絵巻」のタイ語版について、2021 年度に実施したアンケートの項目に、睡眠時無呼吸症候群や緑内障を診断された経験の

有無、疾患の認知度、動画の個人への有用性、動画で紹介された症状の有無を加えた、計 22 項目について調査した（資料 6、7）。

3. 結果

3-1. アンケートの回答者数

各動画について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」は 38 名、「緑内障運転絵巻」は 34 名から回答を得た。

3-2. 「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」と「緑内障運転絵巻」の結果

1) 年齢（図 3-1）

年齢について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、10 代が 1 名（3%）、20 代が 13 名（34%）、30 代が 15 名（39%）、40 代が 3 名（8%）、50 代が 3 名（8%）、60 代が 2 名（5%）、70 代が 0 名（0%）、80 代以上が 0 名（0%）、無回答が 1 名（3%）であった。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、10 代が 0 名（0%）、20 代が 11 名（32%）、30 代が 14 名（41%）、40 代が 2 名（6%）、50 代が 3 名（9%）、60 代が 2 名（6%）、70 代が 0 名（0%）、80 代以上が 0 名（0%）、無回答が 2 名（6%）であった。

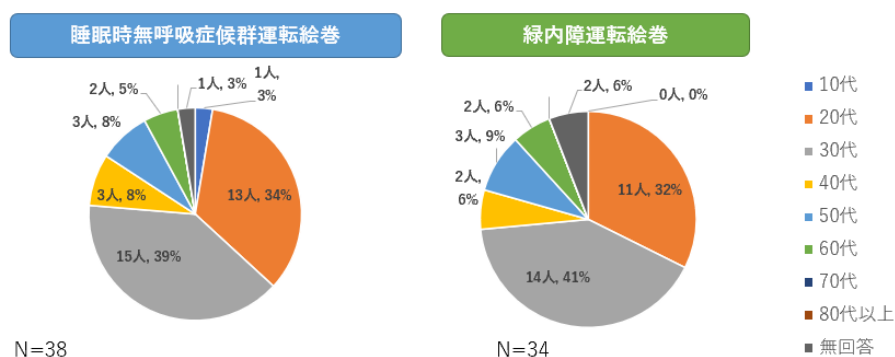


図 3-1 年齢

2) 性別（図 3-2）

性別について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、男性が 15 名（39%）、女性が 22 名（58%）、その他が 0 名（0%）、無回答が 1 名（3%）であった。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、男性が 14 名（41%）、女性が 19 名（56%）、その他が 1 名（3%）、無回答が 0 名（0%）であった。

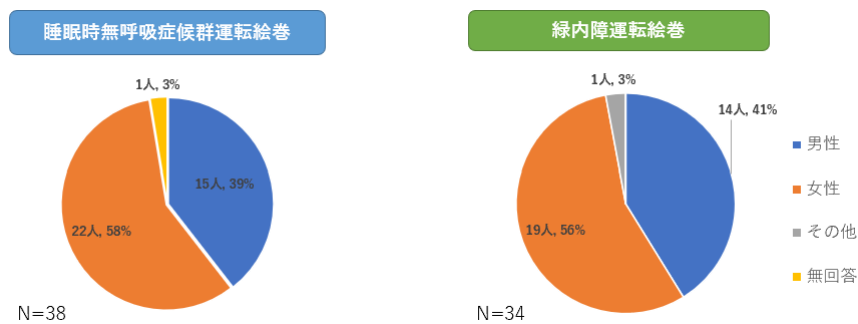


図 3-2 性別

3) 現在の居住地（都道府県）（図 3-3）

現在の居住地（都道府県）について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、バンコクが 23 名と最も多く、次いで、ノンタブリー、パトゥムターニーが 4 名の順で多かった。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、バンコクが 23 名と最も多く、次いで、ノンタブリー、パトゥムターニーが 3 名の順で多かった。

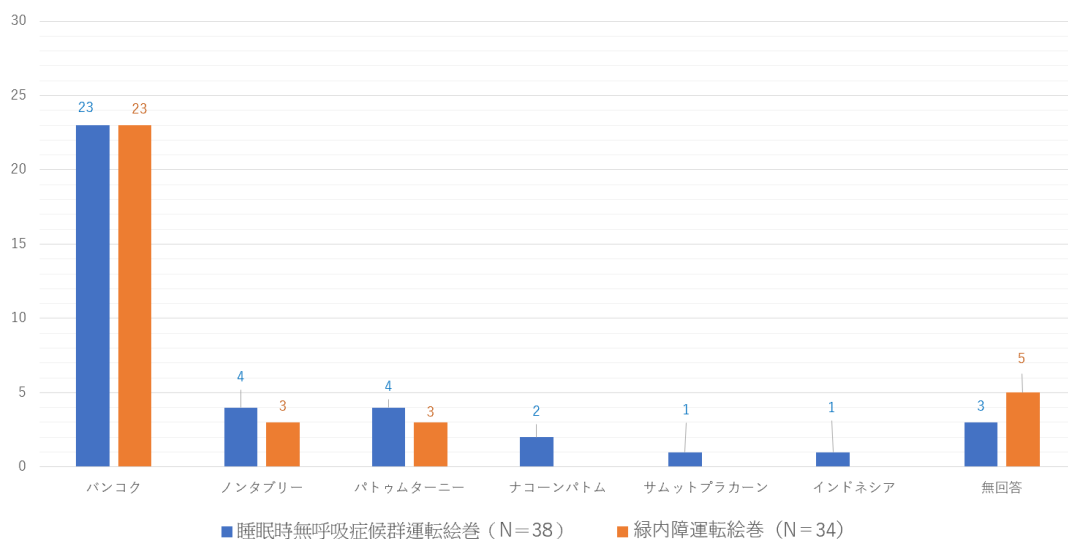


図 3-3 現在の居住地（都道府県）

4) 運転頻度について該当するものに○をつけてください（図 3-4）

「運転頻度について該当するものに○をつけてください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「ほぼ毎日」が 18 名（47%）、「週に 1 回程度以上」が 9 名（24%）、「月に 1 回程度以上」が 2 名（5%）、「年に 1 回程度以上」が 2 名（5%）、「年に 1 回未満」が 0 名（0%）、「自分では車を運転しない」が 7 名（19%）、無回答が 0 名（0%）であった。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「ほぼ毎日」が 16 名（49%）、「週に 1 回程度以上」が 7 名（21%）、「月に 1 回程度以上」が 2 名（6%）、「年に 1 回程度以上」が 2 名（6%）、「年に 1 回未満」が 0 名（0%）、「自分では車を運転しない」が 6 名（18%）、無回答が 0 名（0%）であった。

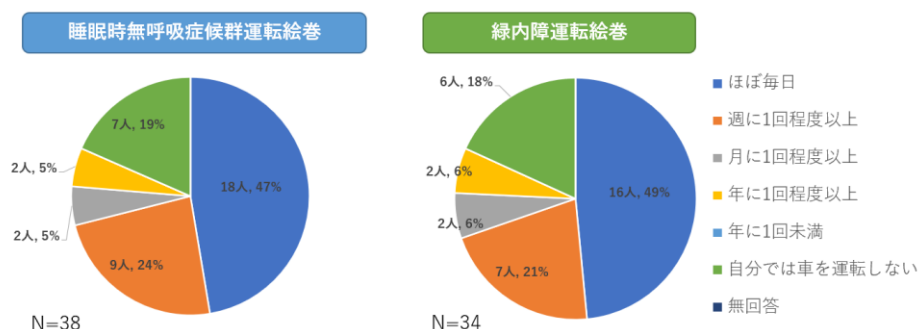


図 3-4 運転頻度

5) あなたは、睡眠時無呼吸症候群・緑内障と診断されたことはありますか？（図 3-5）

「あなたは、睡眠時無呼吸症候群と診断されたことはありますか」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「はい」が 5 名（13%）、「疑いがあると言われた」が 4 名（10%）、「いいえ」が 28 名（74%）、無回答が 1 名（3%）であった。

「あなたは、緑内障と診断されたことはありますか」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「はい」が 1 名（3%）、「疑いがあると言われた」が 0 名（0%）、「いいえ」が 32 名（94%）、無回答が 1 名（3%）であった。

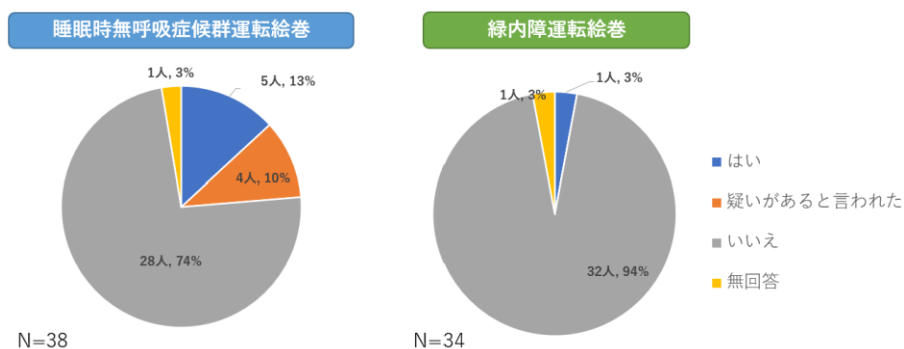


図 3-5 あなたは、睡眠時無呼吸症候群・緑内障と診断されたことはありますか？

6) あなたは、睡眠時無呼吸症候群・緑内障という病気を知っていますか？（図 3-6）

「あなたは、睡眠時無呼吸症候群という病気を知っていますか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「知っている」が 23 名（60%）、「少し知っている」が 11 名（29%）、「あまり知らない」が 3 名（8%）、「知らない」が 1 名（3%）、

無回答が0名（0%）であった。

「あなたは、緑内障という病気を知っていますか？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「知っている」が10名（29%）、「少し知っている」が14名（41%）、「あまり知らない」が9名（27%）、「知らない」が1名（3%）、無回答が0名（0%）であった。

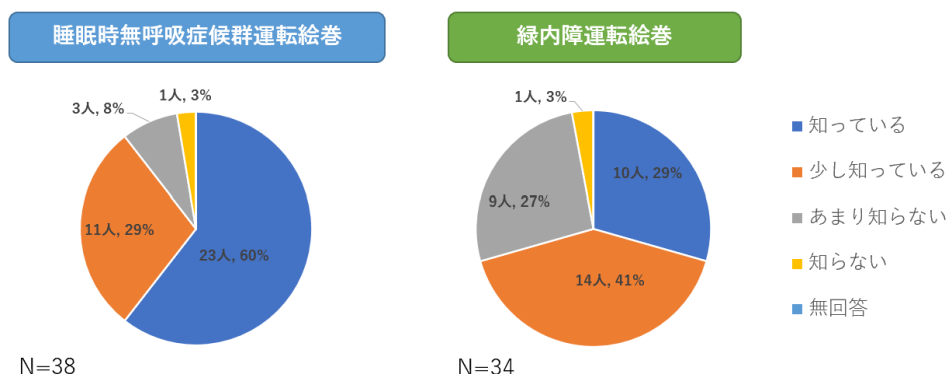


図 3-6 あなたは、睡眠時無呼吸症候群・緑内障という病気を知っていますか？

7) 動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群・緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？（図 3-7）

「動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「知っていた」が20名（53%）、「少し知っていた」が14名（37%）、「あまり知らなかった」が2名（5%）、「知らなかった」が2名（5%）、無回答が0名（0%）であった。

「動画を見る前、緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「知っていた」が13名（39%）、「少し知っていた」が16名（49%）、「あまり知らなかった」が3名（9%）、「知らなかった」が1名（3%）、無回答が0名（0%）であった。

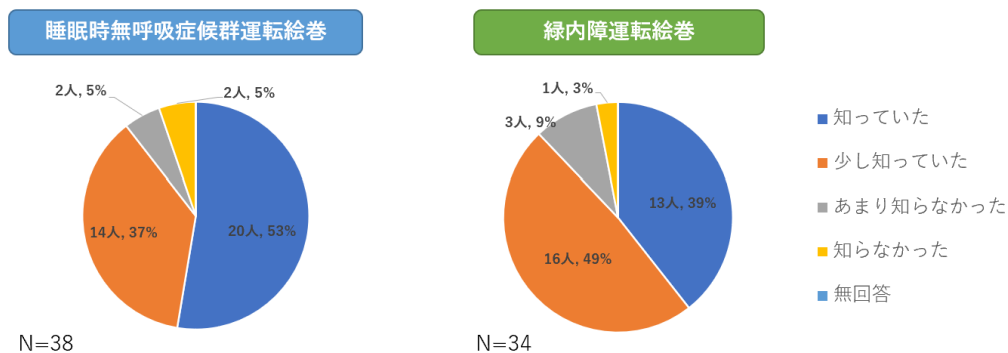


図 3-7 動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群・緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？

8) 動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群・緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？（図 3-8）

「動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「深まった」が 26 名（69%）、「やや深まった」が 10 名（26%）、「あまり深まらなかった」が 2 名（5%）、「深まらなかった」が 0 名（0%）、無回答が 0 名（0%）であった。

「動画を見た後、緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「深まった」が 20 名（59%）、「やや深まった」が 13 名（38%）、「あまり深まらなかった」が 1 名（3%）、「深まらなかった」が 0 名（0%）、無回答が 0 名（0%）であった。

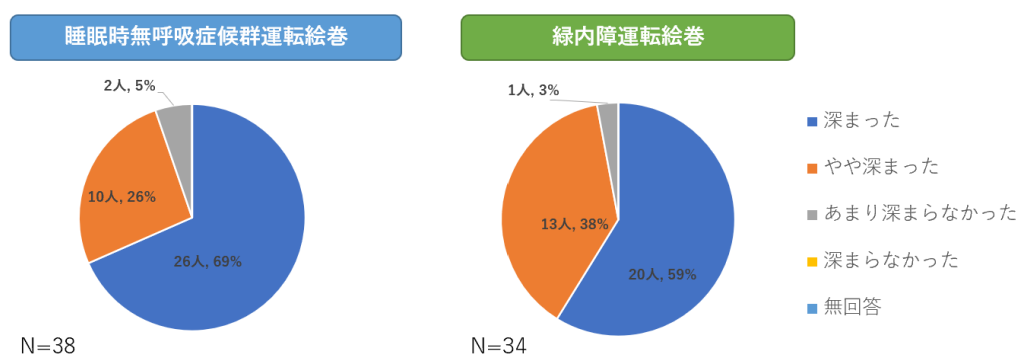


図 3-8 動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群・緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？

9) この動画はあなたにとって役に立つものでしたか？（図 3-9）

「この動画はあなたにとって役に立つものでしたか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「役に立った」が 36 人（95%）、「やや役に立った」が 1 名（2%）、「あまり役に立たなかった」が 0 名（0%）、無回答が 1 名（3%）であった。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「役に立った」が 32 人（94%）、「やや役に立った」が 2 名（6%）、「あまり役に立たなかった」が 0 名（0%）、無回答が 0 名（0%）であった。

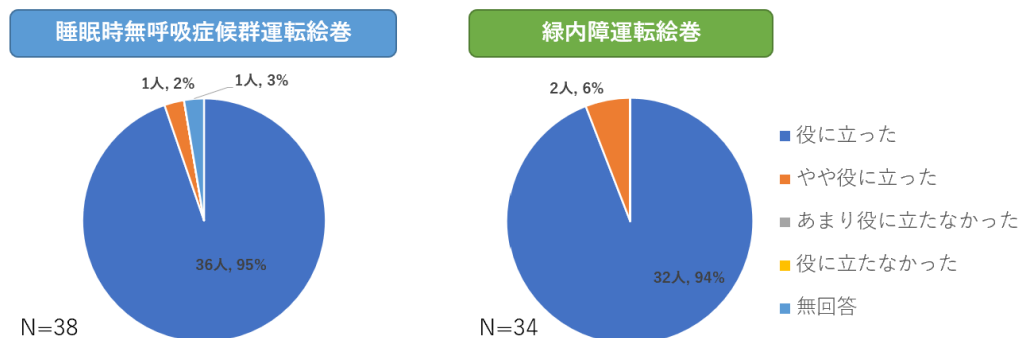


図 3-9 この動画はあなたにとって役に立つものでしたか？

10) 本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください (図 3-10)

「本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、10 点が 16 名と最も多く、次いで、9 点が 11 名、8 点が 9 名の順で多かった。また、平均点は 9.1 点であった。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、10 点が 15 名と最も多く、次いで、9 点が 11 名、8 点が 6 名の順で多かった。また、平均点は 9.1 点であった。

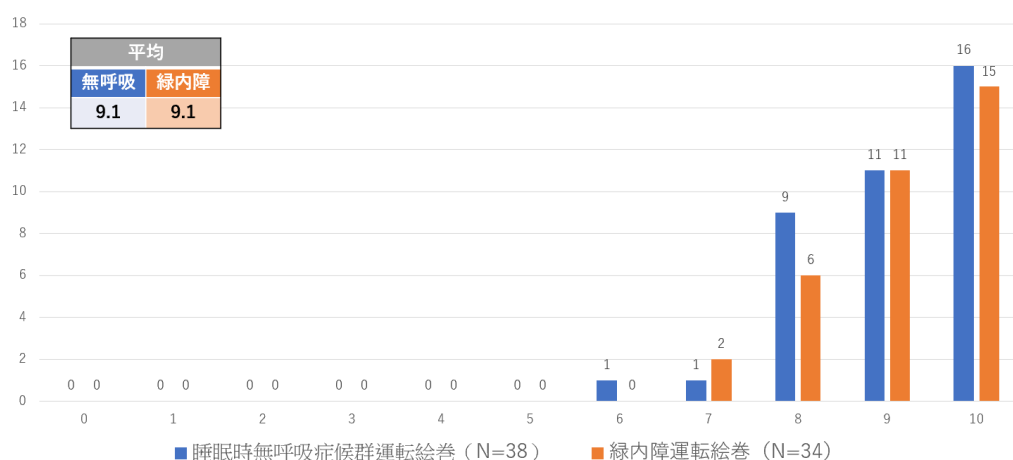


図 3-10 本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください

11) 動画の時間 (長さ) は適当でしたか？ (図 3-11)

「動画の時間 (長さ) は適当でしたか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「長かった」が 1 名 (3%)、「やや長かった」が 4 名 (10%)、「適当だった」が 32 名 (84%)、「やや短かった」が 1 名 (3%)、「短かった」が 0 名 (0%)、無回答は 0 名 (0%) であった。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「長かった」が 0 名 (0%)、「やや長かった」が 0 名 (0%)、「適当だった」が 34 名 (100%)、「やや短かった」が 0 名 (0%)、「短かった」が 0 名 (0%) であった。

た」が0名（0%）、無回答は0名（0%）であった。

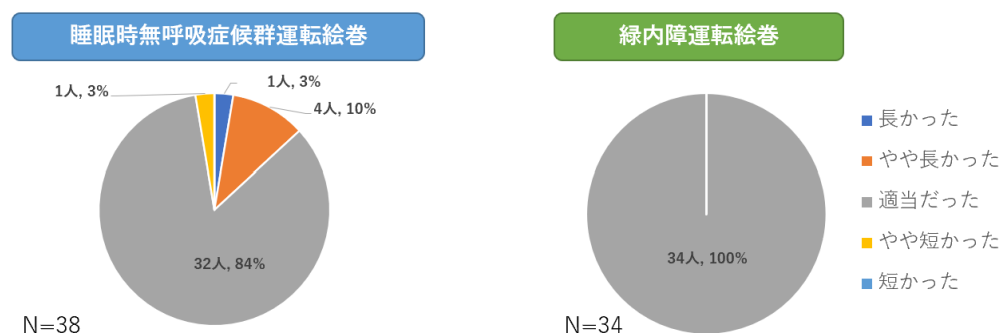


図 3-11 動画の時間（長さ）は適当でしたか？

12) 動画の内容はわかりやすかったですか？（図 3-12）

「動画の内容はわかりやすかったですか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「わかりやすかった」が36名（95%）、「ややわかりやすかった」が2名（5%）、「ややわかりにくかった」が0名（0%）、「わかりにくかった」が0名（0%）、無回答が0名（0%）であった。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「わかりやすかった」が33名（97%）、「ややわかりやすかった」が1名（3%）、「ややわかりにくかった」が0名（0%）、「わかりにくかった」が0名（0%）、無回答が0名（0%）であった。

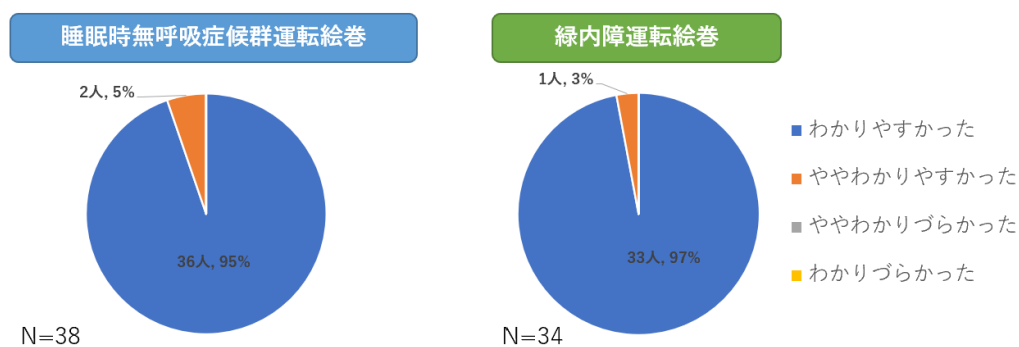


図 3-12 動画の内容はわかりやすかったですか？

13) 12) の回答理由をご記入ください

「9) の回答理由をご記入ください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「緑内障運転絵巻」で、「説明がわかりやすく、映像が伝わりやすいです。」、「説明に使用されている映像、内容、言葉がわかりやすいです。全てが丁度よく、見たいと思わせるので、内容が簡単に覚えられます。」、「性別、年齢に関係なく鑑賞できま

す。」「アニメーションが面白く、色もきれいで理解しやすいです。」「かわいい。」などの回答が得られた。

14) 動画の中で、印象に残った点があればご記入ください

「動画の中で、印象に残った点があればご記入ください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「アドバイスと OSA 治療の必要性に関する自覚を促す点。」「様々な要因について、余すところなく面白く伝えています。」「無呼吸症候群の症状。」「日本のアニメーションは注目を集められるし、奇抜で興味を引き、内容を良く覚えられます。」「1/4 もの人が OSA であることです」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「緑内障患者の見え方。」「緑内障患者の運転中の状況。」「様々な話の説明に用いられるアニメーション、イラスト。」「登場人物の質疑応答。」などの回答が得られた。

15) 本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？
(図 3-13)

「本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「そう思う」が 31 名 (81%)、「ややそう思う」が 5 名 (13%)、「あまりそう思わない」が 1 名 (3%)、「思わない」が 0 名 (0%)、無回答が 1 名 (3%) であった。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「そう思う」が 31 名 (91%)、「ややそう思う」が 3 名 (9%)、「あまりそう思わない」が 0 名 (0%)、「思わない」が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

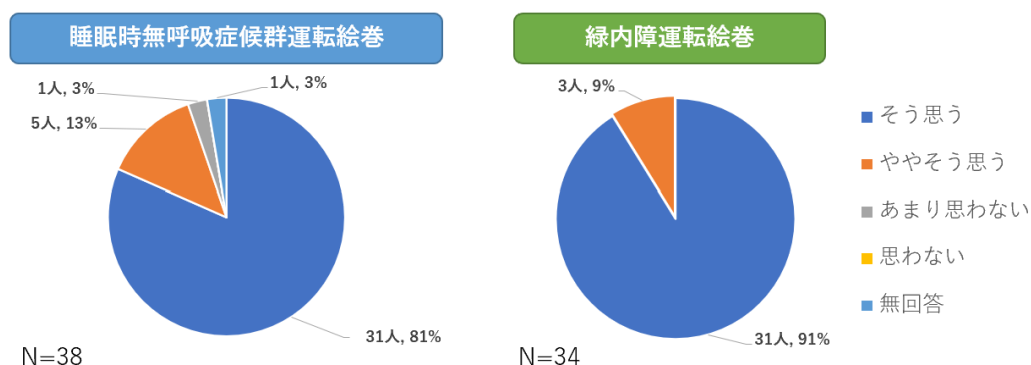


図 3-13 本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？

16) 15) の回答理由をご記入ください

「15) の回答理由をご記入ください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「睡眠時無呼吸症候群は自身にも周囲の人々にも非常に危険です。気づかぬうちに発症するので、広範囲に損害を与えてしまいます。」「多くの方がまだこの病気存在を知らないで、このビデオが拡散されたら多くの助けとなるでしょう。」「皆

が知るべき初歩的な知識だからです。」「アニメーションの長さも丁度よく、一般人にわかりやすく説明しています。」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「怖い病気です。自身が無自覚で疾患している場合、このビデオは非常に有益です。」「詳細な原因を述べており、交通事故に影響を与える緑内障の危険性、症状の見分け方と検査の受診あるいは早期治療についてわかりやすいです。」「この病気であると知らずにいる人もいます。」「病気の症状を市民が知ることができます。」「タイは高齢化社会の国です。緑内障のリスクも上昇していくと思われます。」などの回答が得られた。

17) 動画で紹介された睡眠時無呼吸症候群・緑内障の方がしばしば経験する運転中の状況についてお答えください。

「17-1)あなたに当てはまるもの全てに☑を付けてください。」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「いびきがうるさいと言われた」が20名、「睡眠時に呼吸が止まる」が16名、「十分に寝ているはずなのに日中に眠い」が21名、「昼間、急に眠くなることがある」が17名、「朝起きたら頭痛がする」が18名、「集中力が保てない」が15名、「夜中にトイレに行く回数が多い」が12名、「該当なし」が8名であった。(図3-14)

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「突然、車や人が目の前に飛び出してきたことがある」が16名、「信号機や標識がわかりづらかったことがある」が17名、「家族や同乗者から危ない運転と指摘されたことがある」が17名、「周囲の車の流れに乗れないことがある」が10名、「該当なし」が11名であった。(図3-14)

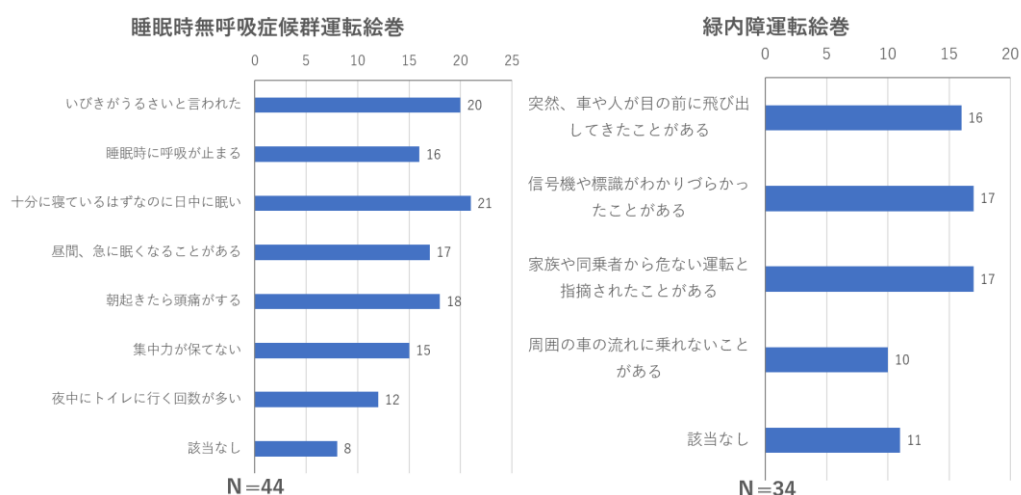


図3-14 あなたに当てはまるもの全てに☑を付けてください。

「17-2)あなたのご家族や職場の身近な人等に当てはまる人はいますか?」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では「いる」が30名(79%)、「いない」

が6名(16%)、無回答が2名(5%)であった。(図3-15)

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「いる」が7名(21%)、「いない」が26名(76%)、無回答が1名(3%)であった。(図3-15)

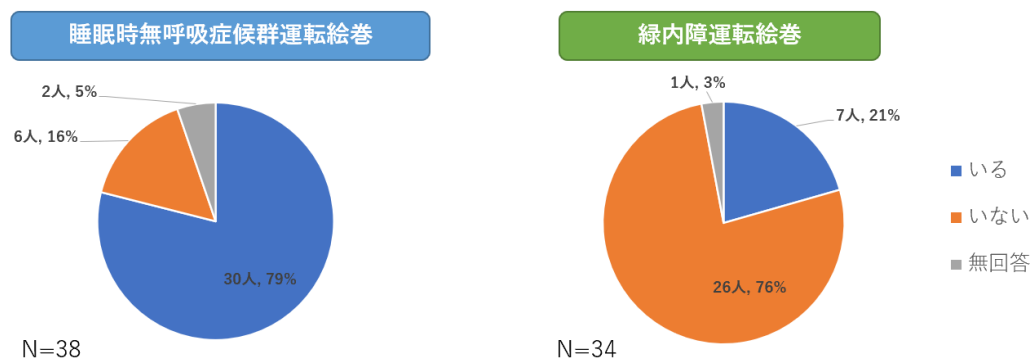


図3-15 あなたのご家族や職場の身近な人等に当てはまる人はいますか？

18) この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が睡眠時無呼吸症候群・緑内障の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたか？(図3-16)

「この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が睡眠時無呼吸症候群の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「そう思う」が32名(84%)、「ややそう思う」が6名(16%)、「あまりそう思わない」が0名(0%)、「思わない」が0名(0%)、無回答が0名(0%)であった。

「この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が緑内障の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたか？」の質問について、「緑内障運転絵巻」では、「そう思う」が28名(82%)、「ややそう思う」が3名(9%)、「あまりそう思わない」が1名(3%)、「思わない」が2名(6%)、無回答が0名(0%)であった。

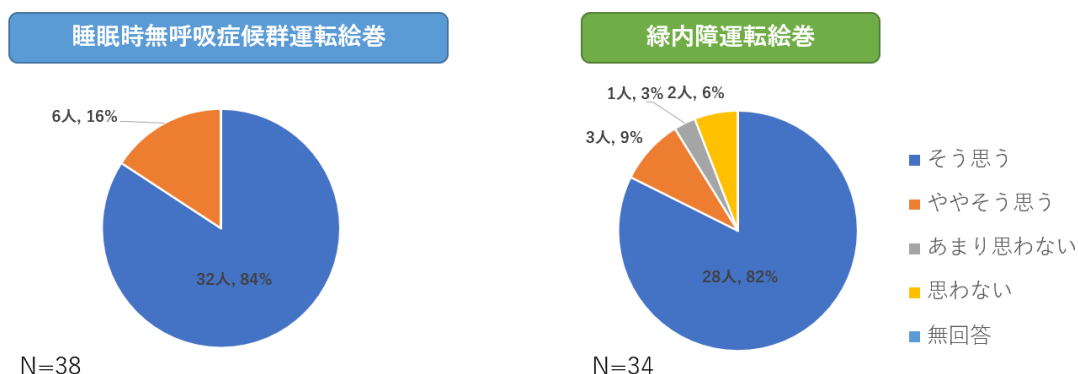


図 3-16 この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が睡眠時無呼吸症候群・緑内障の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたか？

19) 18) の回答理由をご記入ください

「18) の回答理由をご記入ください」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「この病気は運転時の事故に繋がる可能性があるので、初歩段階の症状の検査に行くべきです。」「大きないびきをかいているところを見ると、父はリスクがあるからです。」「父が睡眠時無呼吸症候群で現在治療中です。」「検査には時間がかかり、検査費用も高いからです。」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「運転に与える影響はかなり深刻です。」「緑内障の人や親類に注意するようアドバイスできるからです。」「早く検査して発覚すれば、病気の進行を抑えることができるからです。」「父はたまに運転が危うく、夜間、車線をはみ出したり、近くにいるバイクが見えていなかったりします。」「ビデオで言及しているのに近い症状はまだないです。」などの回答が得られた。

20) この動画を見た理由をお答えください（当てはまるもの全てに☑ をしてください）
（図 3-17）

「この動画を見た理由をお答えください（当てはまるもの全てに☑ をしてください）」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「興味があったから」が 25 名、「講習会や研修で勧められたから」が 26 名、「自身の運転に不安があったから」が 3 名、「家族や知人に紹介されたから」が 2 名、「職場等でチラシやポスターを見たから」が 4 名、「その他」が 2 名であった。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「興味があったから」が 20 名、「講習会や研修で勧められたから」が 24 名、「自身の運転に不安があったから」が 3 名、「家族や知人に紹介されたから」が 1 名、「職場等でチラシやポスターを見たから」が 2 名、「その他」が 0 名であった。

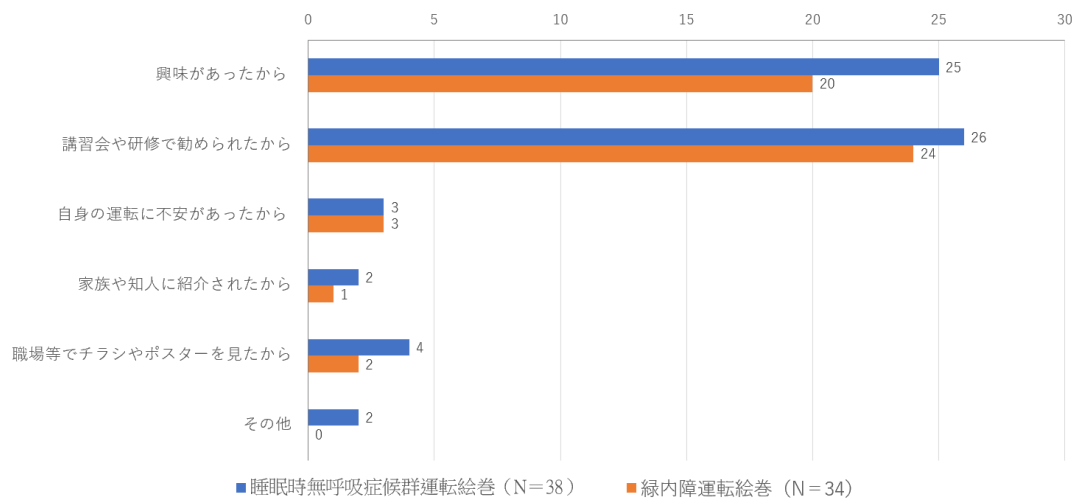


図 3-17 この動画を見た理由をお答えください

21) 病気が原因となる交通事故を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？

「病気が原因となる交通事故を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「定期的な研修や情報発信は、自身（運転手）の状態を再確認し、注意を払うことに繋がります。」「診察を受け、病気に適した正しい治療を受けることです。」「症状がある場合は検査する、病気の初期症状についての情報発信をして市民に周知することです。」「適切にスクリーニングすることです。」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「治療が間に合うようにその人に医者に行くよう勧めます。」「周囲の人々や自身の症状を観察し、早期に検査を受けて予防するよう勧めることです。」「このビデオを拡散させることです。」「早期にスクリーニング検査を行い、治療を受けることです。」「一般市民に自覚するよう 40 歳以上の運転手は緑内障の検査をするよう勧めることです。」などの回答が得られた。

22) この取り組みに関するご意見やご感想を是非ともお聞かせください。

「この取り組みに関するご意見やご感想を是非ともお聞かせください。」の質問について、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」では、「睡眠時無呼吸症候群についてより深く理解できたし、周囲の人々に説明できるようにもなりました。ビデオはわかりやすく面白くて、みんなに観るよう勧めたいです。」「わかりやすいです。医療従事者ではない一般人に適しています。」「一般人に適しています。ただ小さな顎の説明をしてる時の訳文が…日本語の言葉をそのまま使っているの、わかりにくい。その他はよくわかりました。」などの回答が得られた。

同様に、「緑内障運転絵巻」では、「わかりやすいです。内容に感動します。」「面白いです。最初から最後まで飽きずに見られます。病気について理解が深まりました。人

に見るよう薦めたいです。創造的なよいビデオを制作してくれて感謝します。市民の知識習得に有益です。」「知識を得ることができ、自覚が芽生えました。」などの回答が得られた。

4. タイの運輸業における健康管理に関するヒアリング調査

2022 年度は、シンポジウムに加え、タイの運輸業における健康管理の実態を把握するためにヒアリング調査を行った。調査の概要は以下の表 3-1 に示す。

表 3-1

対象企業（担当者）	タイ創和サービス株式会社（中野枝美子様）
日時	2023 年 1 月 9 日（月）14：00～15：00
場所	タイ創和サービス株式会社：281/8 Soi Ekamai 15, Sukhumvit 63 Rd.,KlongtonNua, Wattana, Bangkok 10110 Thailand
内容	タイの職業運転者における、運行管理や健康管理に関する法制度や事業場におけるその実態について

タイ創和サービス株式会社は、1988 年に設立された、主に訪泰日本人向けのハイヤーサービスや旅行取扱業務を行っている企業である。約 1 時間のヒアリングの中で主に以下の実態が明らかになった

まず、健康起因事故という以前に、タイでは薬物や飲酒が原因の交通事故が多い。特にバスの事故は多く、大きな事故は月に 1 回以上ある。外国人観光客が巻き込まれた事故の場合は大きなニュースになるが、そうでなければそれほど社会の関心は高くない。

また、現在は常にドライバー不足であり、離職率も高く、転職も多い状況である。特に、コロナ禍により、車を手放した個人・会社が増えて、市街地ではタクシーがなかなか捕まらない状況である。そのため、もし勤務前の健康チェックによって問題が判明したとしても、代わりのドライバーを確保することは難しい状況にある。

そもそも、ドライバーは、タイでは一般的に健康診断等をほぼ行っていない。職業運転者だけではなく、会社での健康管理も外資系等の一部企業を除き一般的ではない状況である。したがって、会社による健康管理という次元には未だ達していない状態であり、産業医なども一般的ではない。

タイの医療保険制度については、「公務員医療給付制度」、「社会保障制度」、「国民医療保障制度」の 3 種類があり、指定の病院で利用可能だが、研修医が対応することが多く、質の問題が指摘されている。また、すべての国民に対して睡眠時無呼吸症候群や緑内障の検査や治療が適応されていないことも明らかとなった。

5. まとめ

2022 年度は、アジア地域での普及啓発をするため、タイでパイロット調査を行った。まず、チュラロンコン大学開催した国際シンポジウムの参加者を対象とした「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「緑内障運転絵巻」の視聴後のアンケート調査では、本アンケート調査は対象集団の背景に偏りがあることから結果の解釈には留意が必要であるが、睡眠時無呼吸症候群に比べて、緑内障の認知度が低く、日本での調査結果同様、これらの疾患が交通事故の原因となることを知っている者の割合が低かった。また、日本の調査結果同様、啓発動画は好評であり、動画を視聴したことで、睡眠時無呼吸症候群や緑内障による健康起因事故への理解が深まった回答した者の割合が高かった。また、シンポジウムのディスカッションや啓発動画のアンケートの自由記載欄から、睡眠時無呼吸症候群や緑内障に対するスクリーニングの必要性が認識された。以上より、本啓発動画はタイにおいても健康起因事故防止の対策の一つとして有用である可能性が示された。

一方で、タイの運輸業における健康管理の実態を把握するため、運輸業者 1 社にヒアリング調査を行った結果、タイの一般的な職業運転者における健康管理施策はほとんど行われておらず、健康起因事故防止以前の事故防止課題（ドラッグや飲酒など）が大きいことが明らかとなった。また、タイの社会保障制度では、睡眠時無呼吸症候群や緑内障の検査・治療は、多くの人々の加入する健康保険ではカバーされないなど、健康起因事故防止における制度的な課題が明らかとなった。

IV. 2023 年度調査

1. 背景と目的

2023 年度は、2021 年度に作成した啓発動画の外国語版を用いて、日本、中国、タイで啓発動画の視聴後アンケートを実施し、啓発動画の有用性を検証するとともに、睡眠時無呼吸症候群や緑内障による健康起因事故に関する意識について国際的に比較することを目的とした。

2. 方法

2-1. 対象

アンケートは、日本、中国、タイで行った。日本では、Google フォームまたは自記式アンケート用紙を用いた。Google フォームは IATSS のホームページや YouTube の説明欄などに掲載した他、QR コードを作成し、各動画の最後にアンケートへの案内として表示した。自記式アンケートは、黒井産業株式会社の自動車教習所の教習生やトラック協会の運行管理者などを対象に実施した。中国、タイでは、株式会社アスマーク社を介して、Web アンケートを実施した。Web アンケートでは、18 歳以上の男女、有職者、仕事で運転をする者、運転頻度が年に 1 回以上の者を対象とした。

2-2. 質問紙

「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「緑内障運転絵巻」の日本語版、英語版、タイ語版について、2022 年度に実施したアンケートの項目から、動画の視聴理由の項目を削除した（中国、タイは Web 調査会社によるアンケートのため）、計 21 項目について調査した（資料 6～12）。

3. 結果

3-1. アンケートの回答者数

「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」について、日本は 711 名、中国、タイはそれぞれ 100 名から回答を得た。各国の回答者の年齢層を揃えるため、10 代ならびに 60 代の回答者を除外し、日本は 393 名、中国は 99 名、タイは 98 名を解析対象人数とした。

「緑内障運転絵巻」について、日本は 1,233 名、中国、タイはそれぞれ 100 名から回答を得た。各国の回答者の年齢層を揃えるため、10 代ならびに 60 代以上の回答者を除外し、日本は 815 名、中国は 99 名、タイは 98 名を解析対象人数とした（図 4-1）。

尚、日本の調査では、「睡眠時無呼吸運転絵巻」と「緑内障運転絵巻」についてそれぞれ異なる者が回答しているが、中国、タイの調査では、各動画のアンケートについては同一人物が回答した。

対象者の背景を表 4-1 に示す。

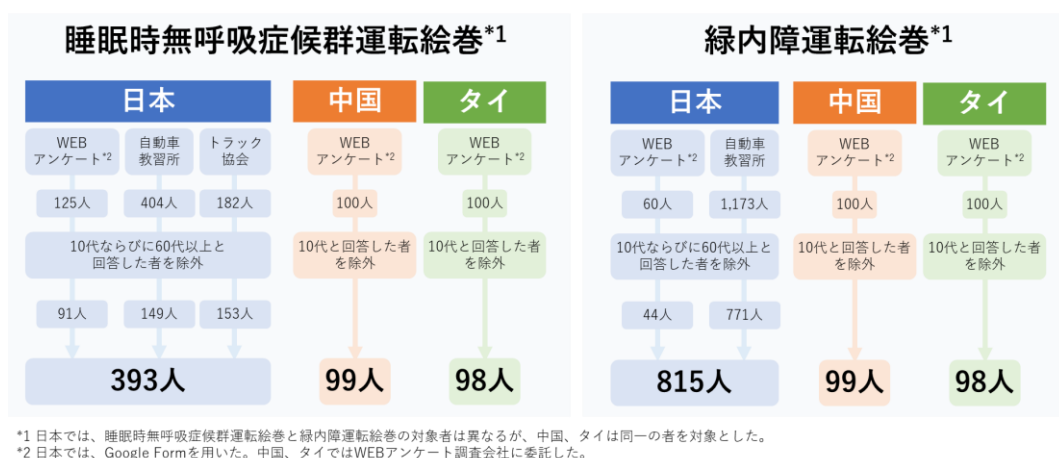


図 4-1 解析対象人数

	日本 393/815人	中国 99/99人	タイ 98/98人
主な職業, 人 (%)	トラック 協会、教 習所の受 講生	会社員 会社経営者等 公務員	会社員 自営業等 公務員
主な業種, 人 (%)		建設・建築等 IT・通信関係 その他製造等	官公庁 その他サービス業 日用品製造等
主な業務, 人 (%)		営業 配送 タクシー	営業 タクシー 配送

表 4-1 対象者の背景

3-2. 「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」の結果

1) 年齢 (図 4-2)

年齢について、日本では、20代が152名 (39%)、30代が62名 (16%)、40代が89 (22%)、50代が90名 (23%) であった。

同様に、中国では、20代が22名 (22%)、30代が57名 (58%)、40代が15 (15%)、50代が5名 (5%)、タイでは20代が29名 (30%)、30代が35名 (36%)、40代が26 (26%)、50代が8名 (8%) であった。

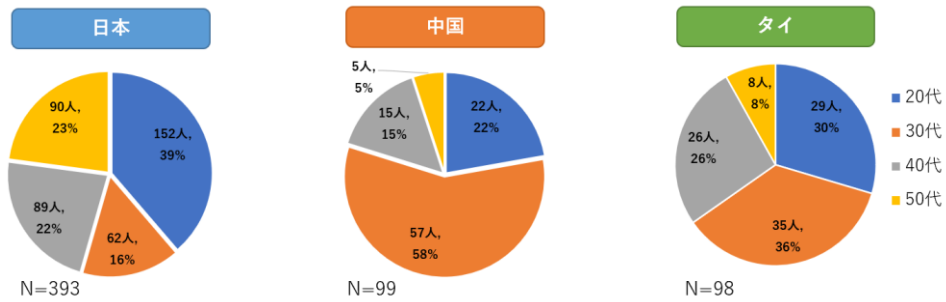


図 4-2 年齢

2) 性別 (図 4-3)

性別について、日本では、男性が 305 名 (78%)、女性が 77 名 (20%)、その他が 5 名 (1%)、無回答が 6 名 (1%) であった。

同様に、中国では、男性が 69 名 (70%)、女性が 30 名 (30%)、その他が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、男性が 40 名 (41%)、女性が 58 名 (59%)、その他が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

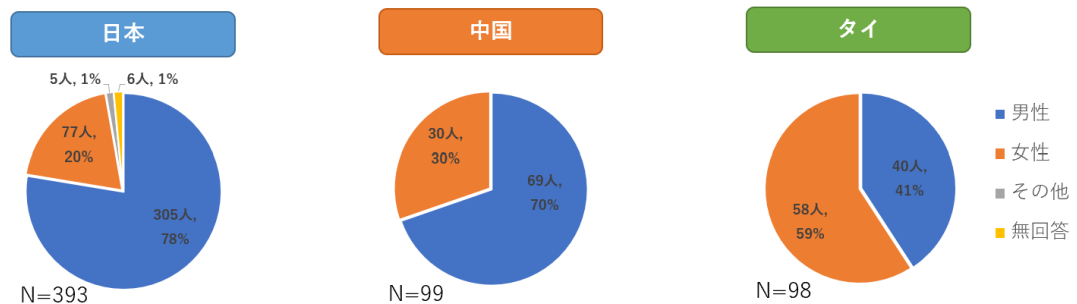


図 4-3 性別

3) 現在の居住地 (都道府県) (図 4-4)

現在の居住地 (都道府県) について、日本では、東京都が 31.8% と最も多く、次いで、広島県が 29.8%、宮城県が 7.9% の順で多かった。

同様に、中国では、広東省が 24.2% と最も多く、次いで、北京市、上海市が 16.2% の順で多く、タイでは、プラーチーンブリー県が 27.6% と最も多く、次いで、サラブリー県、ノンカーイ県が 7.1% の順で多かった。

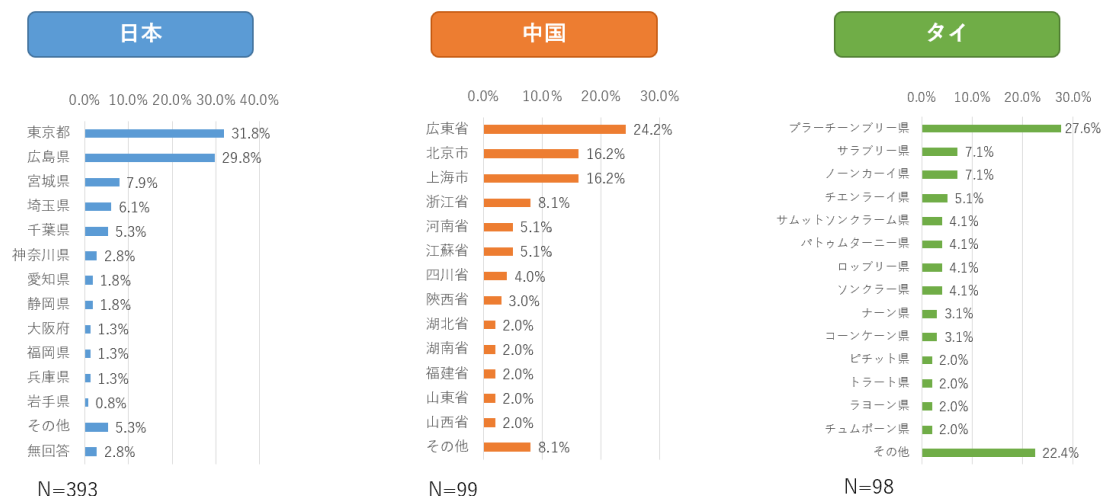


図 4-4 現在の居住地（都道府県）

4) 運転頻度について該当するものに○をつけてください (図 4-5)

「運転頻度について該当するものに○をつけてください」の質問について、日本では、「ほぼ毎日」が 235 名 (60%)、「週に 1 回程度以上」が 33 名 (8%)、「月に 1 回程度以上」が 11 名 (3%)、「年に 1 回程度以上」が 3 名 (1%)、「年に 1 回未満」が 0 名 (0%)、「自分では車を運転しない」が 17 名 (4%)、「自動車教習所通学中」が 93 名 (24%)、無回答が 1 名 (0.3%) であった。

同様に、中国では、「ほぼ毎日」が 67 名 (68%)、「週に 1 回程度以上」が 30 名 (30%)、「月に 1 回程度以上」が 1 名 (1%)、「年に 1 回程度以上」が 1 名 (1%)、「年に 1 回未満」が 0 名 (0%)、「自分では車を運転しない」が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、「ほぼ毎日」が 75 名 (77%)、「週に 1 回程度以上」が 21 名 (21%)、「月に 1 回程度以上」が 0 名 (0%)、「年に 1 回程度以上」が 1 名 (1%)、「年に 1 回未満」が 1 名 (1%)、「自分では車を運転しない」が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

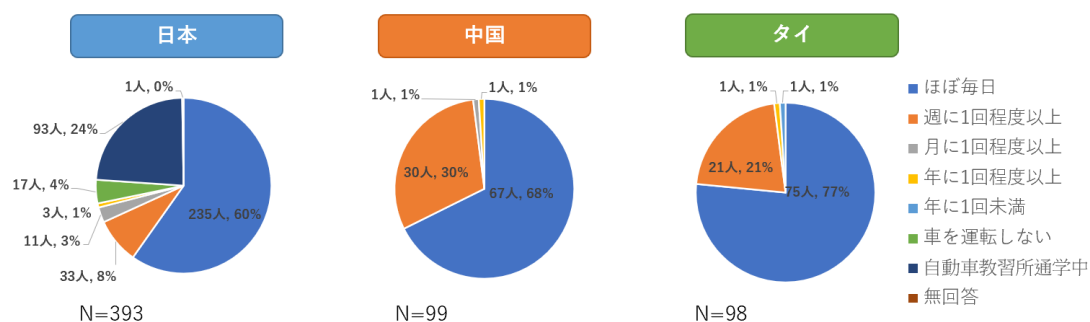


図 4-5 運転頻度

5) あなたは、睡眠時無呼吸症候群と診断されたことはありますか？（図 4-6）

「あなたは、睡眠時無呼吸症候群と診断されたことはありますか」の質問について、日本では、「はい」が 18 名（5%）、「疑いがあると言われた」が 75 名（19%）、「いいえ」が 298 名（76%）、無回答が 2 名（1%）であった。

同様に、中国では、「はい」が 18 名（18%）、「疑いがあると言われた」が 32 名（32%）、「いいえ」が 47 名（48%）、無回答が 2 名（2%）、タイでは、「はい」が 9 名（9%）、「疑いがあると言われた」が 13 名（13%）、「いいえ」が 76 名（78%）、無回答が 0 名（0%）であった。

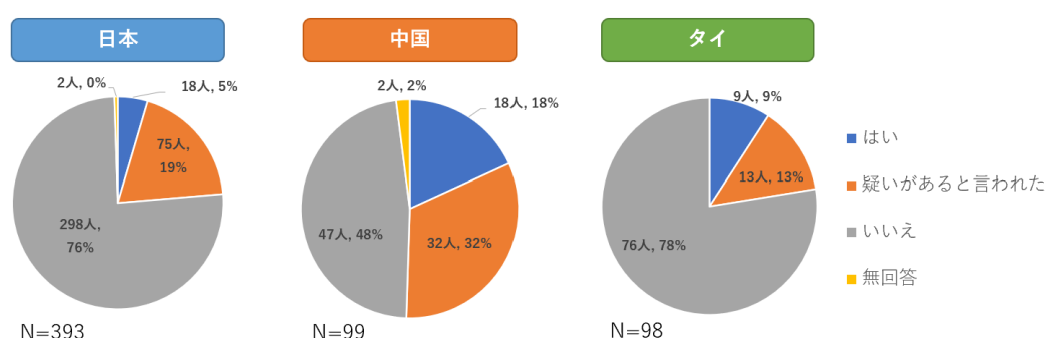


図 4-6 あなたは、睡眠時無呼吸症候群と診断されたことはありますか？

6) あなたは、睡眠時無呼吸症候群という病気を知っていますか？（図 4-7）

「あなたは、睡眠時無呼吸症候群という病気を知っていますか？」の質問について、日本では、「知っている」が 236 名（60%）、「少し知っている」が 104 名（27%）、「あまり知らない」が 37 名（9%）、「知らない」が 16 名（4%）であった。

同様に、中国では、「知っている」が 31 名（31%）、「少し知っている」が 53 名（54%）、「あまり知らない」が 8 名（8%）、「知らない」が 7 名（7%）、タイでは、「知っている」が 28 名（29%）、「少し知っている」が 51 名（52%）、「あまり知らない」が 13 名（13%）、「知らない」が 6 名（6%）であった。

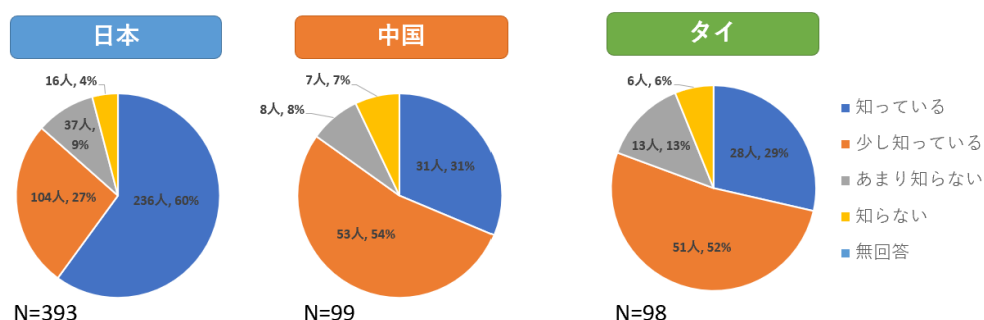


図 4-7 あなたは、睡眠時無呼吸症候群という病気を知っていますか？

7) 動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？（図 4-8）

「動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？」の質問について、日本では、「知っていた」が 168 名(43%)、「少し知っていた」が 81 名 (21%)、「あまり知らなかった」が 72 名(18%)、「知らなかった」が 71 名 (18%)、無回答が 1 名 (0.3%) であった。

同様に、中国では、「知っていた」が 37 名(38%)、「少し知っていた」が 32 名 (32%)、「あまり知らなかった」が 18 名(18%)、「知らなかった」が 12 名 (12%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、「知っていた」が 40 名(41%)、「少し知っていた」が 29 名 (30%)、「あまり知らなかった」が 13 名(13%)、「知らなかった」が 16 名 (16%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

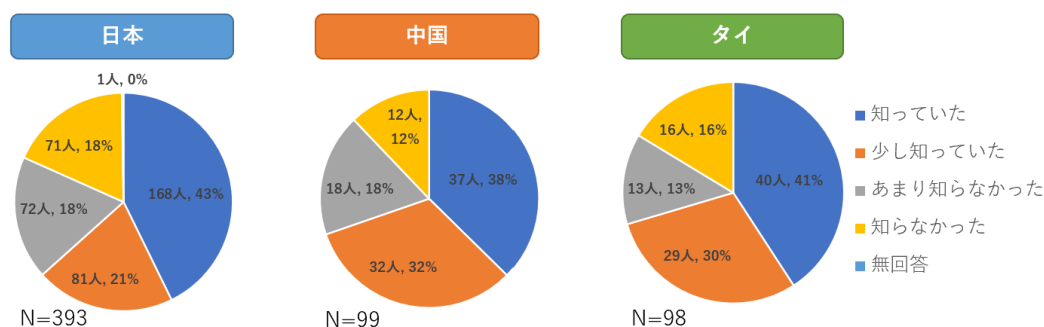


図 4-8 動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？

8) 動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？（図 4-9）

「動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？」の質問について、日本では、「深まった」が 274 名 (70%)、「やや深まった」が 99 名 (25%)、「あまり深まらなかった」が 13 名 (3%)、「深まらなかった」が 4 名 (1%)、無回答が 3 名 (1%) であった。

同様に、中国では、「深まった」が 79 名 (80%)、「やや深まった」が 18 名 (18%)、「あまり深まらなかった」が 1 名 (1%)、「深まらなかった」が 1 名 (1%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、「深まった」が 57 名 (58%)、「やや深まった」が 38 名 (39%)、「あまり深まらなかった」が 3 名 (3%)、「深まらなかった」が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

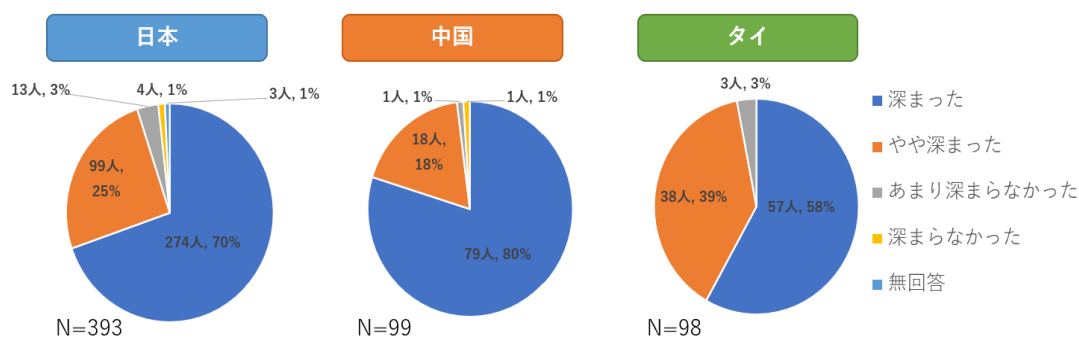


図 4-9 動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？

9) この動画はあなたにとって役に立つものでしたか？ (図 4-10)

「この動画はあなたにとって役に立つものでしたか？」の質問について、日本では、「役に立った」が 273 人 (69%)、「やや役に立った」が 106 名 (27%)、「あまり役に立たなかった」が 5 名 (1%)、「役に立たなかった」が 7 名 (2%)、無回答が 2 名 (1%) であった。

同様に、中国では、「役に立った」が 78 人 (79%)、「やや役に立った」が 20 名 (20%)、「あまり役に立たなかった」が 1 名 (1%)、「役に立たなかった」が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、「役に立った」が 97 人 (99%)、「やや役に立った」が 1 名 (1%)、「あまり役に立たなかった」が 0 名 (0%)、「役に立たなかった」が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

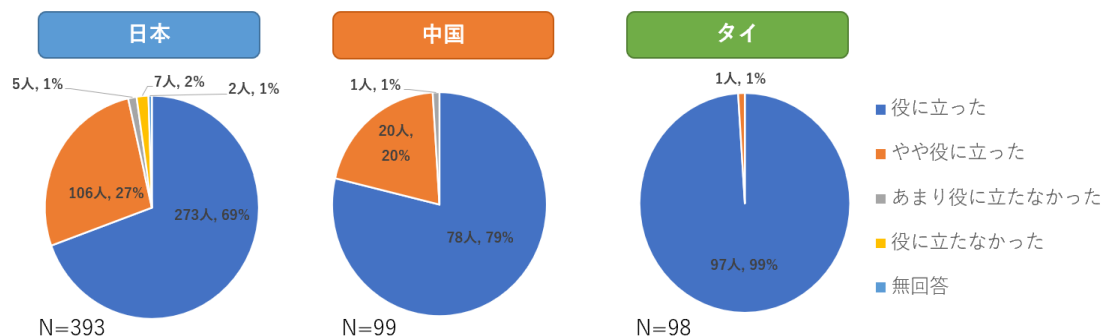


図 4-10 この動画はあなたにとって役に立つものでしたか？

10) 本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください (図 4-11)

「本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください」の質問について、日本では、10 点が 35.8% と最も高く、次いで、8 点が 23.5%、9 点、7 点が 9.7% の順で高かった。また、平均点は 8.1 点であった。

同様に、中国では、10 点が 40.4% と最も高く、次いで、9 点が 28.3%、8 点が 14.1% の順で高く、平均点は 8.5 点であった。タイでは、10 点が 59.2% と最も高く、次いで、

9 点が 14.3%、8 点が 7.1%の順で高く、平均点は 8.6 点であった。

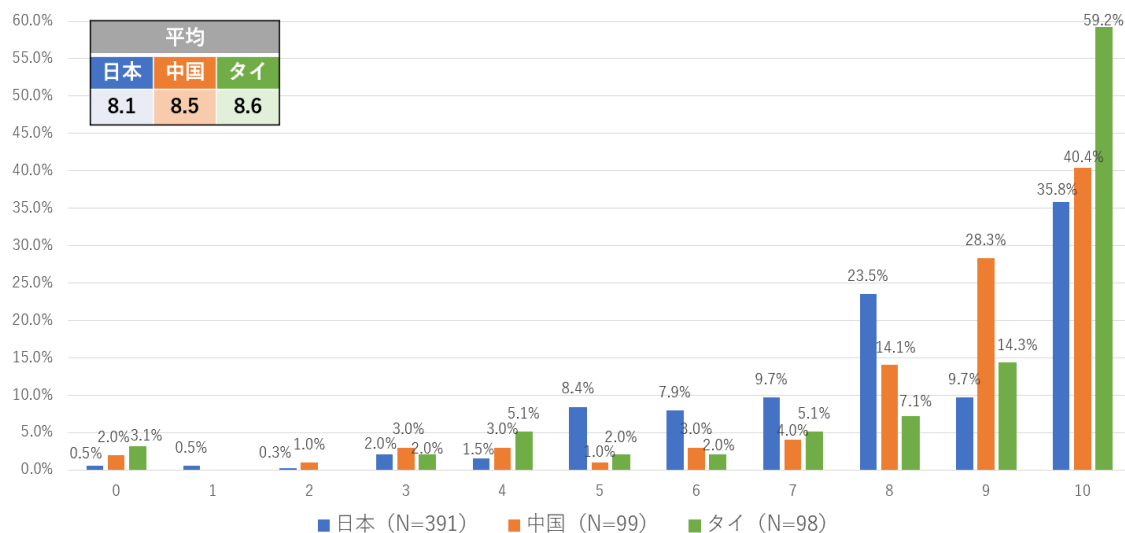


図 4-11 本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください

11) 動画の時間（長さ）は適当でしたか？（図 4-12）

「動画の時間（長さ）は適当でしたか？」の質問について、日本では、「長かった」が 8 名（2%）、「やや長かった」が 23 名（6%）、「適当だった」が 333 名（85%）、「やや短かった」が 20 名（5%）、「短かった」が 9 名（2%）であった。

同様に、中国では、「長かった」が 9 名（9%）、「やや長かった」が 38 名（38%）、「適当だった」が 51 名（52%）、「やや短かった」が 1 名（1%）、「短かった」が 0 名（0%）、タイでは、「長かった」が 2 名（2%）、「やや長かった」が 22 名（22%）、「適当だった」が 74 名（76%）、「やや短かった」が 0 名（0%）、「短かった」が 0 名（0%）であった。

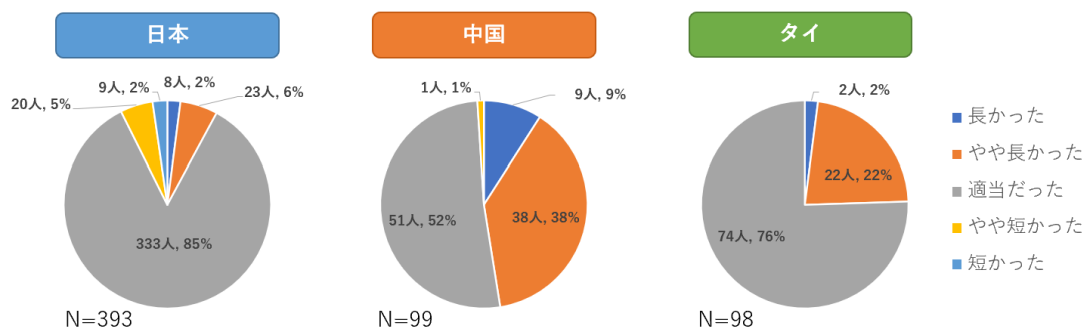


図 4-12 動画の時間（長さ）は適当でしたか？

12) 動画の内容はわかりやすかったですか？（図 4-13）

「動画の内容はわかりやすかったですか？」の質問について、日本では、「わかりやすかった」が 298 名（76%）、「ややわかりやすかった」が 78 名（20%）、「ややわかりにくかった」が 11 名（3%）、「わかりにくかった」が 6 名（1%）であった。

同様に、中国では、「わかりやすかった」が 85 名（86%）、「ややわかりやすかった」が 13 名（13%）、「ややわかりにくかった」が 1 名（1%）、「わかりにくかった」が 0 名（0%）、タイでは、「わかりやすかった」が 86 名（88%）、「ややわかりやすかった」が 11 名（11%）、「ややわかりにくかった」が 1 名（1%）、「わかりにくかった」が 0 名（0%）であった。

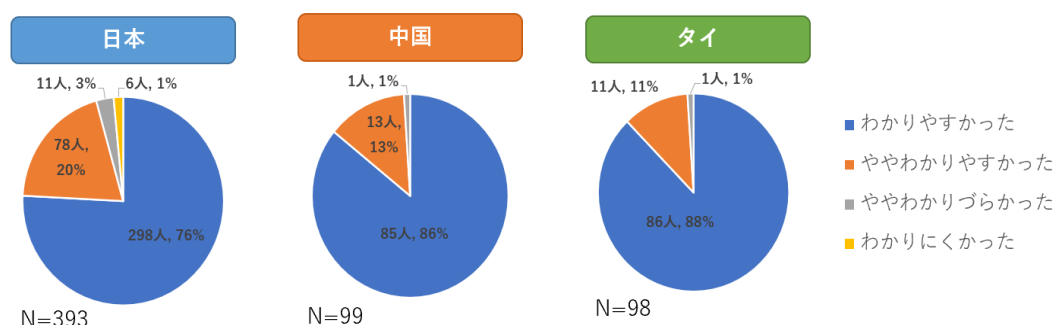


図 4-13 動画の内容はわかりやすかったですか？

13) 12) の回答理由をご記入ください

「9) の回答理由をご記入ください」の質問について、日本では、「絵と言葉がわかりやすい」、「イラストがあってイメージがしやすかったから」、「自覚症状の無さが強調されていて、危機感が煽られるものだったから」、「体形に関わらず誰にでも起こり得る病気だということが伝わりやすい」、「事例のひとつとして、親子の掛け合いにより判り易かった。」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「動画と親子の対話を通じて、睡眠時無呼吸症候群の症状、原因、治療方法を知り、睡眠時無呼吸症候群が交通事故を引き起こす可能性があることを強調している」、「睡眠時無呼吸症候群の危険性を完全に理解した」、「睡眠時無呼吸症候群は日常生活に非常に大きな影響を与えるため、注意が必要であり、私たち全員の健康な生活に関わる」、「病因を簡単に解説し、身近な例を用いて、専門知識がわからなくても理解できる。」などの回答が得られた。タイでは、「事故が起こる原因、及び問題の適切な解決を理解するのに役に立った」、「睡眠時無呼吸症候群について漫画や絵で伝えていたため、わかりやすく明確だった」、「質問がありそれに答えるというわかりやすいやり取りが続き、漫画のキャラクターを使用して動画が製作されており、楽しくて最後まで見たいと思った」、「病気の発生とその影響を明確に解説し、ガイドラインを簡潔に伝え、迅速な治療が可能だった」、「わかりやすく役に立ち、更に動画は

それほど長くなかった。」などの回答が得られた。

14) 動画の中で、印象に残った点があればご記入ください

「動画の中で、印象に残った点があればご記入ください」の質問について、日本では、「分かりやすい内容だったから」、「居眠り運転での事故も多いし、自分も気をつけないと思える」、「自覚がなくても SAS の可能性があるので周りに聞くこと」、「体型関係なく 4 人に 1 人になるという点」、「日本人は顎が小さいのでなりやすいと言う特徴。」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「日本人の特性や病気になりやすい原因についての説明で、4 人に 1 人がこの病気を持っているという」、「画面のデザインが印象的で、対話の内容が分かりやすい」、「動画は浮世絵だ。」、「睡眠時無呼吸症候群は、ドライバーが運転する時に危険をもたらすが、治療によって治すことができる。」、「睡眠時無呼吸症候群は肥満者だけの病気ではない。」などの回答が得られた。タイでは、「父と息子が睡眠時無呼吸症候群の症状、原因、影響について話し合う。症状としては、大きないびき、夜間の頻尿、起床後の頭痛、日中の眠気がある。」、「睡眠中に呼吸ができなかったのは、顔の形状等の多くの環境要因による可能性がある。」、「あごが小さい人は特に注意すべきであり、もし若い頃から体重が 10kg 以上増えた場合は更に注意すべきである。」、「漫画形式ではあったがわかりやすく、日本人のシンボルを使って例を示していたので、わかりやすかった。」などの回答が得られた。

15) 本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？

(図 4-14)

「本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？」の質問について、日本では、「そう思う」が 256 名 (65%)、「ややそう思う」が 110 名 (28%)、「あまりそう思わない」が 17 名 (5%)、「思わない」が 5 名 (1%)、無回答が 5 名 (1%) であった。

同様に、中国では、「そう思う」が 79 名 (80%)、「ややそう思う」が 20 名 (20%)、「あまりそう思わない」が 0 名 (0%)、「思わない」が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、「そう思う」が 87 名 (89%)、「ややそう思う」が 11 名 (11%)、「あまりそう思わない」が 0 名 (0%)、「思わない」が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

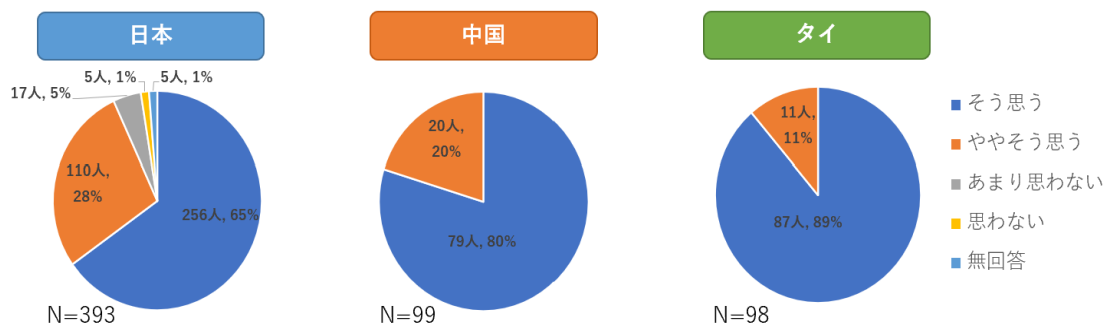


図 4-14 本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？

16) 15) の回答理由をご記入ください

「15) の回答理由をご記入ください」の質問について、日本では、「説明がわかりやすい」、「居眠り運転での事故も多いし、自分も気をつけないと思える」、「病気が事故の原因になることの啓発が大切」、「もっと短くして TV やネットの CM として流したら有効ではないかと思いました」、「病気が原因となる交通事故について短い時間で知ることができるため」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「睡眠時無呼吸症候群は交通事故のリスクを高めるので、病気による交通事故を予防することができる」、「病気が人に及ぼす悪影響を理解した」、「睡眠を重視し、睡眠時無呼吸症候群を減らすことで、ドライバーは運転中の眠気や居眠りを減らし、交通事故の可能性を減少することができる。」、「睡眠時無呼吸症候群にかかったら、運転中の眠気や居眠りが危険だ。」、「睡眠時無呼吸症候群の原因や症状を説明する。一方、どのように交通事故を引き起こすことについて説明し、啓発意義がある。」などの回答が得られた。タイでは、「事故を防ぐ。」、「(運転中の居眠りは) 失神だと思う人もいたかもしれないが、実際はこの病気が原因だった。」、「とても役に立ち、子供たちが学習するために (この動画が) 普及するのに適している。」、「長距離移動の前には、無呼吸を引き起こすような出来事を避ける。」、「自分自身の症状を知り、気づくことができた。」などの回答が得られた。

17) 動画で紹介された睡眠時無呼吸症候群の方がしばしば経験する運転中の状況についてお答えください。

「17-1) あなたに当てはまるもの全てに☑を付けてください。」の質問について、日本では、「いびきがうるさいと言われた」が 33.8%、「睡眠時に呼吸が止まる」が 22.1%、「十分に寝ているはずなのに日中に眠い」が 9.2%、「昼間、急に眠くなることがある」が 16.8%、「朝起きたら頭痛がする」が 14.2%、「集中力が保てない」が 24.9%、「夜中にトイレに行く回数が多い」が 10.9%、「該当なし」が 36.6%であった。

同様に、中国では、「いびきがうるさいと言われた」が 53.5%、「睡眠時に呼吸が止まる」が 25.3%、「十分に寝ているはずなのに日中に眠い」が 50.5%、「昼間、急に眠くなることある」が 53.5%、「朝起きたら頭痛がする」が 22.2%、「集中力が保てな

い」が 37.4%、「夜中にトイレに行く回数が多い」が 27.3%、「該当なし」が 12.1%、タイでは、「いびきがうるさいと言われた」が 50.0%、「睡眠時に呼吸が止まる」が 32.7%、「十分に寝ているはずなのに日中に眠い」が 61.2%、「昼間、急に眠くなることがある」が 40.8%、「朝起きたら頭痛がする」が 33.7%、「集中力が保てない」が 38.8%、「夜中にトイレに行く回数が多い」が 38.8%、「該当なし」が 13.3%であった（図 4-15）。

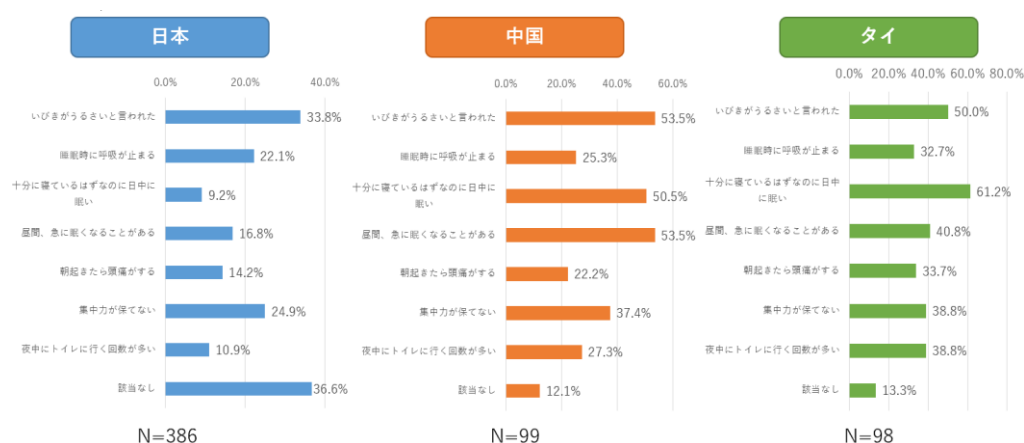


図 4-15 あなたに当てはまるもの全てに☑を付けてください。

「17-2) あなたのご家族や職場の身近な人等に当てはまる人はいますか？」の質問について、日本では「いる」が 148 名 (38%)、「いない」が 210 名 (53%)、無回答が 35 名 (9%) であった。同様に、中国では「いる」が 73 名 (74%)、「いない」が 26 名 (26%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは「いる」が 57 名 (58%)、「いない」が 41 名 (42%)、無回答が 0 名 (0%) であった（図 4-16）。

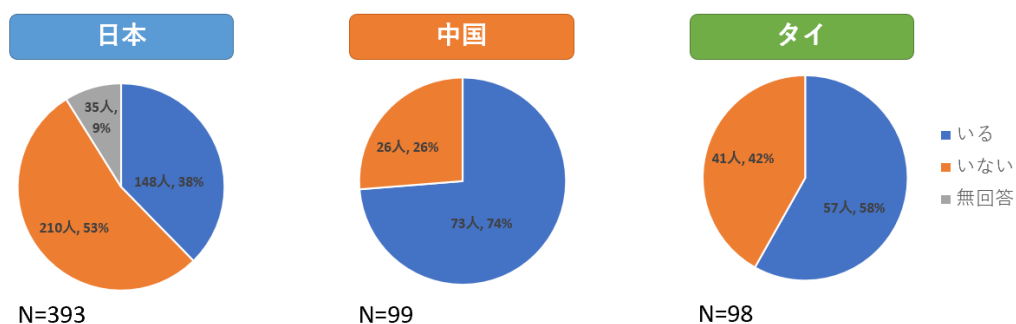


図 4-16 あなたのご家族や職場の身近な人等に当てはまる人はいますか？

18) この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が睡眠時無呼吸症候群の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧め

ようと思いましたか？（図 4-17）

「この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が睡眠時無呼吸症候群の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたか？」の質問について、日本では、「そう思う」が 193 名（49%）、「ややそう思う」が 142 名（36%）、「あまりそう思わない」が 41 名（10%）、「思わない」が 11 名（3%）、無回答が 6 名（2%）であった。

同様に、中国では、「そう思う」が 73 名（74%）、「ややそう思う」が 26 名（26%）、「あまりそう思わない」が 0 名（0%）、「思わない」が 0 名（0%）、無回答が 0 名（0%）、タイでは、「そう思う」が 71 名（72%）、「ややそう思う」が 24 名（25%）、「あまりそう思わない」が 2 名（2%）、「思わない」が 1 名（1%）、無回答が 0 名（0%）であった。

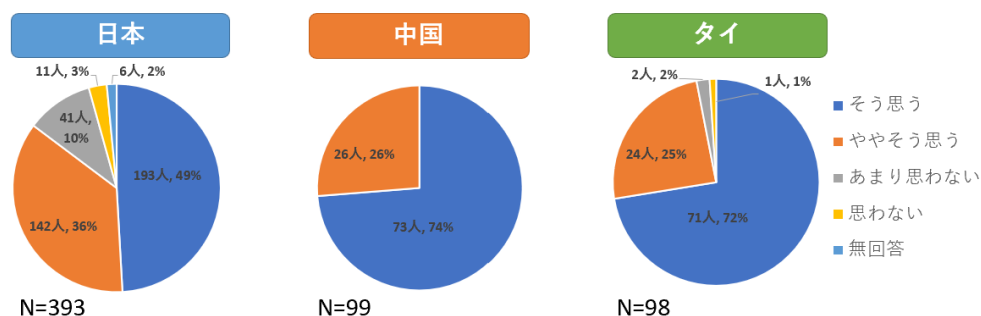


図 4-17 この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が睡眠時無呼吸症候群の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたか？

19) 18) の回答理由をご記入ください

「18) の回答理由をご記入ください」の質問について、日本では、「未然に事故を防ぐ為。」、「疑いがある場合、事故を起こしてからだと遅いので」、「安全運転を続けていく上で、早期発見・早期治療が大切であるため。」、「もっと簡単に受診できたり、初任適正診断や適性診断に取り入れたり義務化したほうが良いと思います。そうすれば、事故防止につながると思います。」、「安全のために」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「自分と相手の健康を考えて、検査を勧める」、「体の健康に影響する」、「問題を解決するためにすぐに病院に行く」、「早期発見、早期治療」、「睡眠時無呼吸症候群の症状があったら、病院に受診する。症状を減少し、睡眠を改善することで、健康にメリットがあり、運転安全を守る。」などの回答が得られた。タイでは、「医師による健康診断が最善の解決策であり、最も的確に問題を解決できる。」、「遅滞なく治療をすることができる。」、「家族の安全とより良い健康のため。」、「動画を見て、大きないびきをかいて寝ている、日中に眠気を感じる、朝起きたら頭痛がする、元氣

がない等、自分自身に思い当たる原因がないか自分自身の体を検査してみたい。」、「症状があることはわかっているけど大事とは捉えておらず、たとえ無呼吸症候群について既に知識があったとしても、低所得者や中所得者の人々には検査に行くお金すらなく、放置したままかもしれない。」などの回答が得られた。

20) 病気が原因となる交通事故を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？

「病気が原因となる交通事故を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？」の質問について、日本では、「定期的に病院へ行く」、「講習への参加を増やしたい等の、情報を集められる場を増やすこと」、「毎年、健康診断実施している運送業や、大手企業。まだまだ、未実施が多いと聞いております。完全助成金で小さい企業をバックアップしてほしい。」、「運行管理者を含む会社の責任者、該当者の家族などの協力で診断治療をうけるように説得する」、「トラックドライバーの平均年齢が上がっている事と、不健康な人が多いので、トラックドライバーの給与を上げる為に、国が最低賃金を決め、荷主側にも責任を重くし、トラックドライバー、の初任教育や適性診断時以外にも、入りを狭くし、給与を上げ、第2種のバスのように試験を設けていけば事故は減らせると思います。」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「積極的に専門病院で治療を受け、睡眠時無呼吸症候群の問題を和らげるか解決する。」、「交通事故を防止するために、関連メディアは科学普及の宣伝を強化し、自動車の人工知能システムを開発する。」、「一人で運転しない。運転ができる同僚や家族と一緒に運転したほうがいい。」、「歩行者の移動ルートを計画する。」、「ドライバーに毎年定期的な健康診断を受けさせる。」などの回答が得られた。タイでは、「専門医による診断と治療を受けるために、医師の診察を受けるべきだ。」、「運転の際に同乗者が必要である。」、「前述の病気に対する無償の検査と治療を提供し、人々が検査を受けられるようにする。なぜなら、もし費用がかかるとしたら、その日暮らしのドライバー職の人は、この病気に罹患している危険性があるかを知るために検査を受けるお金を誰が持っているだろうか。」、「50歳以上のドライバーは人間ドックを受け、検査費用の半額を政府が負担する。」、「できる限り多くの広報活動を行うべきである。」などの回答が得られた。

21) この取り組みに関するご意見やご感想を是非ともお聞かせください。

「この取り組みに関するご意見やご感想を是非ともお聞かせください。」の質問について、日本では、「わかりやすかった」、「ネット、テレビでのCM等で広く、知ってもらいたい」、「他の健康起因の交通事故対策の動画も作成してほしい。」、「車を運転する以前に自分の健康状態を知る必要があることを学びました」、「大変良い動画だと思います。」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「自分自身や周囲の人が無呼吸症候群の症状を持っていないか積極的に観察し、治療を受けること」、「睡眠時無呼吸症候群の予防は大事」、「このよう

な動画をたくさん見て、早期発見・早期治療をする必要がある。」、「この動画は楽しく、これを見て知識も身につける。」、「とても生き生きとしていて面白い。」などの回答が得られた。タイでは、「楽しく、自分自身と周りの人を守るのに役に立った。事故を減らす。」、「動画内の解説が好きだと感じた。睡眠時無呼吸症候群の原因、症状、事故を防ぐ方法についてとてもよく理解できた。」、「役に立ち、ちょっと知っていたことから知識を得られた。漫画であり、あらゆる年齢層を惹きつける。」、「健康を維持し、健康診断への受診意欲を高めるため、日々をどのように過ごすかについて更に知識を得た。」、「悪くないメディアだった。タイ健康促進財団に送ればいい。」などの回答が得られた。

3-3. 「緑内障運転絵巻」の結果

1) 年齢 (図 4-18)

年齢について、日本では、20代が13名(2%)、30代が82名(10%)、40代が306名(37%)、50代が414名(51%)であった。

中国、タイは「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」の結果と同様であった。

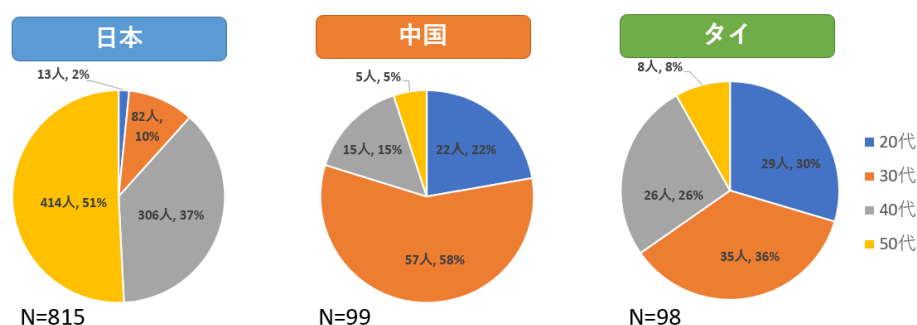


図 4-18 年齢

2) 性別 (図 4-19)

性別について、日本では、男性が726名(89%)、女性が72名(9%)、その他が1名(0.1%)、無回答が16名(2%)であった。

中国、タイは「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」の結果と同様であった。

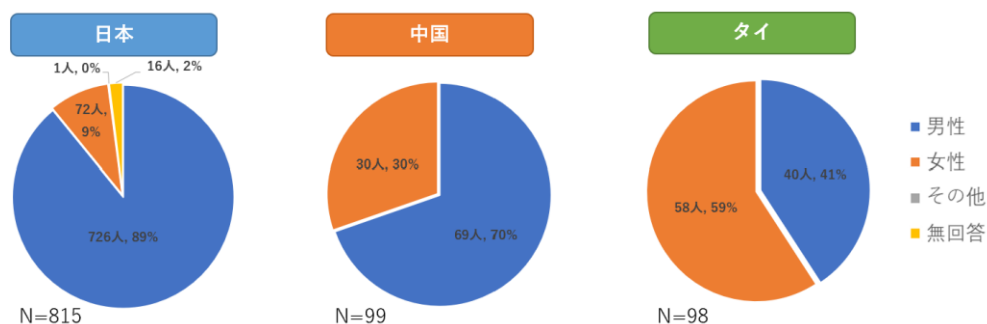


図 4-19 性別

3) 現在の居住地（都道府県）（図 4-20）

現在の居住地（都道府県）について、日本では、北海道が 90.7%と最も多く、次いで、宮城県が 1.2%、東京都が 0.9%の順で多かった。

中国、タイは「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」の結果と同様であった。

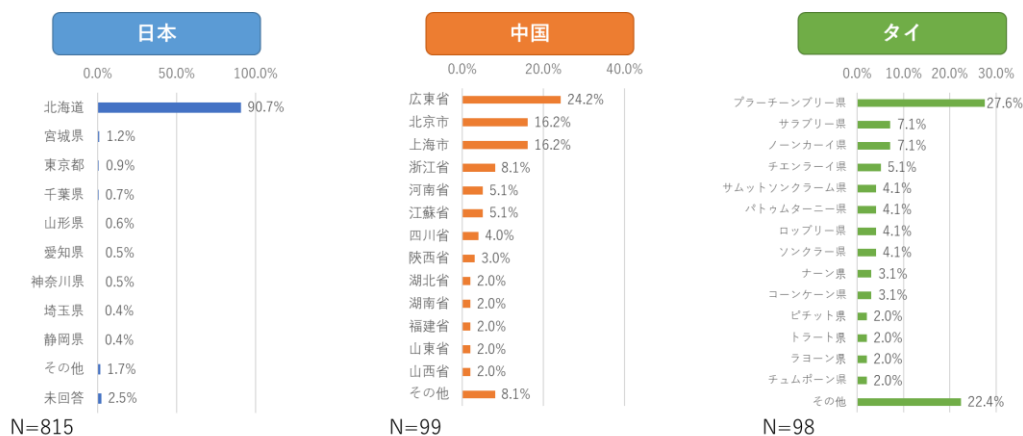


図 4-20 現在の居住地（都道府県）

4) 運転頻度について該当するものに○をつけてください（図 4-21）

「運転頻度について該当するものに○をつけてください」の質問について、日本では、「ほぼ毎日」が 728 名 (89%)、「週に 1 回程度以上」が 65 名 (8%)、「月に 1 回程度以上」が 12 名 (2%)、「年に 1 回程度以上」が 2 名 (0.2%)、「年に 1 回未満」が 0 名 (0%)、「自分では車を運転しない」が 7 名 (1%)、無回答が 1 名 (0.1%) であった。

中国、タイは「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」の結果と同様であった。

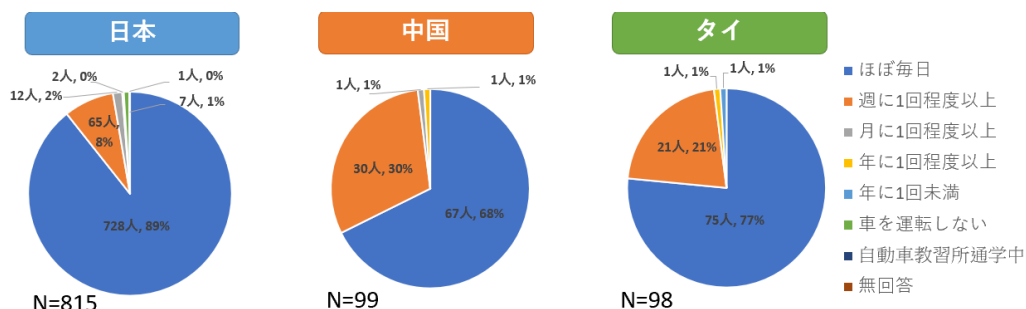


図 4-21 運転頻度

5) あなたは、緑内障と診断されたことはありますか？ (図 4-22)

「あなたは、緑内障と診断されたことはありますか」の質問について、日本では、「はい」が 14 名 (2%)、「疑いがあると言われた」が 25 名 (3%)、「いいえ」が 775 名 (95%)、無回答が 1 名 (0.1%) であった。

同様に、中国では、「はい」が 7 名 (7%)、「疑いがあると言われた」が 10 名 (10%)、「いいえ」が 81 名 (82%)、無回答が 1 名 (1%)、タイでは、「はい」が 9 名 (9%)、「疑いがあると言われた」が 9 名 (9%)、「いいえ」が 78 名 (80%)、無回答が 2 名 (2%) であった。

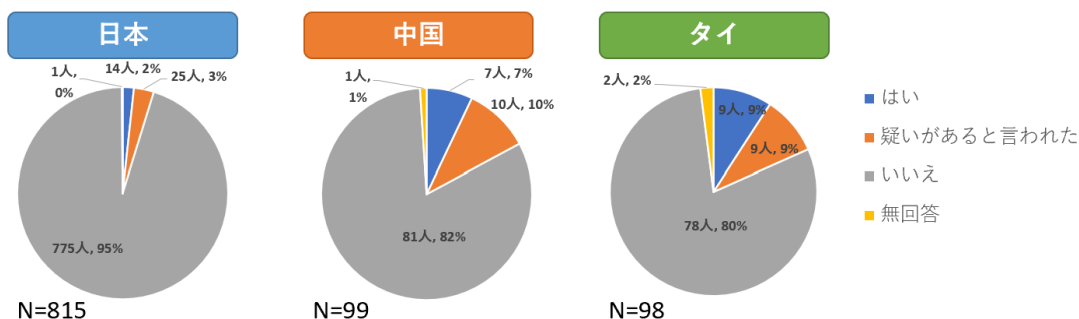


図 4-22 あなたは、緑内障と診断されたことはありますか？

6) あなたは、緑内障という病気を知っていますか？ (図 4-23)

「あなたは、緑内障という病気を知っていますか？」の質問について、日本では、「知っている」が 235 名 (29%)、「少し知っている」が 316 名 (39%)、「あまり知らない」が 235 名 (29%)、「知らない」が 28 名 (3%)、無回答が 1 名 (0.1%) であった。

同様に、中国では、「知っている」が 40 名 (41%)、「少し知っている」が 40 名 (40%)、「あまり知らない」が 16 名 (16%)、「知らない」が 3 名 (3%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、「知っている」が 22 名 (23%)、「少し知っている」が 50 名

(51%)、「あまり知らない」が 20 名 (20%)、「知らない」が 6 名 (6%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

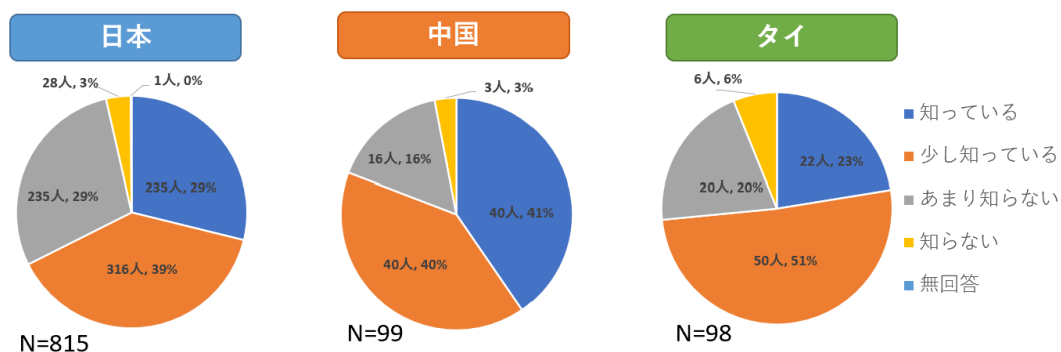


図 4-23 あなたは、緑内障という病気を知っていますか？

7) 動画を見る前、緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？ (図 4-24)

「動画を見る前、緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？」の質問について、日本では、「知っていた」が 145 名(18%)、「少し知っていた」が 188 名 (23%)、「あまり知らなかった」が 353 名(43%)、「知らなかった」が 126 名 (16%)、無回答が 3 名 (0.4%) であった。

同様に、中国では、「知っていた」が 34 名(34%)、「少し知っていた」が 35 名 (36%)、「あまり知らなかった」が 23 名(23%)、「知らなかった」が 7 名 (7%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、「知っていた」が 30 名(31%)、「少し知っていた」が 32 名 (33%)、「あまり知らなかった」が 18 名(18%)、「知らなかった」が 18 名 (18%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

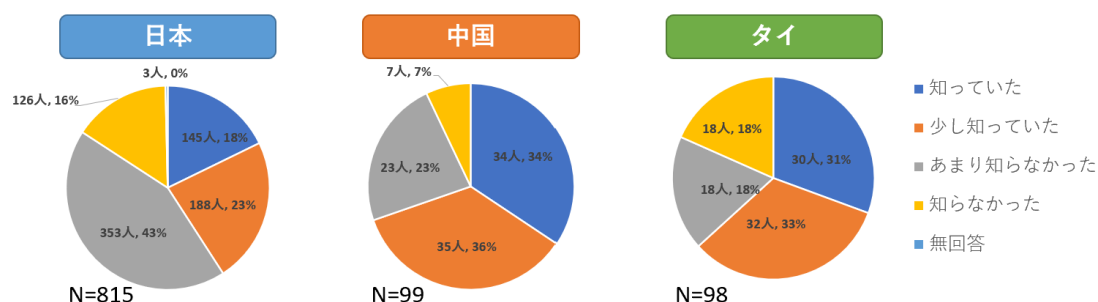


図 4-24 動画を見る前、緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？

8) 動画を見た後、緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？ (図 4-25)

「動画を見た後、緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？」の質問について、日本では、「深まった」が 523 名 (64%)、「やや深まった」が 280 名 (35%)、

「あまり深まらなかった」が 10 名 (1%)、「深まらなかった」が 0 名 (0%)、無回答が 2 名 (0.2%) であった。

同様に、中国では、「深まった」が 72 名 (73%)、「やや深まった」が 23 名 (23%)、「あまり深まらなかった」が 2 名 (2%)、「深まらなかった」が 2 名 (2%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、「深まった」が 62 名 (63%)、「やや深まった」が 32 名 (33%)、「あまり深まらなかった」が 3 名 (3%)、「深まらなかった」が 1 名 (1%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

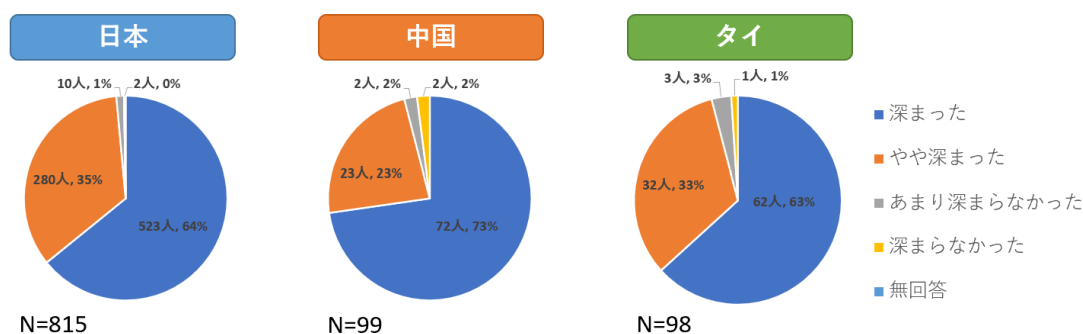


図 4-25 動画を見た後、緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？

9) この動画はあなたにとって役に立つものでしたか？ (図 4-26)

「この動画はあなたにとって役に立つものでしたか？」の質問について、日本では、「役に立った」が 543 人 (67%)、「やや役に立った」が 258 名 (32%)、「あまり役に立たなかった」が 9 名 (1%)、「役に立たなかった」が 1 名 (0.1%)、無回答が 4 名 (0.5%) であった。

同様に、中国では、「役に立った」が 70 人 (71%)、「やや役に立った」が 27 名 (27%)、「あまり役に立たなかった」が 2 名 (2%)、「役に立たなかった」が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、「役に立った」が 93 人 (95%)、「やや役に立った」が 5 名 (5%)、「あまり役に立たなかった」が 0 名 (0%)、「役に立たなかった」が 0 名 (0%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

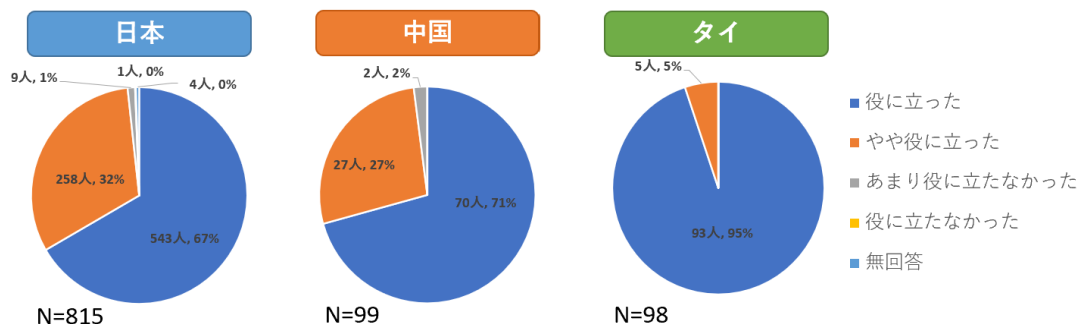


図 4-26 この動画はあなたにとって役に立つものでしたか？

10) 本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください (図 4-27)

「本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください」の質問について、日本では、10 点が 32.5%と最も高く、次いで、8 点が 26.5%、7 点が 17.4%の順で高かった。また、平均点は 8.1 点であった。

同様に、中国では、10 点が 40.4%と最も高く、次いで、9 点が 28.3%、8 点が 14.1%の順で高く、平均点は 8.5 点であった。タイでは、10 点が 63.3%と最も高く、次いで、9 点が 13.3%、8 点が 7.1%の順で高く、平均点は 8.8 点であった。

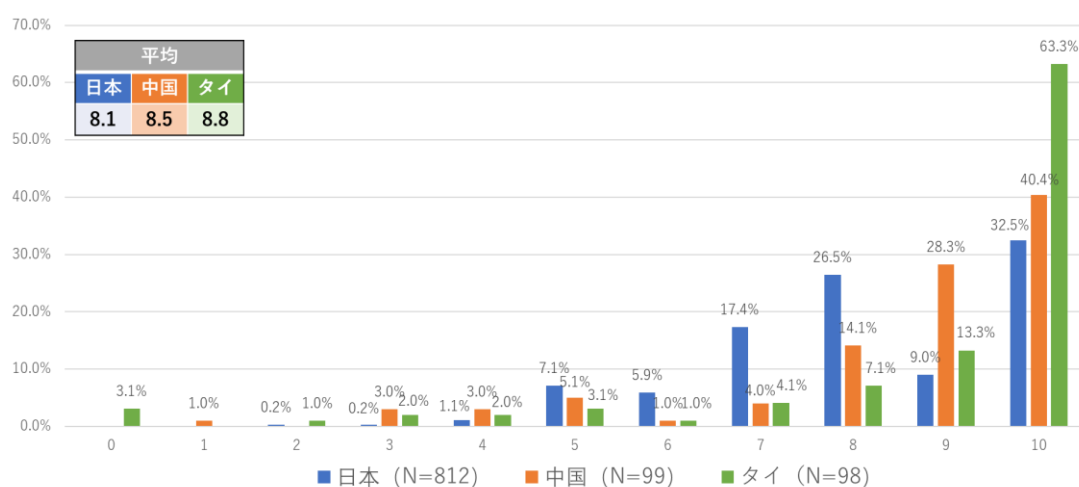


図 4-27 本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください

11) 動画の時間（長さ）は適当でしたか？ (図 4-28)

「動画の時間（長さ）は適当でしたか？」の質問について、日本では、「長かった」が 6 名（1%）、「やや長かった」が 15 名（2%）、「適当だった」が 648 名（79%）、「やや短かった」が 123 名（15%）、「短かった」が 17 名（2%）、無回答が 6 名（1%）であった。

同様に、中国では、「長かった」が 7 名（7%）、「やや長かった」が 34 名（34%）、「適当だった」が 58 名（59%）、「やや短かった」が 0 名（0%）、「短かった」が 0 名（0%）、無回答が 0 名（0%）、タイでは、「長かった」が 4 名（4%）、「やや長かった」が 23 名（24%）、「適当だった」が 69 名（70%）、「やや短かった」が 2 名（2%）、「短かった」が 0 名（0%）、無回答が 0 名（0%）であった。

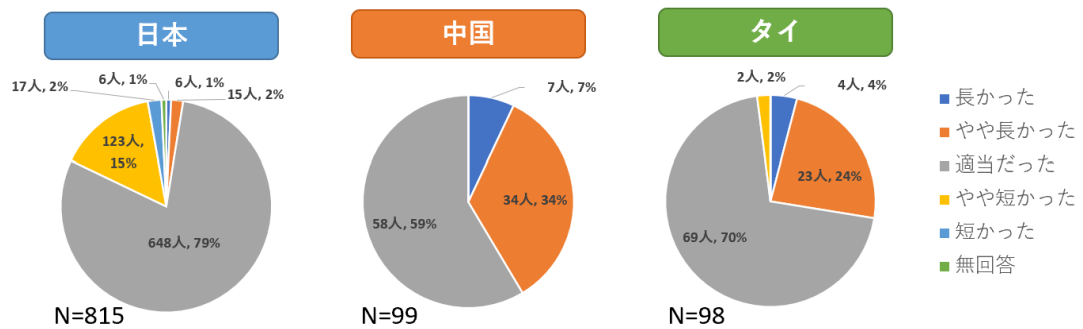


図 4-28 動画の時間（長さ）は適当でしたか？

12) 動画の内容はわかりやすかったですか？（図 4-29）

「動画の内容はわかりやすかったですか？」の質問について、日本では、「わかりやすかった」が 691 名（85%）、「ややわかりやすかった」が 116 名（14%）、「ややわかりにくかった」が 6 名（1%）、「わかりにくかった」が 0 名（0%）、無回答が 2 名（0.2%）であった。

同様に、中国では、「わかりやすかった」が 81 名（82%）、「ややわかりやすかった」が 16 名（16%）、「ややわかりにくかった」が 2 名（2%）、「わかりにくかった」が 0 名（0%）、無回答が 0 名（0%）、タイでは、「わかりやすかった」が 84 名（86%）、「ややわかりやすかった」が 14 名（14%）、「ややわかりにくかった」が 0 名（0%）、「わかりにくかった」が 0 名（0%）、無回答が 0 名（0%）であった。

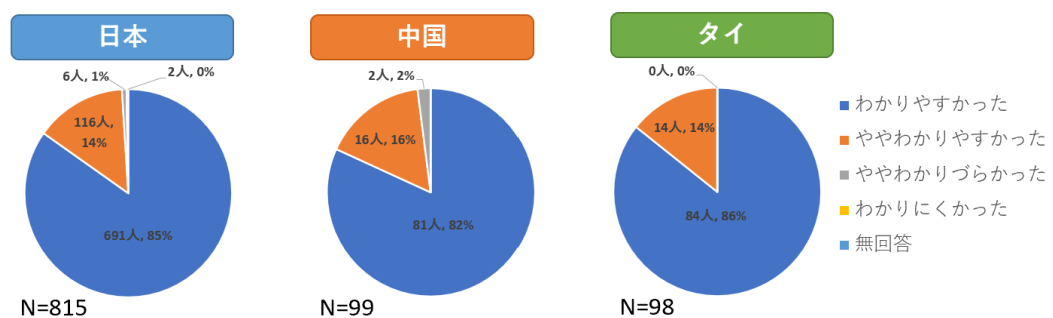


図 4-29 動画の内容はわかりやすかったですか？

13) 12) の回答理由をご記入ください

「9) の回答理由をご記入ください」の質問について、日本では、「アニメーションの作りが凝っていて面白い。」、「初心者が入り口として適当。」、「緑内障になったときの見え方がわかりやすく紹介されていた。」、「絵を使っているのだからわかりやすい。」、「緑内障と事故について明確かつ簡潔に説明されている。」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「内容は面白くて理解しやすい。」、「文字と画像両方があって、

理解しやすい。」、「緑内障が視力と交通安全に与える影響を生き生きとして説明した。」、「動画の内容はわかりやすく、画面を通じて緑内障の症状や有病率について説明した。」、「動画が非常に複雑で、理解しにくい。」などの回答が得られた。タイでは、「病気の症状をわかりやすい言葉で解説していた。」、「漫画のコンテンツとキャラクターの絵を使用したプレゼンテーション。症状や治療ガイドラインについてわかりやすく詳しくまとめている。」、「図解があり解説が明確だった。」、「ストーリーや絵を使った解説は、伝えたいことがよりわかりやすかった。」、「緑内障がどのような症状を引き起こし、事故を引き起こす可能性がある」と知ることができた。」などの回答が得られた。

14) 動画の中で、印象に残った点があればご記入ください

「動画の中で、印象に残った点があればご記入ください」の質問について、日本では、「40代でも緑内障の人は20人に1人の割合でいること。」、「周りの部分で見えない部分が存在する。」、「運転者に自覚がないこと。」、「アニメーションは現代版で良かったのではないか。日本を意識する必要もなし。」、「歌舞伎を題材にしていること。」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「緑内障を患っていると、運転中に信号や標識を見落としやすく、交通事故を引き起こしやすい。」、「緑内障は運転中に交通事故を引き起こす可能性が高く、早期の緑内障は治療ができる。」、「緑内障では、物体の一部がぼやけたり見えなくなったりすることがあり、40歳以上の人々の有病率が高い。」、「緑内障による運転は事故を引き起こす可能性がある。」、「和風スタイルだ。」などの回答が得られた。タイでは、「緑内障の症状の特徴、40代及び70代以上の発症率、治療ガイドライン。」、「明確な音声解説付きの視覚教材。」、「運転していて信号や歩行者が見えない場合、緑内障かもしれない。」、「緑内障は運転に危険を伴う。」、「もし初期段階の緑内障である場合は、医師の診察を受ける。そうすれば医師は治療のための点眼薬を処方する。」などの回答が得られた。

15) 本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？
(図 4-30)

「本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？」の質問について、日本では、「そう思う」が485名(60%)、「ややそう思う」が276名(34%)、「あまりそう思わない」が18名(2%)、「思わない」が1名(0.1%)、無回答が35名(4%)であった。

同様に、中国では、「そう思う」が79名(80%)、「ややそう思う」が18名(18%)、「あまりそう思わない」が2名(2%)、「思わない」が0名(0%)、無回答が0名(0%)、タイでは、「そう思う」が89名(91%)、「ややそう思う」が9名(9%)、「あまりそう思わない」が0名(0%)、「思わない」が0名(0%)、無回答が0名(0%)であった。

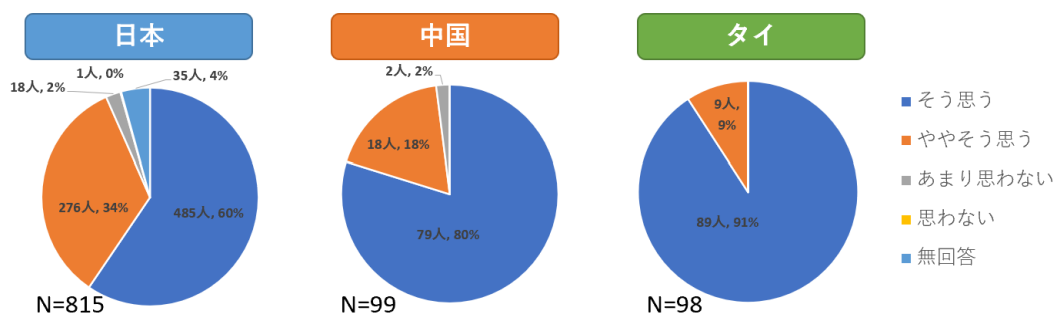


図 4-30 本動画は病気が原因となる交通事故防止の取り組みとして有用だと思いますか？

16) 15) の回答理由をご記入ください

「15) の回答理由をご記入ください」の質問について、日本では、「事故防止には重要であるから。」、「この動画を見て、緑内障と交通事故の関係を知り、もっと詳しく知りたくなったので、15分のドラマ風のアニメも見ることになった。」、「病気を理解することで、対策が出来るから。」、「啓発活動には有効。」、「病気の症状が理解しやすく自分も受診してみたいと思えたため。」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「自分が緑内障かどうかを判断できるようになった。」、「自分が緑内障であれば、早期発見・早期治療が可能となり、運転時の注意が増す。」、「自分の健康に役立つ。」、「緑内障の危害について新たな理解を得た。」、「視力は運転に非常に重要で、緑内障にかかった場合、信号や歩行者が見えない可能性が高いので、交通事故を引き起こす可能性が大きい。この動画は緑内障の症状と危険性を理解させてくれ、非常に役に立つ。」などの回答が得られた。タイでは、「もし初期症状を知っていれば迅速に治療を受けることができるため、交通問題が軽減される。」、「緑内障の症状を知るのにとっても有用である。」、「緑内障の原因や症状がわかりやすく詳しく解説されており、事故の予防にとっても有用である。」、「なぜなら緑内障の人が車や道路を利用するのを防ぐことができ、症状を改善することができるから。」、「早く知ることによって事故を防ぐことができる。」などの回答が得られた。

17) 動画で紹介された緑内障の方がしばしば経験する運転中の状況についてお答えください。

「17-1)あなたに当てはまるもの全てに☑を付けてください。」の質問について、日本では、「突然、車や人が目の前に飛び出してきたことがある」が 11.5%、「信号機や標識がわかりづらかったことがある」が 10.1%、「家族や同乗者から危ない運転と指摘されたことがある」が 10.4%、「周囲の車の流れに乗れないことがある」が 3.7%、「該当なし」が 70.1%であった。

同様に、中国では、「突然、車や人が目の前に飛び出してきたことがある」が 36.4%、「信号機や標識がわかりづらかったことがある」が 33.3%、「家族や同乗者から危ない運転と指摘されたことがある」が 29.3%、「周囲の車の流れに乗れないことがある」

が 19.2%、「該当なし」が 41.4%、タイでは、「突然、車や人が目の前に飛び出してきたことがある」が 44.9%、「信号機や標識がわかりづらかったことがある」が 33.7%、「家族や同乗者から危ない運転と指摘されたことがある」が 35.7%、「周囲の車の流れに乗れないことがある」が 28.6%、「該当なし」が 39.8%であった（図 4-31）。

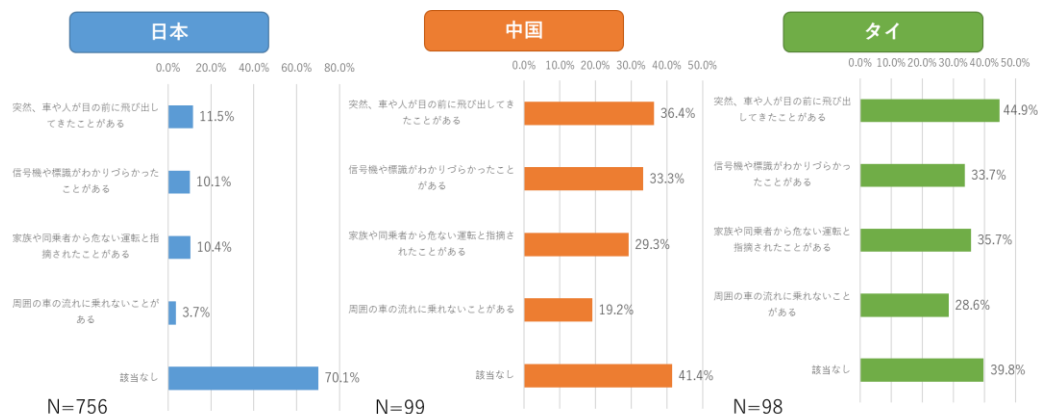


図 4-31 あなたに当てはまるもの全てに☑を付けてください。

「17-2) あなたのご家族や職場の身近な人等に当てはまる人はいますか？」の質問について、日本では「いる」が 87 名 (11%)、「いない」が 632 名 (77%)、無回答が 96 名 (12%) であった。同様に、中国では「いる」が 47 名 (47%)、「いない」が 52 名 (53%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは「いる」が 30 名 (31%)、「いない」が 68 名 (69%)、無回答が 0 名 (0%) であった（図 4-32）。

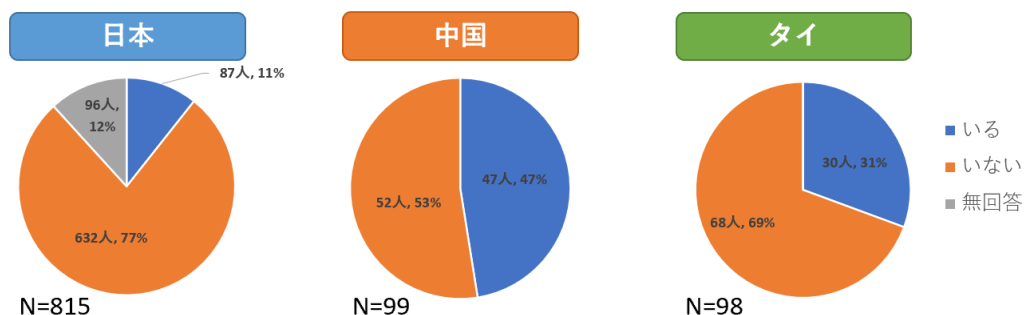


図 4-32 あなたのご家族や職場の身近な人等に当てはまる人はいますか？

18) この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が緑内障の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたか？（図 4-33）

「この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が緑内障の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いま

したか？」の質問について、日本では、「そう思う」が 567 名 (70%)、「ややそう思う」が 199 名 (24%)、「あまりそう思わない」が 12 名 (1%)、「思わない」が 6 名 (1%)、無回答が 31 名 (4%) であった。

同様に、中国では、「そう思う」が 78 名 (79%)、「ややそう思う」が 17 名 (17%)、「あまりそう思わない」が 2 名 (2%)、「思わない」が 2 名 (2%)、無回答が 0 名 (0%)、タイでは、「そう思う」が 79 名 (81%)、「ややそう思う」が 13 名 (13%)、「あまりそう思わない」が 3 名 (3%)、「思わない」が 3 名 (3%)、無回答が 0 名 (0%) であった。

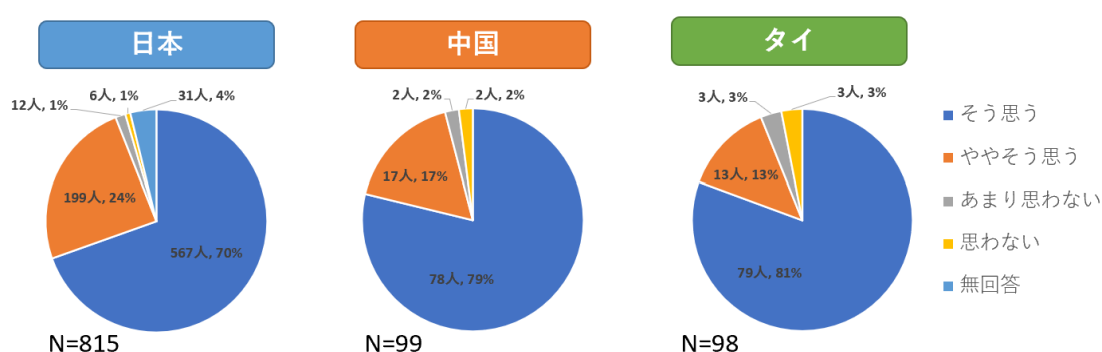


図 4-33 この動画を見て、あなたや、あなたのご家族や職場の身近な人等が緑内障の疑いがある場合、あなた自身が医療機関に受診もしくはその方に受診を勧めようと思いましたか？

19) 18) の回答理由をご記入ください

「18) の回答理由をご記入ください」の質問について、日本では、「治療で進行を防げることができるため。」、「事故のリスクの軽減。」、「早期の治療が進行を遅らせる為に大切だから。」、「事故防止に役立つから。」、「安全のために」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「リスクが潜在しているかもしれないので検査を受ける」、「問題があるかもしれないので安心のために病院で検査する。」、「緑内障患者は運転するのは非常に危険であり、病気があれば早急に治療を受けるべきである。」、「早期発見、早期治療」、「家族や友人の安全のために、早めに受診したほうがいい。」などの回答が得られた。タイでは、「なぜなら自分自身にとっても周りの人にとっても安全だから。」、「今後起こるであろう事故を防ぐため、医師による検査と診断が必要である。」、「緑内障は事故を引き起こす可能性がある。」、「症状があると感じたら、急いで検査を受け、アドバイスを受ける。」、「この病気は治療して治すことができ、危険が起こる前に迅速に治療する必要がある。」などの回答が得られた。

20) 病気が原因となる交通事故を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？

「病気が原因となる交通事故を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか？」の質問について、日本では、「広告媒体を用いた啓発活動。」「免許更新の時に視力検査と同時に視野検査を行う。」「健康診断の内容に追加する。健康指導。」「年 1 回の眼科検診で、自分の目の状態を理解させる事。また、受診に補助金があれば受診率も上がると考えます。」「会社の責任者、家族の協力が必要だと思う。」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「人々が健康診断を受ける必要がある。」「このような啓発動画がもっと必要で、人々に疾患の症状と危険性を理解させ、症状を自覚し、疾患による交通事故を減少させる。」「運転免許証を取る前に、関連する健診項目を受ける。」「啓発活動を増加し、交通安全知識を普及させる。」「さまざまな病気や交通事故の危険性について人々に知らせるため、このような動画をもっと宣伝したほうがいい。」などの回答が得られた。タイでは、「行動についてアドバイスを受けるため、医療機関又は病院で治療を受ける。」「患者はできるだけ早く治療を受け、治療中は車の使用を一時的に中止するようアドバイスする。」「毎年の定期健康診断に検査と治療を追加する。」「十分注意して健康に気をつける。」「車の運転を禁じる。運転免許証の所有を禁じる。」などの回答が得られた。

21) この取り組みに関するご意見やご感想を是非ともお聞かせください。

「この取り組みに関するご意見やご感想を是非ともお聞かせください。」の質問について、日本では、「広く PR をして下さい。」「この動画はこのことを知るきっかけとしてちょうど良い。動画の短さが良い。さらに短くすれば若者が多用している Tiktok などにも出せるのではないかと思う。若者が知れば親世代にも伝わることもある。」「これも取り組みの一つとして良いと思います。今後も、さらに幅広い年齢層のドライバーや経営者に情報が届くように、いろいろな方法でチャレンジしていただけると嬉しいです。」「とても有益な取り組みだと思います。」「広報を継続。」などの回答が得られた。

同様に、中国では、「運転中に何かが見えにくい場合は注意が必要であり、すぐに医療機関で検査を受けるべきである。」「このように運転の安全を促す啓発活動をもっと多くするべき。」「動画は長すぎ、短いほうがいい。」「動画が役に立つ。交通事故を避けるため、早期発見・早期治療する必要がある。」「この動画は広く普及させる必要があると考え、内容が子供やお年寄りにも理解しやすいものだ。」などの回答が得られた。タイでは、「目の状態をチェックするよう国民に注意喚起するのに役に立った。目は本当にとっても重要であり、全てが視認に影響する。」「注意喚起のストーリー、ストーリー進行、図解がわかりやすく、知識が得られるのが良いと感じた。」「わかりやすく、緑内障の危険性を知るのに役に立った。」「とても良かった。緑内障はどのような症状があるか、事故を起こす危険性があるかもしれないことを知ることができた。」「他人に迷惑をかける前に自分自身をケアすべきであると感じた。」などの回答

が得られた。

4. まとめ

2023 年度は、日本、中国、タイで「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」と「緑内障運転絵巻」の2つの啓発動画の視聴後アンケートを実施した。その結果、日本では、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」は 393 名、「緑内障運転絵巻」は 815 名、中国では両動画に 99 名、同様にタイでは 98 名から回答を得た。

アンケートの結果、睡眠時無呼吸症候群と診断を受けたことがある者の割合は、日本で 5%、中国で 18%、タイで 9%であった。同様に、緑内障と診断を受けたことがある者の割合には、日本では 2%、中国で 7%、タイで 9%であった。この様に、睡眠時無呼吸症候群や緑内障の診断を受けたことがある者の割合は、日本よりも中国、タイで高かった。しかしながら、先行研究では睡眠時無呼吸症候群の有病率は、日本では 14.8%、中国で 8.8%、タイで 14.7%、緑内障の有病率は日本で 4.0%、中国で 3.1%、タイで 3.8%と報告されており、先行研究との乖離が認められた。また、我々が 2020 年ならびに 2022 年に実施した先行調査において、中国やタイでは、睡眠時無呼吸症候群や緑内障が交通事故の原因となることについて十分に認識されていないことが予想されたが、本調査では、中国やタイにおいても、睡眠時無呼吸症候群や緑内障といった「病気を知っている者の割合」や「病気が交通事故の原因になることを知っている者の割合」は比較的高かった。これらの不一致については、本調査ではアンケートの実施方法が各国で異なっていたことや、対象者の性別や年齢構成が均一でないことが影響していると考えられた。また、タイ、中国の対象者における有病率や病気の認知度については先行研究との乖離があることから、標本の代表性に留意が必要であると考えられた。

睡眠時無呼吸症候群や緑内障に関する症状や経験について、睡眠時無呼吸症候群、緑内障ともに、本人または身近な人に当てはまる人がいる割合は、日本よりも中国、タイで高かった。このことから、標本の代表性に留意が必要であるが、中国、タイでは日本以上に潜在的に睡眠時無呼吸や緑内障の患者が存在する可能性が考えられた。

啓発動画の評価や効果について、動画を視聴したことにより、睡眠時無呼吸症候群や緑内障と交通事故に関する理解が深まった者や、動画が役に立ったと感じた者、動画が分かりやすかったと感じた者、動画の長さが適切だと感じた者また啓発動画は健康起因事故防止の取組として有用だと思ふものの割合は、各啓発動画ともに日本と同様に、中国やタイにおいても高く、高評価が得られた。このことから、本啓発動画は国内外において健康起因事故防止の取組として有用であると考えられ、今後さらに本動画を用いた健康起因事故防止のための普及啓発の推進が望まれる。

V. 国内での紹介事例

本プロジェクトでは、2020 年度の社会貢献プロジェクトで作成した、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」、「緑内障運転絵巻」、「緑内障と交通事故」の 4 つの啓発動画を用いて健康起因事故防止のための普及啓発活動も展開してきた。

各動画は YouTube で公開されており、2024 年 3 月 18 日時点での視聴回数は、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」が 6,374 回、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」が 3,347 回、「緑内障運転絵巻」が 4,770 回、「緑内障と交通事故」が 43,441 回に達した。

また、本プロジェクトでは、運輸関連企業・団体の広報や研修などでも活用いただき、普及啓発に多大なるご協力を賜った。本プロジェクトでご協力いただいた企業・団体を以下の表 5-1 に示す。また、本プロジェクトでは警察庁交通局のご協力のもと、全国 51 カ所の都道府県警察へ DVD を配布し、警察署や運転免許試験場などで活用していただいた。

その他、プロジェクトメンバーが登壇したシンポジウムや講演会などで積極的な普及啓発活動を行ってきた。

表 5-1

年度	企業・団体	活用方法など
2021	国際自動車株式会社	・ 社内研修などへの活用 ・ 視聴後アンケートへの協力
	黒井産業株式会社	・ 社内研修などへの活用 ・ 視聴後アンケートへの協力
	損保ジャパン株式会社	・ 社内研修などへの活用 ・ 視聴後アンケートへの協力
	SOMPO リスクマネジメント株式会社	・ 社内研修などへの活用 ・ 視聴後アンケートへの協力
	ホンダ開発株式会社	・ 社内研修などへの活用 ・ 視聴後アンケートへの協力
	一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)	・ 社内研修などへの活用 ・ 視聴後アンケートへの協力
	東京海上日動火災保険株式会社	・ 社内研修などへの活用 ・ 視聴後アンケートへの協力 ・ 「安全運転ほっと NEWS」に掲載
	一般社団法人 全国レンタカー協会	・ 社内研修などへの活用 ・ 視聴後アンケートへの協力 ・ ニュースレター『ARA インフォメーション』に掲載

2022	東京都医師会	・『実地医家における高齢免許保有者への指導ガイド』 https://www.tokyo.med.or.jp/elderlydriver-2023
	関東交通共済協同組合	・『健康起因事故防止支援リンク集』 https://www.kankokyo.or.jp/anzen/action.htm
2023	神姫バス株式会社	・社内研修などへの活用
	自動車事故対策機構 (NASVA)	・社内研修などへの活用
	トヨタモビリティ基金	・社内研修などへの活用 ・『緑内障によって信号機が見えないこともある？視野障害のお話 高齢ドライバードットコム』 https://koureidriver.com/interview-anopsia/?padid=from_top_mv_interview-anopsia
	小田急バス株式会社	・社内研修などへの活用
	関東交通共済協同組合	・社内研修などへの活用 ・『運転寿命を延ばすための 視野障害対策』に掲載 https://www.kankokyo.or.jp/anzen/files/siya.pdf
	甘日市交通	・社内研修などへの活用
	千葉シティバス	・社内研修などへの活用

VI. 本プロジェクトの総括

本プロジェクトでは、アジア地域における健康起因事故に関する意識の実態を明らかにするとともに、健康起因事故防止の意識を醸成するための普及啓発事業を行うことを目的とした。具体的には、2022 年度の社会貢献プロジェクトで作成した「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」と「緑内障運転絵巻」、そして「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」と「緑内障と交通事故」を用いた動画視聴後のアンケート調査や普及啓発活動を展開した。

2021 年度は、日本の運輸関連企業・団体を対象に、「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」、「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」、「緑内障運転絵巻」、「緑内障と交通事故」の 4 つの啓発動画の視聴後アンケートを実施した。その結果、すべての啓発動画の評価は高く、本動画の活用は健康起因事故防止の取組として有用である可能性が考えられた。また、一般的に睡眠時無呼吸症候群に比べて緑内障の方が交通事故の原因となることが認識されていない傾向がある可能性が考えられた。さらに、各啓発動画の英語版、中国語版、タイ語版を作成し、YouTube で公開した。

2022 年度は、アジア地域での普及啓発をするため、タイでパイロット調査を行った。タイのチュラロンコン大学で開催した国際シンポジウムの参加者を対象に動画視聴後のアンケート調査を実施した結果、睡眠時無呼吸症候群に比べて、緑内障の認知度が低く、日本での調査結果同様、これらの疾患が交通事故の原因となることを知っている者の割合が低かった。また、日本の調査結果同様、啓発動画は好評であり、動画を視聴したことで、睡眠時無呼吸症候群や緑内障による健康起因事故への理解が深まった回答した者の割合が高かったことから、本啓発動画はタイにおいても健康起因事故防止の対策の一つとして有用である可能性が示された。一方で、タイの運輸業における健康管理の実態を把握するため、運輸業者にヒアリング調査を行った結果、タイの一般的な職業運転者における健康管理施策はほとんど行われておらず、また、タイの社会保障制度では、睡眠時無呼吸症候群や緑内障の検査・治療は、多くの人々の加入する健康保険ではカバーされない等、健康起因事故防止における制度的な課題が明らかとなった。

2023 年度は、日本、中国、タイで「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」と「緑内障運転絵巻」の 2 つの啓発動画の視聴後アンケートを実施した。アンケートの結果、標本の代表性に留意が必要であるが、中国、タイでは日本以上に潜在的に睡眠時無呼吸や緑内障の患者が存在する可能性が考えられた。また、啓発動画は中国、タイにおいても高評価であり、健康起因事故防止の取組として有用であると考えられることから、今後更に、本動画による健康起因事故防止の普及啓発の推進が重要であると考えられた。

以上より、本プロジェクトでは 3 年間に亘り啓発動画を用いた普及啓発活動を行い、動画視聴後のアンケートによりその効果を測定してきた。その結果、啓発動画は日本のみならず、中国やタイでも高い評価が得られ、健康起因事故防止の取組として有用である可能性が示された。また、国内で多くの運輸関連企業・団体において、動画が活用されてきた。

健康起因事故防止のためには、事業者やドライバーだけではなく、社会全体で健康起因事故の予防を進める機運の醸成が重要であると考えられる。本プロジェクトで使用した啓発動画を今後も普及することにより、より多くの人々が健康起因事故予防の重要性を認識し、事業者による健康管理の取組やスクリーニングなどを実施しやすい社会環境の構築に資することが期待される。

VII. 参考文献

1. e-GOV 法令検索. 自動車事故報告規則（昭和二十六年運輸省令第百四号）.
https://elaws.egov.go.jp/document?lawid=326M50000800104_20200401_502M60000800020（閲覧日：2024 年 12 月 17 日）
2. 国土交通省. 健康起因事故発生状況と健康起因事故防止のための取組について.
<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001586895.pdf>（閲覧日：2024 年 12 月 17 日）
3. 国土交通省. 健康起因事故防止に対する国土交通省の取組.
https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03safety/resourse/data/seminar2024_2-2.pdf（閲覧日：2024 年 12 月 17 日）
4. World Health Organization. The Global Health Observatory.
[https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/estimated-road-traffic-death-rate-\(per-100-000-population\)](https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/estimated-road-traffic-death-rate-(per-100-000-population))（閲覧日：2024 年 12 月 17 日）

VIII. 参考資料

資料 1 睡眠時無呼吸症候群運転絵巻 ご視聴後アンケート

睡眠時無呼吸症候群運転絵巻 ご視聴後アンケート	
この度は健康起因事故防止啓発動画「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」をご視聴頂きありがとうございます。今後の啓発活動促進のため、以下のアンケートにご回答ください。なお、アンケート調査への回答によって、本研究への協力について同意したこととみなさせていただきます。回答の内容は研究以外の目的に使用することは決してありません。 アンケートの回答時間は 5 分程度です。 ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。	

*以下の質問について、該当する回答に一つだけ☒を付けてください。

1	年齢	☐ 10 代	☐ 20 代	☐ 30 代	☐ 40 代	☐ 50 代	☐ 60 代	☐ 70 代	☐ 80 代以上	
2	性別	☐ 男性	☐ 女性	☐ その他						
3	現在の居住地（都道府県）	※海外にお住まいの方は居住都市名をご記入ください。								
4	運転頻度について該当するものに○をつけてください。	☐ ほぼ毎日 ☐ 週に 1 回程度以上 ☐ 月に 1 回程度以上 ☐ 年に 1 回程度以上 ☐ 年に 1 回未満 ☐ 車を運転しない								
5	動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？	☐ 知っていた ☐ 少し知っていた ☐ あまり知らなかった ☐ 知らなかった								
6	動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？	☐ 深まった ☐ やや深まった ☐ あまり深まらなかった ☐ 深まらなかった								
7	本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください	とても悪い 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 とても良い ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐								
8	動画の時間（長さ）は適当でしたか？	☐ 長かった ☐ やや長かった ☐ 適当だった ☐ やや短かった ☐ 短かった								
9	動画の内容はわかりやすかったですか？	☐ わかりやすかった ☐ ややわかりやすかった ☐ ややわかりづらかった ☐ わかりにくかった								
10	9.の回答理由をご記入ください。	【自由記載】								

裏面へつづく 

資料 2 睡眠時無呼吸症候群と交通事故 ご視聴後アンケート

睡眠時無呼吸症候群と交通事故 ご視聴後アンケート

この度は健康起因事故防止啓発動画「睡眠時無呼吸症候群と交通事故」をご視聴頂きありがとうございます。今後の啓発活動促進のため、以下のアンケートにご回答ください。なお、アンケート調査への回答によって、本研究への協力について同意したこととみなさせていただきます。回答の内容は研究以外の目的に使用することは決してありません。

アンケートの回答時間は 5 分程度です。

ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

* 以下の質問について、該当する回答に一つだけ☒を付けてください。

1	年齢	☐ 10 代	☐ 20 代	☐ 30 代	☐ 40 代	☐ 50 代	☐ 60 代	☐ 70 代	☐ 80 代以上				
2	性別	☐ 男性	☐ 女性	☐ その他									
3	現在の居住地（都道府県）		※海外にお住まいの方は居住都市名をご記入ください。										
4	運転頻度について該当するものに○をつけてください。												
	☐ ほぼ毎日		☐ 週に 1 回程度以上		☐ 月に 1 回程度以上								
	☐ 年に 1 回程度以上		☐ 年に 1 回未満		☐ 車を運転しない								
5	動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？												
	☐ 知っていた		☐ 少し知っていた		☐ あまり知らなかった		☐ 知らなかった						
6	動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？												
	☐ 深まった		☐ やや深まった		☐ あまり深まらなかった		☐ 深まらなかった						
7	本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください												
	とても悪い	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても良い
		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
8	動画の時間（長さ）は適当でしたか？												
	☐ 長かった		☐ やや長かった		☐ 適当だった		☐ やや短かった		☐ 短かった				
9	動画の内容はわかりやすかったですか？												
	☐ わかりやすかった		☐ ややわかりやすかった		☐ ややわかりづらかった		☐ わかりにくかった						
10	9.の回答理由をご記入ください。												
	【自由記載】												

裏面へつづく 

資料3 緑内障運転絵巻 ご視聴後アンケート

緑内障運転絵巻 ご視聴後アンケート

この度は健康起因事故防止啓発動画「緑内障運転絵巻」をご視聴頂きありがとうございます。
今後の啓発活動促進のため、以下のアンケートにご回答ください。なお、アンケート調査への
回答によって、本研究への協力について同意したこととみなさせていただきます。回答の内容
は研究以外の目的に使用することは決してありません。

アンケートの回答時間は5分程度です。

ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

*以下の質問について、該当する回答に一つだけ☑を付けてください。

1	年齢	☐ 10代	☐ 20代	☐ 30代	☐ 40代	☐ 50代	☐ 60代	☐ 70代	☐ 80代以上				
2	性別	☐ 男性	☐ 女性	☐ その他									
3	現在の居住地（都道府県） ※海外にお住まいの方は居住都市名をご記入ください。												
4	運転頻度について該当するものに○をつけてください。												
	☐ ほぼ毎日		☐ 週に1回程度以上		☐ 月に1回程度以上								
	☐ 年に1回程度以上		☐ 年に1回未満		☐ 車を運転しない								
5	動画を見る前、緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？												
	☐ 知っていた		☐ 少し知っていた		☐ あまり知らなかった		☐ 知らなかった						
6	動画を見た後、緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？												
	☐ 深まった		☐ やや深まった		☐ あまり深まらなかった		☐ 深まらなかった						
7	本動画の全体的な印象を10点満点でお答えください												
	とても悪い	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても良い
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
8	動画の時間（長さ）は適当でしたか？												
	☐ 長かった		☐ やや長かった		☐ 適当だった		☐ やや短かった		☐ 短かった				
9	動画の内容はわかりやすかったですか？												
	☐ わかりやすかった					☐ ややわかりやすかった							
	☐ ややわかりづらかった					☐ わかりにくかった							
10	9.の回答理由をご記入ください。												
	【自由記載】												

裏面へつづく

資料4 緑内障と交通事故 ご視聴後アンケート

緑内障と交通事故 ご視聴後アンケート

この度は健康起因事故防止啓発動画「緑内障と交通事故」をご視聴頂きありがとうございます。今後の啓発活動促進のため、以下のアンケートにご回答ください。なお、アンケート調査への回答によって、本研究への協力について同意したものとみなさせていただきます。回答の内容は研究以外の目的に使用することは決してありません。

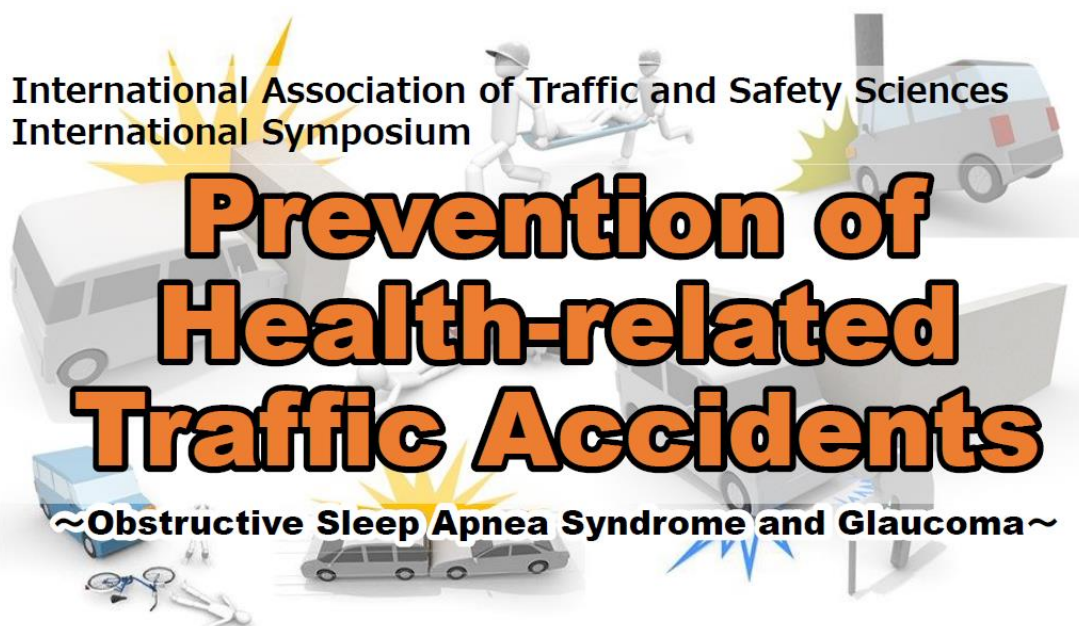
アンケートの回答時間は5分程度です。

ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

*以下の質問について、該当する回答に一つだけ☒を付けてください。

1	年齢	☐ 10代	☐ 20代	☐ 30代	☐ 40代	☐ 50代	☐ 60代	☐ 70代	☐ 80代以上	
2	性別	☐ 男性	☐ 女性	☐ その他						
3	現在の居住地（都道府県）									
※海外にお住まいの方は居住都市名をご記入ください。										
4	運転頻度について該当するものに○をつけてください。									
☐ ほぼ毎日 ☐ 週に1回程度以上 ☐ 月に1回程度以上 ☐ 年に1回程度以上 ☐ 年に1回未満 ☐ 車を運転しない										
5	動画を見る前、緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？									
☐ 知っていた ☐ 少し知っていた ☐ あまり知らなかった ☐ 知らなかった										
6	動画を見た後、緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？									
☐ 深まった ☐ やや深まった ☐ あまり深まらなかった ☐ 深まらなかった										
7	本動画の全体的な印象を10点満点でお答えください									
とても悪い 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 とても良い ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐										
8	動画の時間（長さ）は適当でしたか？									
☐ 長かった ☐ やや長かった ☐ 適当だった ☐ やや短かった ☐ 短かった										
9	動画の内容はわかりやすかったですか？									
☐ わかりやすかった ☐ ややわかりやすかった ☐ ややわかりづらかった ☐ わかりにくかった										
10	9.の回答理由をご記入ください。									
【自由記載】										

裏面へつづく 



Monday,
January 9th, 2023
10:00–12:00 (THA)

- On-site Symposium
- Participation is Free of Charge

Venue

King Chulalongkorn Memorial Hospital, Bangkok, Thailand
Bhumisiri Mangkhalanusorn Building, 12fl, room 1201

Registration

For registration,
please visit following URL.

https://www.iatss.or.jp/en/thai_symposium/



【Contact】

International Association of Traffic and Safety Sciences
✉ tomishima.s@iatss.or.jp

PROGRAM

- | | | |
|------------------|--|----------------|
| 10:00–10:05 | Opening Remarks
Takeshi Tanigawa
Professor & Chairman, Department of Public Health,
Juntendo University Graduate School of Medicine
Chair: Tayard Desudchit
Associate Professor, Division of Pediatric Neurology,
Department of Pediatrics, Faculty of Medicine,
Chulalongkorn University | English |
| Symposium | | |
| 10:05–10:25 | 
Kenji Doi
Professor, Department of Global Architecture, Graduate
School of Engineering, Osaka University
"Types and assumed causes of traffic accidents in
Thailand and ASEAN" | English |
| 10:25–10:45 | 
Naricha Chirakalwasan
Associate Professor, Division of Pulmonary and Critical Care
Medicine, Department of Medicine, Faculty of Medicine,
Chulalongkorn University
"Sleep apnea and road safety in Thailand: current
status and issues" | English |
| 10:45–11:05 | 
Takeshi Tanigawa
Professor & Chairman, Department of Public Health,
Juntendo University Graduate School of Medicine
"Sleep apnea and Glaucoma: screening in Japan" | English |
| 11:05–11:20 | Viewing of promotional videos and
answering the questionnaires | Thai |
| 11:20–11:25 | Break | |
| 11:25–11:55 | General discussion & QA | English & Thai |
| 11:55–12:00 | Closing Remarks
Secretariat Office | |



Sponsored by International Association of Traffic and Safety Sciences,
Juntendo University, International Affairs, Faculty of Medicine,
Chulalongkorn University

แบบสอบถามหลังรับชมวิดีโอภาวะหยุดหายใจขณะหลับกับการขับรถ	
ขอขอบคุณที่รับชม "ภาวะหยุดหายใจขณะหลับกับการขับรถ" ซึ่งเป็นวิดีโอให้ความรู้เพื่อป้องกันอุบัติเหตุที่เกิดจากปัญหาสุขภาพในครั้งนี้ โปรดตอบแบบสอบถามต่อไปนี้เพื่อส่งเสริมกิจกรรมการให้ความรู้ในอนาคต ทั้งนี้ เมื่อมีการตอบในแบบสอบถาม เราจะถือว่าท่านได้ยินยอมที่จะให้ความร่วมมือในการค้นคว้านี้ และรายละเอียดของคำตอบจะไม่ถูกนำไปใช้เพื่อวัตถุประสงค์อื่นนอกเหนือจากการค้นคว้าโดยเด็ดขาด ใช้เวลาประมาณ 5 นาทีในการตอบแบบสอบถาม ขอขอบคุณสำหรับความร่วมมือ	
*สำหรับคำถามต่อไปนี้เป็นโปรดทำเครื่องหมาย ☒ เพียงคำตอบเดียวที่ตรงกับคุณ	
1	อายุ ☐ 10-19 ปี ☐ 20-29 ปี ☐ 30-39 ปี ☐ 40-49 ปี ☐ 50-59 ปี ☐ 60-69 ปี ☐ 70-79 ปี ☐ 80 ปีขึ้นไป
2	เพศ ☐ ชาย ☐ หญิง ☐ อื่นๆ
3	ที่อยู่ปัจจุบัน (จังหวัด) *หากคุณอาศัยอยู่ต่างประเทศ โปรดเขียนชื่อเมืองที่คุณอาศัยอยู่
4	โปรดทำเครื่องหมาย ☒ ที่ตรงกับความถี่ในการขับขี่ยานยนต์หรือรถจักรยานยนต์ ☐ เกือบทุกวัน ☐ สัปดาห์ละครั้งขึ้นไป ☐ เดือนละครั้งขึ้นไป ☐ ปีละครั้งขึ้นไป ☐ น้อยกว่าปีละครั้ง ☐ ไม่ขับขี่
5	คุณเคยได้รับการวินิจฉัยว่าเป็นภาวะหยุดหายใจขณะหลับหรือไม่ ☐ ใช่ ☐ ได้รับแจ้งว่ามีข้อสงสัยว่าเป็น ☐ ไม่ใช่
6	คุณรู้เกี่ยวกับอาการของภาวะหยุดหายใจขณะหลับหรือไม่ ☐ รู้ ☐ รู้เพียงเล็กน้อย ☐ ไม่ค่อยรู้มากนัก ☐ ไม่รู้
7	ก่อนดูวิดีโอ คุณรู้หรือไม่ว่าภาวะหยุดหายใจขณะหลับอาจเป็นสาเหตุของการเกิดอุบัติเหตุจราจรได้ ☐ รู้ ☐ รู้เพียงเล็กน้อย ☐ ไม่ค่อยรู้มากนัก ☐ ไม่รู้
8	หลังจากดูวิดีโอ คุณเข้าใจลึกซึ้งเกี่ยวกับภาวะหยุดหายใจขณะหลับกับอุบัติเหตุจราจรหรือไม่ ☐ เข้าใจลึกซึ้ง ☐ เข้าใจลึกซึ้งเล็กน้อย ☐ ไม่ค่อยเข้าใจลึกซึ้งนัก ☐ ไม่เข้าใจลึกซึ้ง
9	วิดีโอนี้มีประโยชน์สำหรับคุณหรือไม่ ☐ มีประโยชน์ ☐ มีประโยชน์เล็กน้อย ☐ ไม่ค่อยมีประโยชน์ ☐ ไม่มีประโยชน์
10	โปรดตอบความประทับใจโดยรวมที่มีต่อวิดีโอนี้จากคะแนนเต็ม 10 คะแนน แย่มาก 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ดีมาก ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
11	เวลาของวิดีโอ (ความยาว) พอเหมาะหรือไม่ ☐ ยาว ☐ ยาวเล็กน้อย ☐ พอเหมาะ ☐ สั้นเล็กน้อย ☐ สั้น
12	รายละเอียดในวิดีโอเข้าใจง่ายหรือไม่ ☐ เข้าใจง่าย ☐ เข้าใจง่ายเล็กน้อย ☐ เข้าใจยากเล็กน้อย ☐ เข้าใจยาก
13	โปรดเขียนบอกเหตุผลที่คุณตอบในข้อ 12 [เขียนตอบได้อิสระ]

มีต่อด้านหลัง ➡

14	โปรดเขียนระบุหากมีจุดที่น่าจดจำในวิดีโอ [เขียนตอบได้อิสระ]
15	คุณคิดว่าวิดีโอนี้มีประโยชน์ในการจัดการเพื่อป้องกันอุบัติเหตุจราจรที่มีสาเหตุมาจากโรคดังกล่าวหรือไม่ ☐ ฉันคิดอย่างนั้น ☐ ฉันคิดอย่างนั้นเล็กน้อย ☐ ฉันไม่ค่อยคิดอย่างนั้น ☐ ฉันไม่คิดอย่างนั้น
16	โปรดเขียนบอกเหตุผลที่คุณตอบในข้อ 15 [เขียนตอบได้อิสระ]
17	โปรดตอบเกี่ยวกับอาการป่วยของภาวะหยุดหายใจขณะหลับที่แนะนำในวิดีโอ 1) โปรดทำเครื่องหมาย ☒ ทุกข้อที่ตรงกับคุณ ☐ มีคนบอกว่ากรนเสียงดัง ☐ หยุดหายใจระหว่างนอนหลับ ☐ ง่วงนอนระหว่างวันทั้งที่นอนหลับเพียงพอ ☐ รู้สึกง่วงนอนขึ้นมากะทันหันในตอนกลางวัน ☐ ปวดหัวเมื่อตื่นนอนตอนเช้า ☐ ไม่มีสมาธิจดจ่อ ☐ เข้าห้องน้ำตอนกลางดึกหลายครั้ง ☐ ไม่มีข้อใดตรง 2) มีบุคคลในครอบครัวหรือคนใกล้ชิดในที่ทำงานของคุณ ฯลฯ ตรงกับอาการนี้หรือไม่ ☐ มี ☐ ไม่มี
18	หลังจากดูวิดีโอแล้ว กรณีที่ตัวคุณ สมาชิกในครอบครัว หรือคนใกล้ชิดในที่ทำงานของคุณ ฯลฯ สงสัยว่าเป็นภาวะหยุดหายใจขณะหลับ คุณคิดว่าตนเองจะเข้ารับการตรวจที่สถานบริการแพทย์ หรือแนะนำให้บุคคลข้างต้นเข้ารับการตรวจที่สถานบริการแพทย์หรือไม่ ☐ ฉันคิดอย่างนั้น ☐ ฉันคิดอย่างนั้นเล็กน้อย ☐ ฉันไม่ค่อยคิดอย่างนั้น ☐ ฉันไม่คิดอย่างนั้น
19	โปรดเขียนบอกเหตุผลที่คุณตอบในข้อ 18 [เขียนตอบได้อิสระ]
20	โปรดบอกเหตุผลที่คุณดูวิดีโอ (โปรดทำเครื่องหมาย ☒ ทุกข้อที่ตรงกับคุณ) ☐ เพราะสนใจ ☐ เพราะถูกแนะนำในงานสัมมนาและฝึกอบรม ☐ เพราะกังวลเกี่ยวกับการขับขี่ของตนเอง ☐ เพราะครอบครัวและคนรู้จักแนะนำ ☐ เพราะเห็นแผ่นพับและโปสเตอร์ในที่ทำงาน ฯลฯ ☐ อื่นๆ โปรดระบุ ()
21	คุณคิดว่าการจัดการอย่างไรที่จำเป็นในการป้องกันอุบัติเหตุจราจรที่มีสาเหตุมาจากโรคดังกล่าว [เขียนตอบได้อิสระ]
22	โปรดบอกความคิดเห็นและความรู้สึกเกี่ยวกับการที่คุณได้ดูวิดีโอ [เขียนตอบได้อิสระ]

ขอจบแบบสอบถามเพียงเท่านี้ ขอขอบคุณสำหรับความร่วมมือ

แบบสอบถามหลังรับชมวิดีโอโรคต้อหินกับการขับรถ	
ขอขอบคุณที่รับชม "โรคต้อหินกับการขับรถ" ซึ่งเป็นวิดีโอให้ความรู้เพื่อป้องกันอุบัติเหตุที่เกิดจากปัญหาสุขภาพในครั้งนี้ โปรดตอบแบบสอบถามต่อไปเพื่อส่งเสริมกิจกรรมการให้ความรู้ในอนาคต ทั้งนี้ เมื่อมีการตอบในแบบสอบถาม เราจะถือว่าท่านได้ยินยอมที่จะให้ความร่วมมือในการค้นคว้านี้ และรายละเอียดของคำตอบจะไม่ถูกนำไปใช้เพื่อวัตถุประสงค์อื่นนอกเหนือจากการค้นคว้าโดยเด็ดขาด ใช้เวลาประมาณ 5 นาทีในการตอบแบบสอบถาม ขอขอบคุณสำหรับความร่วมมือ	
*สำหรับคำถามต่อไปนี้ โปรดทำเครื่องหมาย ☒ เพียงคำตอบเดียวที่ตรงกับคุณ	
1	อายุ ☐ 10-19 ปี ☐ 20-29 ปี ☐ 30-39 ปี ☐ 40-49 ปี ☐ 50-59 ปี ☐ 60-69 ปี ☐ 70-79 ปี ☐ 80 ปีขึ้นไป
2	เพศ ☐ ชาย ☐ หญิง ☐ อื่นๆ
3	ที่อยู่ปัจจุบัน (จังหวัด) *หากคุณอาศัยอยู่ต่างประเทศ โปรดเขียนชื่อเมืองที่คุณอาศัยอยู่
4	โปรดทำเครื่องหมาย ☒ ที่ตรงกับความถี่ในการขับขี่ยานยนต์หรือรถจักรยานยนต์ ☐ เกือบทุกวัน ☐ สัปดาห์ละครั้งขึ้นไป ☐ เดือนละครั้งขึ้นไป ☐ ปีละครั้งขึ้นไป ☐ น้อยกว่าปีละครั้ง ☐ ไม่ขับขี่
5	คุณเคยได้รับการวินิจฉัยว่าเป็นโรคต้อหินใช่หรือไม่ ☐ ใช่ ☐ ได้รับแจ้งว่ามีข้อสงสัยว่าเป็น ☐ ไม่ใช่
6	คุณรู้เกี่ยวกับอาการของโรคต้อหินหรือไม่ ☐ รู้ ☐ รู้เพียงเล็กน้อย ☐ ไม่ค่อยรู้มากนัก ☐ ไม่รู้
7	ก่อนดูวิดีโอ คุณรู้หรือไม่ว่าโรคต้อหินอาจเป็นสาเหตุของการเกิดอุบัติเหตุจราจรได้ ☐ รู้ ☐ รู้เพียงเล็กน้อย ☐ ไม่ค่อยรู้มากนัก ☐ ไม่รู้
8	หลังจากดูวิดีโอ คุณเข้าใจลึกซึ้งเกี่ยวกับโรคต้อหินและอุบัติเหตุจราจรหรือไม่ ☐ เข้าใจลึกซึ้ง ☐ เข้าใจลึกซึ้งเล็กน้อย ☐ ไม่ค่อยเข้าใจลึกซึ้งนัก ☐ ไม่เข้าใจลึกซึ้ง
9	วิดีโอนี้มีประโยชน์สำหรับคุณหรือไม่ ☐ มีประโยชน์ ☐ มีประโยชน์เล็กน้อย ☐ ไม่ค่อยมีประโยชน์ ☐ ไม่มีประโยชน์
10	โปรดตอบความประทับใจโดยรวมที่มีต่อวิดีโอนี้จากคะแนนเต็ม 10 คะแนน เยี่ยมมาก 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ดีมาก ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
11	เวลาของวิดีโอ (ความยาว) พอเหมาะหรือไม่ ☐ ยาว ☐ ยาวเล็กน้อย ☐ พอเหมาะ ☐ สั้นเล็กน้อย ☐ สั้น
12	รายละเอียดในวิดีโอเข้าใจง่ายหรือไม่ ☐ เข้าใจง่าย ☐ เข้าใจง่ายเล็กน้อย ☐ เข้าใจยากเล็กน้อย ☐ เข้าใจยาก
13	โปรดเขียนบอกเหตุผลที่คุณตอบในข้อ 12 [เขียนตอบได้อิสระ]

มีต่อด้านหลัง ➡

14	โปรดเขียนระบุหากมีจุดที่น่าจดจำในวิดีโอ [เขียนตอบได้อิสระ]	
15	คุณคิดว่าวิดีโอนี้มีประโยชน์ในการจัดการเพื่อป้องกันอุบัติเหตุจราจรที่มีสาเหตุมาจากโรคดังกล่าวหรือไม่ ☐ ฉันคิดอย่างนั้น ☐ ฉันคิดอย่างนั้นเล็กน้อย ☐ ฉันไม่ค่อยคิดอย่างนั้น ☐ ฉันไม่คิดอย่างนั้น	
16	โปรดเขียนบอกเหตุผลที่คุณตอบในข้อ 15 [เขียนตอบได้อิสระ]	
17	โปรดตอบเกี่ยวกับสถานการณ์ขณะขับรถที่ผู้เป็นโรคคือคนที่แนะนำไปในวิดีโออีกจะประสบ	
	1) โปรดทำเครื่องหมาย ☒ ทุกข้อที่ตรงกับคุณ	
	☐ มีรถยนต์หรือคนพรวดพราดเข้ามาตรงหน้ากะทันหัน ☐ มองแยกเครื่องหมายหรือสัญญาณไฟจราจรได้ยาก ☐ เคยถูกรอบคกรวหรือคนที่นั่งมาด้วยกันเตือนว่า ขับรถอันตราย ☐ ความการขับขีของรถยนต์รอบข้างไม่ทัน ☐ ไม่มีข้อใดตรง	
	2) มีบุคคลในครอบครัวหรือคนใกล้ชิดในที่ทำงานของคุณ ฯลฯ ตรงกับอาการนี้หรือไม่	☐ มี ☐ ไม่มี
18	หลังจากดูวิดีโอแล้ว กรณีที่ตัวคุณ สมาชิกในครอบครัว หรือคนใกล้ชิดในที่ทำงานของคุณ ฯลฯ สงสัยว่าเป็นโรคคือหิน คุณคิดว่าตนเองจะเข้ารับการตรวจที่สถานประกอบการแพทย์ หรือแนะนำให้บุคคลข้างต้นเข้ารับการตรวจที่สถานประกอบการแพทย์หรือไม่ ☐ ฉันคิดอย่างนั้น ☐ ฉันคิดอย่างนั้นเล็กน้อย ☐ ฉันไม่ค่อยคิดอย่างนั้น ☐ ฉันไม่คิดอย่างนั้น	
19	โปรดเขียนบอกเหตุผลที่คุณตอบในข้อ 18 [เขียนตอบได้อิสระ]	
20	โปรดบอกเหตุผลที่คุณดูวิดีโอ (โปรดทำเครื่องหมาย ☒ ทุกข้อที่ตรงกับคุณ)	
	☐ เพราะสนใจ ☐ เพราะถูกแนะนำในงานสัมมนาและฝึกอบรม ☐ เพราะกังวลเกี่ยวกับการขับขีของตนเอง ☐ เพราะครอบครัวและคนรู้จักแนะนำ ☐ เพราะเห็นแผ่นพับและโปสเตอร์ในที่ทำงาน ฯลฯ ☐ อื่นๆ โปรดระบุ ()	
21	คุณคิดว่าการจัดการอย่างไรที่จำเป็นในการป้องกันอุบัติเหตุจราจรที่มีสาเหตุมาจากโรคดังกล่าว [เขียนตอบได้อิสระ]	
22	โปรดบอกความคิดเห็นและความรู้สึกเกี่ยวกับการที่คุณได้ดูวิดีโอ [เขียนตอบได้อิสระ]	

ขอจบแบบสอบถามเพียงเท่านี้ ขอขอบคุณสำหรับความร่วมมือ

資料 8 睡眠時無呼吸症候群と交通事故 ご視聴後アンケート（2023 年度版）

睡眠時無呼吸症候群運転絵巻 ご視聴後アンケート																											
この度は健康起因事故防止啓発動画「睡眠時無呼吸症候群運転絵巻」をご視聴頂きありがとうございます。今後の啓発活動促進のため、以下のアンケートにご回答ください。なお、アンケート調査への回答によって、本研究への協力について同意したこととみなさせていただきます。回答の内容は研究以外の目的に使用することは決してありません。 アンケートの回答時間は 5 分程度です。ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。																											
* 以下の質問について、該当する回答に一つだけ ☒ を付けてください。																											
1	<table border="0"> <tr> <td>年齢</td> <td>☐ 10 代</td> <td>☐ 20 代</td> <td>☐ 30 代</td> <td>☐ 40 代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>☐ 50 代</td> <td>☐ 60 代</td> <td>☐ 70 代</td> <td>☐ 80 代以上</td> </tr> </table>	年齢	☐ 10 代	☐ 20 代	☐ 30 代	☐ 40 代		☐ 50 代	☐ 60 代	☐ 70 代	☐ 80 代以上																
年齢	☐ 10 代	☐ 20 代	☐ 30 代	☐ 40 代																							
	☐ 50 代	☐ 60 代	☐ 70 代	☐ 80 代以上																							
2	<table border="0"> <tr> <td>性別</td> <td>☐ 男性</td> <td>☐ 女性</td> <td>☐ その他</td> </tr> </table>	性別	☐ 男性	☐ 女性	☐ その他																						
性別	☐ 男性	☐ 女性	☐ その他																								
3	<table border="0"> <tr> <td>現在の居住地（都道府県）</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">※海外にお住まいの方は居住都市名をご記入ください。</td> </tr> </table>	現在の居住地（都道府県）		※海外にお住まいの方は居住都市名をご記入ください。																							
現在の居住地（都道府県）																											
※海外にお住まいの方は居住都市名をご記入ください。																											
4	自動車やオートバイの運転頻度について該当するものに ☒ を付けてください。 <table border="0"> <tr> <td>☐ ほぼ毎日</td> <td>☐ 週に 1 回程度以上</td> <td>☐ 月に 1 回程度以上</td> </tr> <tr> <td>☐ 年に 1 回程度以上</td> <td>☐ 年に 1 回未満</td> <td>☐ 運転しない</td> </tr> </table>	☐ ほぼ毎日	☐ 週に 1 回程度以上	☐ 月に 1 回程度以上	☐ 年に 1 回程度以上	☐ 年に 1 回未満	☐ 運転しない																				
☐ ほぼ毎日	☐ 週に 1 回程度以上	☐ 月に 1 回程度以上																									
☐ 年に 1 回程度以上	☐ 年に 1 回未満	☐ 運転しない																									
5	<table border="0"> <tr> <td>あなたは、睡眠時無呼吸症候群と診断されたことはありますか？</td> <td> ☐ はい ☐ 疑いがあると言われた ☐ いいえ </td> </tr> </table>	あなたは、睡眠時無呼吸症候群と診断されたことはありますか？	☐ はい ☐ 疑いがあると言われた ☐ いいえ																								
あなたは、睡眠時無呼吸症候群と診断されたことはありますか？	☐ はい ☐ 疑いがあると言われた ☐ いいえ																										
6	<table border="0"> <tr> <td>あなたは、睡眠時無呼吸症候群という病気を知っていますか？</td> <td> ☐ 知っている ☐ 少し知っている ☐ あまり知らない ☐ 知らない </td> </tr> </table>	あなたは、睡眠時無呼吸症候群という病気を知っていますか？	☐ 知っている ☐ 少し知っている ☐ あまり知らない ☐ 知らない																								
あなたは、睡眠時無呼吸症候群という病気を知っていますか？	☐ 知っている ☐ 少し知っている ☐ あまり知らない ☐ 知らない																										
7	<table border="0"> <tr> <td>動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？</td> <td> ☐ 知っていた ☐ 少し知っていた ☐ あまり知らなかった ☐ 知らなかった </td> </tr> </table>	動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？	☐ 知っていた ☐ 少し知っていた ☐ あまり知らなかった ☐ 知らなかった																								
動画を見る前、睡眠時無呼吸症候群が交通事故の原因になることを知っていましたか？	☐ 知っていた ☐ 少し知っていた ☐ あまり知らなかった ☐ 知らなかった																										
8	<table border="0"> <tr> <td>動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？</td> <td> ☐ 深まった ☐ やや深まった ☐ あまり深まらなかった ☐ 深まらなかった </td> </tr> </table>	動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？	☐ 深まった ☐ やや深まった ☐ あまり深まらなかった ☐ 深まらなかった																								
動画を見た後、睡眠時無呼吸症候群と交通事故について理解が深まりましたか？	☐ 深まった ☐ やや深まった ☐ あまり深まらなかった ☐ 深まらなかった																										
9	<table border="0"> <tr> <td>この動画はあなたにとって役に立つものでしたか。</td> <td> ☐ 役に立った ☐ やや役に立った ☐ あまり役に立たなかった ☐ 役に立たなかった </td> </tr> </table>	この動画はあなたにとって役に立つものでしたか。	☐ 役に立った ☐ やや役に立った ☐ あまり役に立たなかった ☐ 役に立たなかった																								
この動画はあなたにとって役に立つものでしたか。	☐ 役に立った ☐ やや役に立った ☐ あまり役に立たなかった ☐ 役に立たなかった																										
10	本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください <table border="0"> <tr> <td>とても悪い</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>とても良い</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table>	とても悪い	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても良い	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
とても悪い	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても良い															
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐															
11	<table border="0"> <tr> <td>動画の時間（長さ）は適当でしたか？</td> <td> ☐ 長かった ☐ やや長かった ☐ 適当だった ☐ やや短かった ☐ 短かった </td> </tr> </table>	動画の時間（長さ）は適当でしたか？	☐ 長かった ☐ やや長かった ☐ 適当だった ☐ やや短かった ☐ 短かった																								
動画の時間（長さ）は適当でしたか？	☐ 長かった ☐ やや長かった ☐ 適当だった ☐ やや短かった ☐ 短かった																										
12	<table border="0"> <tr> <td>動画の内容はわかりやすかったですか？</td> <td> ☐ わかりやすかった ☐ ややわかりやすかった ☐ ややわかりづらかった ☐ わかりにくかった </td> </tr> </table>	動画の内容はわかりやすかったですか？	☐ わかりやすかった ☐ ややわかりやすかった ☐ ややわかりづらかった ☐ わかりにくかった																								
動画の内容はわかりやすかったですか？	☐ わかりやすかった ☐ ややわかりやすかった ☐ ややわかりづらかった ☐ わかりにくかった																										
13	12.の回答理由をご記入ください。 【自由記載】																										

裏面へつづく 

睡眠呼吸暂停综合征驾驶画卷 观后调查问卷	
此次，感谢您观看预防健康起因事故的启蒙视频“睡眠呼吸暂停综合征驾驶画卷”。为促进今后启蒙活动的开展，请回答以下问卷。需要说明的是，回答问卷调查的问题将视为您已同意协助本研究。回答的内容绝不会用于研究以外的目的。	
回答问卷约需要 5 分钟。敬请配合！	

★ 关于以下问题，请勾选 ☒ 符合的一项。

1	年龄	☐ 10~19 岁 ☐ 20~29 岁 ☐ 30~39 岁 ☐ 40~49 岁 ☐ 50~59 岁 ☐ 60~69 岁 ☐ 70~79 岁 ☐ 80 岁或以上
2	性别	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 其他
3	现居住地（都道府县）	※居住在日本境外的人士请填写居住城市的名称。
4	关于驾驶汽车或摩托车的频率，请勾选 ☒ 符合的一项。	
	☐ 几乎每天 ☐ 一周几次 ☐ 一个月几次 ☐ 一年几次 ☐ 一年少于 1 次 ☐ 不驾驶	
5	您是否曾被诊断为睡眠呼吸暂停综合征？	☐ 是 ☐ 曾被告知怀疑是 ☐ 否
6	您知道睡眠呼吸暂停综合征这一疾病吗？	
	☐ 知道 ☐ 略知一二 ☐ 不太知道 ☐ 不知道	
7	观看视频之前，您知道睡眠呼吸暂停综合征会导致交通事故吗？	
	☐ 知道 ☐ 略知一二 ☐ 不太知道 ☐ 不知道	
8	观看视频之后，您对睡眠呼吸暂停综合征与交通事故的了解是否加深？	
	☐ 加深了 ☐ 略微加深了 ☐ 没怎么加深 ☐ 没加深	
9	这个视频对您有帮助吗？	
	☐ 有帮助 ☐ 略有帮助 ☐ 没什么帮助 ☐ 没有帮助	
10	请以满分 10 分为标准，回答您对这个视频的总体印象。	
	非常差 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 非常好 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	
11	视频的时间（长度）是否合适？	
	☐ 太长 ☐ 有点长 ☐ 合适 ☐ 有点短 ☐ 太短	
12	视频内容是否容易理解？	
	☐ 容易理解 ☐ 稍稍容易理解 ☐ 有点难以理解 ☐ 难以理解	
13	请填写第 12 题的回答理由。	
	【自由填写】	

接背面 

緑内障運転絵巻 ご視聴後アンケート

この度は健康起因事故防止啓発動画「緑内障運転絵巻」をご視聴頂きありがとうございます。今後の啓発活動促進のため、以下のアンケートにご回答ください。なお、アンケート調査への回答によって、本研究への協力について同意したこととみなさせていただきます。回答の内容は研究以外の目的に使用することは決してありません。

アンケートの回答時間は 5 分程度です。ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

* 以下の質問について、該当する回答に一つだけ ☒ を付けてください。

1	年齢	☐ 10 代	☐ 20 代	☐ 30 代	☐ 40 代	☐ 50 代	☐ 60 代	☐ 70 代	☐ 80 代以上					
2	性別	☐ 男性	☐ 女性	☐ その他										
3	現在の居住地（都道府県）													
※海外にお住まいの方は居住都市名をご記入ください。														
4	自動車やオートバイの運転頻度について該当するものに ☒ を付けてください。													
		☐ ほぼ毎日	☐ 週に 1 回程度以上	☐ 月に 1 回程度以上										
		☐ 年に 1 回程度以上	☐ 年に 1 回未満	☐ 運転しない										
5	あなたは、緑内障と診断されたことはありますか？			☐ はい	☐ 疑いがあると言われた									
				☐ いいえ										
6	あなたは、緑内障という病気を知っていますか？													
		☐ 知っている	☐ 少し知っている	☐ あまり知らない	☐ 知らない									
7	動画を見る前、緑内障が交通事故の原因になることを知っていましたか？													
		☐ 知っていた	☐ 少し知っていた	☐ あまり知らなかった	☐ 知らなかった									
8	動画を見た後、緑内障と交通事故について理解が深まりましたか？													
		☐ 深まった	☐ やや深まった	☐ あまり深まらなかった	☐ 深まらなかった									
9	この動画はあなたにとって役に立つものでしたか。													
		☐ 役に立った	☐ やや役に立った	☐ あまり役に立たなかった	☐ 役に立たなかった									
10	本動画の全体的な印象を 10 点満点でお答えください													
		とても悪い	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても良い
		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
11	動画の時間（長さ）は適当でしたか？													
		☐ 長かった	☐ やや長かった	☐ 適当だった	☐ やや短かった	☐ 短かった								
12	動画の内容はわかりやすかったですか？													
		☐ わかりやすかった	☐ ややわかりやすかった											
		☐ ややわかりづかった	☐ わかりにくかった											
13	12.の回答理由をご記入ください。													
【自由記載】														

青光眼驾驶画卷 观后调查问卷 此次，感谢您观看预防健康起因事故的启蒙视频“青光眼驾驶画卷”。为促进今后启蒙活动的开展，请回答以下问卷。需要说明的是，回答问卷调查的问题将视为您已同意协助本研究。回答的内容绝不会用于研究以外的目的。 回答问卷约需要 5 分钟。敬请配合！

★关于以下问题，请勾选☒符合的一项。

1	年龄	☐ 10~19 岁 ☐ 20~29 岁 ☐ 30~39 岁 ☐ 40~49 岁 ☐ 50~59 岁 ☐ 60~69 岁 ☐ 70~79 岁 ☐ 80 岁或以上
2	性别	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 其他
3	现居住地（都道府县）	※居住在日本境外的人士请填写居住城市的名称。
4	关于驾驶汽车或摩托车的频率，请勾选 ☒ 符合的一项。	☐ 几乎每天 ☐ 一周几次 ☐ 一个月几次 ☐ 一年几次 ☐ 一年少于 1 次 ☐ 不驾驶
5	您是否曾被诊断为青光眼？	☐ 是 ☐ 曾被告知怀疑是 ☐ 否
6	您知道青光眼这一疾病吗？	☐ 知道 ☐ 略知一二 ☐ 不太知道 ☐ 不知道
7	观看视频之前，您知道青光眼会导致交通事故吗？	☐ 知道 ☐ 略知一二 ☐ 不太知道 ☐ 不知道
8	观看视频之后，您对青光眼与交通事故的了解是否加深？	☐ 加深了 ☐ 略微加深了 ☐ 没怎么加深 ☐ 没加深
9	这个视频对您有帮助吗？	☐ 有帮助 ☐ 略有帮助 ☐ 没什么帮助 ☐ 没有帮助
10	请以满分 10 分为标准，回答您对这个视频的总体印象。	非常差 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 非常好 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
11	视频的时间（长度）是否合适？	☐ 太长 ☐ 有点长 ☐ 合适 ☐ 有点短 ☐ 太短
12	视频内容是否容易理解？	☐ 容易理解 ☐ 稍稍容易理解 ☐ 有点难以理解 ☐ 难以理解
13	请填写第 12 题的回答理由。	【自由填写】

接背面

14	请填写视频中给您留下深刻印象的内容。	
	【自由填写】	
15	您认为这个视频对于预防因疾病引起的交通事故有用吗？	
	☐ 有用 ☐ 有点用 ☐ 不太有用 ☐ 没用	
16	请填写第 15 题的回答理由。	
	【自由填写】	
17	关于视频中介绍的青光眼患者经常遇到的驾驶情况，请回答下列问题。	
	1) 请勾选 ☒ 所有与您自身情况相符的项。	
	☐ 有时眼前突然冲出车或人 ☐ 有时红绿灯或交通标志难以察觉 ☐ 有时被家人或同车人说“这样开车很危险” ☐ 有时无法跟上周围的车流 ☐ 没有相符的项	
	2) 您的家人或周围同事等当中有符合上述症状的人吗？	☐ 有 ☐ 没有
18	观看此视频后，如果您怀疑自身、您的家人或者周围同事等可能患有青光眼，您是否会去医疗机构就诊，或者建议对方就诊？	
	☐ 会的 ☐ 可能会 ☐ 可能不会 ☐ 不会	
19	请填写第 18 题的回答理由。	
	【自由填写】	
20	请回答您观看此视频的原因（请勾选 ☒ 所有符合的项）。	
	☐ 感兴趣 ☐ 在研讨会或培训中由他人推荐 ☐ 对自己开车感到不安 ☐ 由家人或熟人介绍 ☐ 在工作场所等看到了传单或海报 ☐ 其他（ ）	
21	您认为要预防因疾病引起的交通事故需要采取怎样的措施？	
	【自由填写】	
22	观看本视频后，您有何意见或感想？敬请告知。	
	【自由填写】	

全部问卷到此结束。感谢您的配合！